

第4 県内の特定事故の発生状況

1 死亡事故

(1) 発生件数、死者数

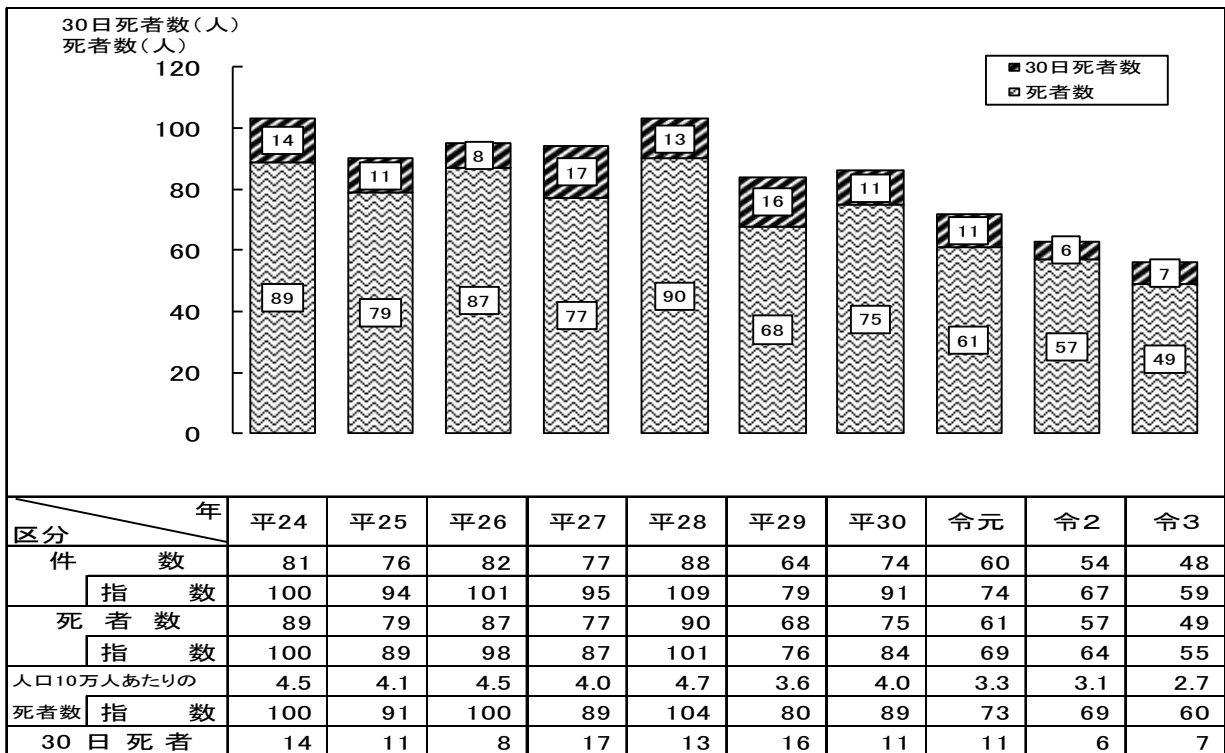
令和3年の死亡事故は、前年に比べ発生件数、死者数とも減少した。

発生件数 48件（前年比 -6件 11.1%減）

死者数 49人（前年比 -8人 14.0%減）

過去10年間の推移をみると、死者数に増減はあるものの減少傾向にあり、令和3年では平成24年の6割まで減少している。

（単位：件・人）



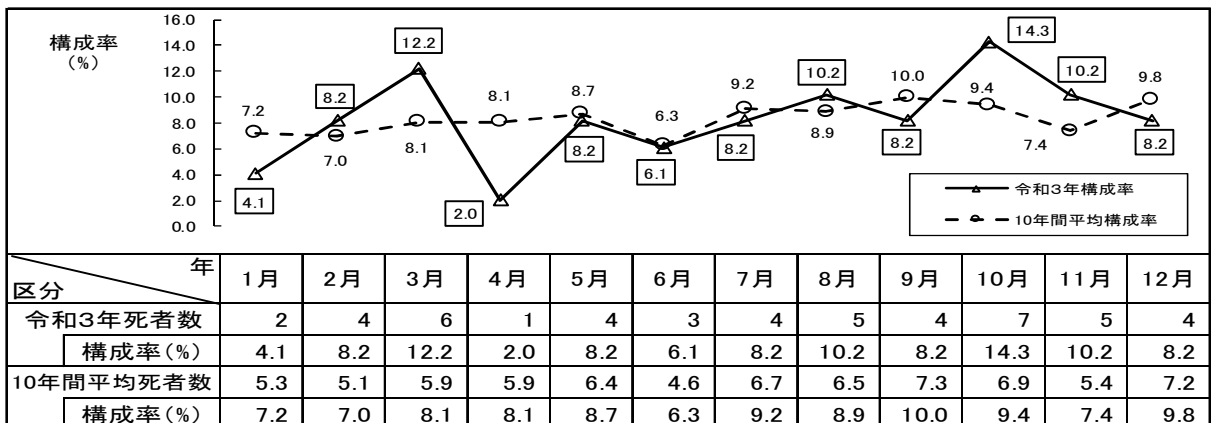
(2) 死亡事故の特徴

ア 月別

死者は、10月が最多の7人、最少は4月の1人となっている。

月間死者数の構成率が過去10年間の各月平均を上回ったのは2月、3月、8月、10月、11月となった。

（単位：人・%）



イ 時間別・曜日別

時間別では、17時～18時の10人が最も多くなっている。

曜日別では、木曜日が最多の11人、水曜日が最少の5人となっている。

(単位：人)

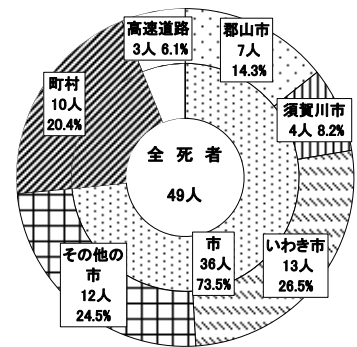
時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合
曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計
日						1	1						1					1	1	1					6
月						1				2	2	1									1				7
火							1							1				3		1		1			7
水					1						1			1								1	1		5
木				1		1			1				1				2	3				1		1	11
金												3			1			3							7
土												1	1				1					2		1	6
合計	0	0	0	1	1	3	2	0	1	2	3	5	3	2	1	0	3	10	1	2	5	2	1	1	49

ウ 市町村別

死者数の最も多い市町村はいわき市が13人、次いで郡山市が7人、須賀川市が4人の順に多い。

また、市部全体の死者数は36人で、全死者の73.5%を占めている。

市町村別

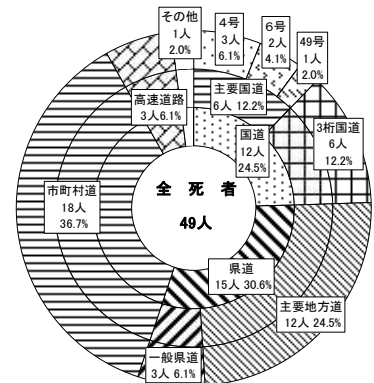


エ 道路別、道路線形別、形状別

(ア) 道路別

市町村道での死者が18人（36.7%）で最も多く、次いで県道15人（30.6%）、国道12人（24.5%）となっている。

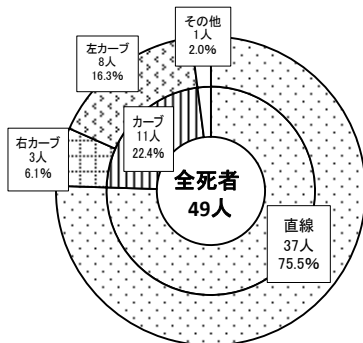
道路別



(イ) 道路線形別

直線道路での死者は37人で全死者の75.5%を占め、カーブでの死者は11人で、うち右カーブが3人、左カーブが8人となっている。

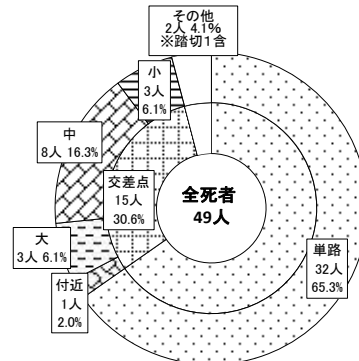
道路線形別



(ウ) 道路形状別

単路での死者は32人で全死者の65.3%を占め、交差点での死者は15人で30.6%を占めている。

道路形状別



(注)
 大交差点 道路幅員13m以上
 中交差点 道路幅員 5.5m以上13m未満
 小交差点 道路幅員5.5m未満

オ 第1当事者別（48件）

(ア) 車種別

普通乗用車の事故が15件で全死亡事故の31.3%を占め最も多く、次いで軽乗用車13件、軽貨物車5件の順となっている。

(イ) 年齢別

高齢者による事故が19件で最も多く、次いで40歳代が9件、50歳代が8件、30歳代が4件、20歳代と16～19歳が3件の順になっている。

(単位：件)

年齢	当事者	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	合計
		大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		自動二輪	原付				
16歳未満																		0
16～19歳					1	1									1			3
20歳代	20～24歳				1	1							1					3
	25～29歳																	0
30歳代	30～34歳																	0
	35～39歳				1	1			2									4
40歳代	40～44歳				2								1		1			4
	45～49歳					2		1				1		1				5
50歳代	50～54歳					1									1			2
	55～59歳				2	2		2										6
60歳代	60～64歳				1												1	2
	65～69歳				1	2				1								4
70歳代	70～74歳				4	1												5
	75～79歳					1					2			1				4
80歳以上					2	1					2			1			6	
その他(当事者不明)																		0
合計		0	0	0	15	13	3	2	0	1	5	0	2	2	4	1	0	48
内数	子ども																	0
	幼児																	0
	小学生																	0
	中学生																	0
	高校生														1			1
	高齢者				7	5				1	4			1	1			19
	男女別	男性				14	6	3	2		1	4		2	2	4	1	39
女性				1	7					1							9	
県外居住者				2		2							1				5	

(ウ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口1万人に対する死亡事故率は、全体の0.3に対して10歳代が1.5と高い。

(単位：件・人)

年齢	区分	男性			女性			合計		
		免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率
青年	10歳代	7,478	2	2.7	6,035	0	0.0	13,513	2	1.5
	20～24歳	37,271	3	0.8	32,328	0	0.0	69,599	3	0.4
	計	44,749	5	1.1	38,363	0	0.0	83,112	5	0.6
	25～29歳	39,817	0	0.0	34,614	0	0.0	74,431	0	0.0
	30歳代	95,746	4	0.4	86,425	0	0.0	182,171	4	0.2
	40歳代	120,275	5	0.4	110,717	3	0.3	230,992	8	0.3
	50歳代	116,358	6	0.5	110,556	1	0.1	226,914	7	0.3
	60～64歳	62,290	1	0.2	58,607	0	0.0	120,897	1	0.1
	高齢者	210,936	13	0.6	147,866	5	0.3	358,802	18	0.5
	合計	690,171	34	0.5	587,148	9	0.2	1,277,319	43	0.3

(注1) 自転車・歩行者の第1当事者は含まない

(注2) 免許人口は令和3年12月末現在

(エ) 車種別、免許経過年数別

運転免許を要しない第1当事者の死亡事故については、自転車で4件発生した。

運転免許を要する車両による死亡事故43件中、10年以上経過した者による事故が35件で81.4%を占めている。

(単位：件)

車種	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車				合計	
	大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付		
経過年数	1年未満				1	1										1	3
有資格	1～2年					1											1
	2～3年																0
	3～4年							1					1				2
	4～5年				1												1
	10年未満					1											1
	10年以上				13	10	3	1		1	5		1			1	35
免許外・無免許																	0
合計	0	0	0	15	13	3	2	0	1	5	0	1	1	0	2	43	

(オ) 違反別

悪質違反による事故が16件となっており、全死亡事故の33.3%を占めている。

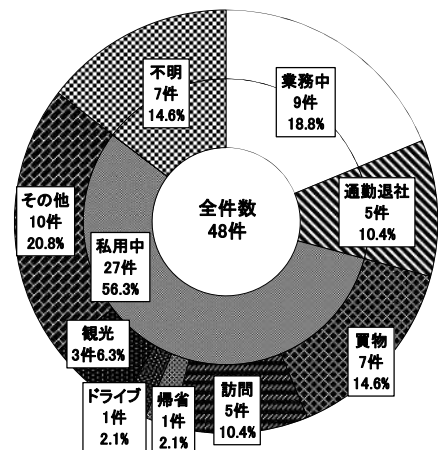
違反別でみると安全運転義務違反（前方不注意）が13件と最も多い。

(単位：件)

違反別			件数	違反別			件数	違反別			件数									
車両の違反	悪質違反	信号無視	2	車両の違反	徐行違反	徐行違反		歩行者の違反	信号無視	信号無視										
		最高速度	4			安全運転義務違反	過労等運転			過労等運転		横断歩道外横断	横断歩道外横断							
		通区・追越	3							ハンドル操作不適	ハンドル操作不適		1	斜め横断	斜め横断					
		歩行者妨害	6								ブレーキ操作不適		ブレーキ操作不適			走行車両直前直断	走行車両直前直断			
		一時不停止	1										前方不注意		前方不注意		13	横断禁止場所	横断禁止場所	
		酒酔い運転	1												動静不注意		動静不注意		2	計
	計	16	安全不確認						安全不確認								1		飛び出し	
	横断等禁止					安全速度	安全速度		1			その他					その他			
	車間距離不保持						予測不適		予測不適					計			計			
	進路変更禁止								その他	その他	4					不明	不明			
右折違反		違反計		違反計	22			合計		合計	48									
左折違反				ドア開放等	ドア開放等						内数(飲酒運転)		内数(飲酒運転)		2					
優先通行妨害等	3		その他		その他					1			計		計		48			
交差点安全進行義務	1				違反計	違反計				43		合計			合計		48			

(カ) 通行目的別

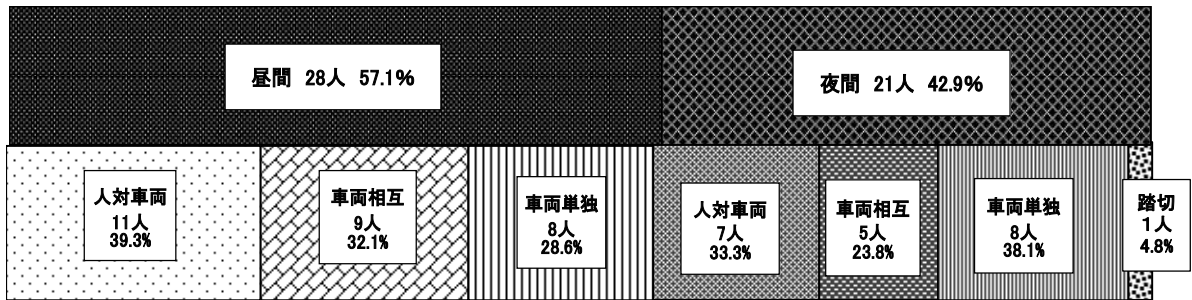
私用中に発生した事故が27件と全事故の56.3%を占めており、その中でも買物の7件が最も多く、次いで訪問の5件となっている。



カ 事故類型別死者数

人対車両	18人（全死者の	36.7%
車両相互	14人（全死者の	28.6%
車両単独	16人（全死者の	32.7%

となっており、これを昼夜別でみると、昼間には人対車両の死亡事故の割合が高くなっており、夜間は車両単独の死亡事故の割合が高くなっている。

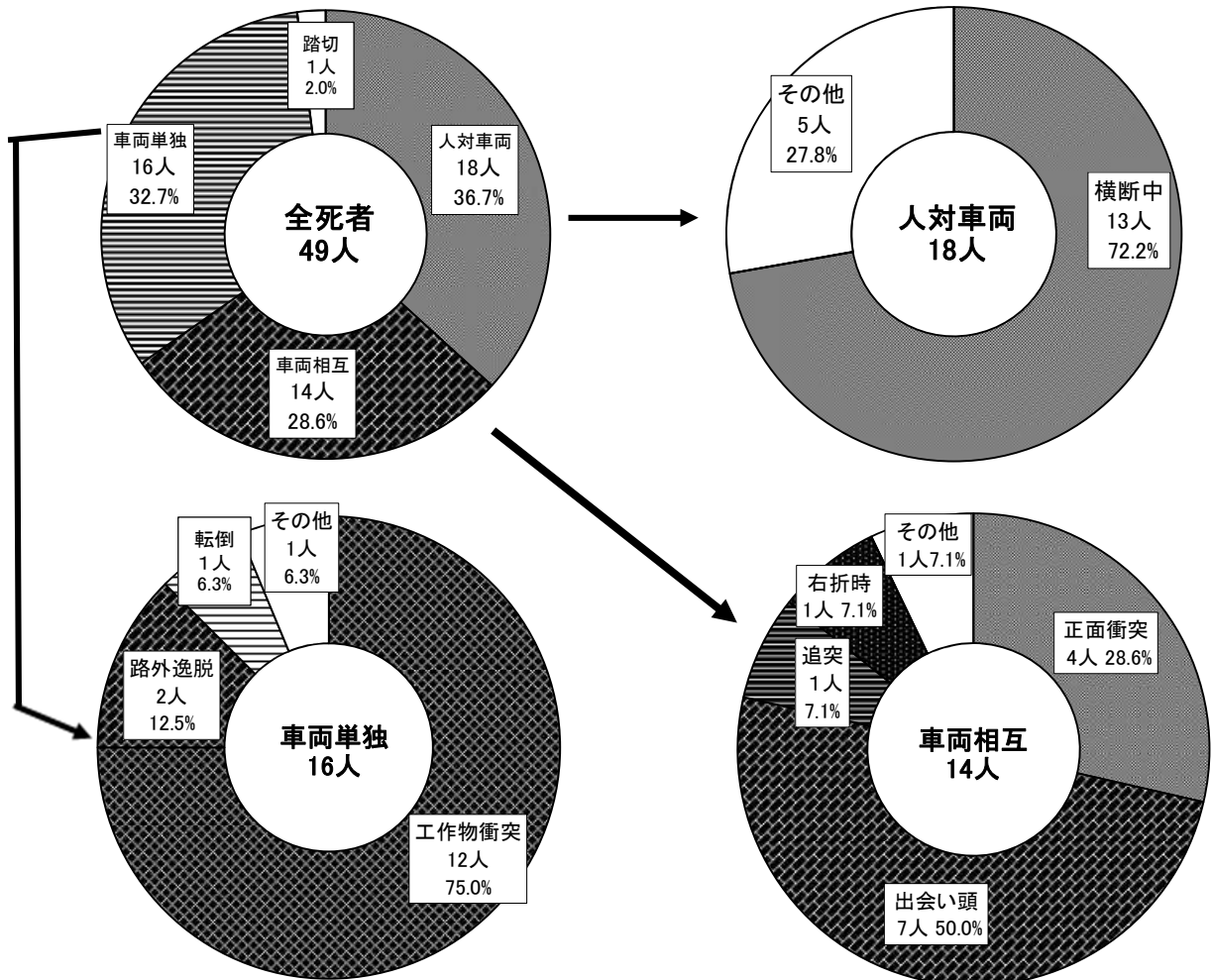


各事故類型でみると

人対車両…横断中が13人と最も多く72.2%を占めている。

車両相互…出会い頭が7人と最も多く50.0%を占めている。

車両単独…工作物衝突が12人と最も多く75.0%を占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

歩行中の死者が20人(40.8%)で最も多く、次いで自動車運転の死者が17人(34.7%)、自転車乗車中が4人(8.1%)となっている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車			自動二輪			原付乗車中		自転車乗車中		歩行中		その他	合計
		運転中		同乗	運転中		同乗	1当	2当	1当	2当	1当	2当		
		1当	2当		1当	2当									
死者		16	1	3	2	1	0	2	0	3	1	1	19		49
構成率(%)		32.7	2.0	6.1	4.1	2.0	0.0	4.1	0.0	6.1	2.0	2.0	38.8	0.0	100.0

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は32人(全死者の65.3%)で、うち歩行者の死者は17人と多く高齢死者の53.1%を占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は20人中17人(85.0%)と構成率が高くなっている。

(単位：人)

年齢	状態	自動車				自動二輪		原乗車付中	自乗車車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運転	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
16歳未満											0	
16～19歳					1						1	
20歳代	20～24	2					1				3	
	25～29										0	
30歳代	30～34										0	
	35～39	1			1					2	4	
40歳代	40～44					1			1		2	
	45～49							1			1	
50歳代	50～54					1			1		2	
	55～59	3									3	
60歳代	60～64									1	1	
	65～69	1								2	3	
70歳代	70～74	3							1	1	5	
	75～79		2					1		1	4	
80歳以上		3	2		1			1	13		20	
合計		13	4	0	3	3	0	2	4	20	0	49
内数	子ども											0
	幼児											0
	小学生											0
	中学生											0
	高校生											0
高齢者		7	4		1			1	2	17		32
男性		11	3		1	3		2	3	9		32
女性		2	1		2			1	1	11		17

ウ 職業別

無職が24人と最も多く全死者の49.0%を占め、次いで建設業が7人、医療・福祉とサービス業が4人と多くなっている。

(単位：人)

職業	状態	自動車				自動二輪		原乗車付中	自乗車車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運転	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
職業運転者											0	
公務員											0	
農・林・漁業			1		1					1	3	
鉱業											0	
建設業		2			1	1		1	1	1	7	
製造業		1									1	
卸・小売業		1						1			2	
運輸・郵便業											0	
医療・福祉		1				2				1	4	
電気・ガス・水道業											0	
サービス業		1								3	4	
子供											0	
高校生											0	
学生		1									1	
主婦			1								1	
無職		5	2						3	12	2	24
その他		1		1								2
合計		13	4	1	2	3	0	2	4	18	2	49

エ 状態別の違反

(ア) 歩行者

歩行者の死者20人のうち、8人(歩行者死者の40.0%)には何らかの違反があり、横断中の違反のある死者が4人と多く、違反のある歩行者死者の5割を占めている。

(単位：人)

違反等 区分	信号無視	通行区分	横断					計	幼児歩	ひま	めい	は	路上作業	飛び出し	その他	違反なし	合計
			横断歩道外	斜め横断	駐停車両後	直前直後	走行直後										
1 当							0								1	1	
2当以下			3			1	4					1	1	1	12	19	

(イ) 自転車

自転車乗用中の死者4人のうち、3人(75.0%)に違反がある。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	右側通行	横断等禁止	右折違反等	優先通行妨害	交差点安全進行	一時不停止	灯火違反	酒酔い運転	徐行場所違反	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	その他	違反なし	合計
2当以下															1	1

(ウ) 原付

原付乗車中の死者2人ともに違反がある。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	最高速度	通行区分	横断等禁止	右折違反	一時不停止	優先通行妨害	交差点安全	徐行	酒酔い運転	ハンドル操作不適	ブレーキ操作不適	前方不注意	安全不確認	安全速度	その他	違反なし	合計
2当以下																		0

(エ) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者3人全員に違反がある。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	最高速度	通行区分	右折違反	一時不停止	優先通行妨害	交差点安全	酒酔い運転	徐行	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	安全速度	その他	違反なし	合計
2当以下							1									1
同乗																0

(オ) 自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者17人、同乗中死者3人の合計20人である。

運転中死者の違反別では、安全運転義務違反が7人で最も多く、運転中死者の41.2%を占めている。

事故類型別では、車両単独による死者が、運転中死者9人、同乗中死者2人の合計11人で、自動車乗車中の死者全体の55.0%を占めている。 (単位：人)

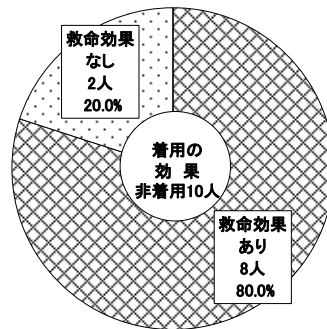
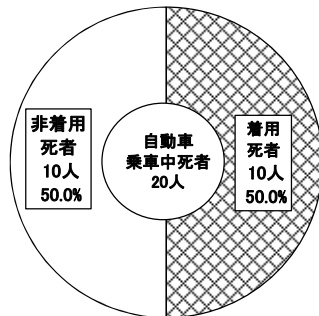
区分	違反	運 転 中															同乗中	合計				
		信号無視	最高速度超過	通区・追越	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安全運転義務					その他の違反なし						
											ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度				その他			
当事者	1 当		3	2			2						1	2		1		3	2		16	16
	2 当																			1	1	1
	3当以下																				0	3
事故類型	正面衝突			2														1			3	3
	追突																				0	1
	出会い頭						2								1					1	4	4
	追越・追抜																				0	0
	転回時																				0	0
	右折時																				0	0
その他				1																	1	1
計		0	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	8	1	9
車両単独			2										1	2				2	2		9	2
列																					0	0
合計		0	3	2	0	0	2	0	0	0	1	2	0	1	0	3	2	1	17	3	20	

オ シートベルト・ヘルメット着用状況

(ア) シートベルト

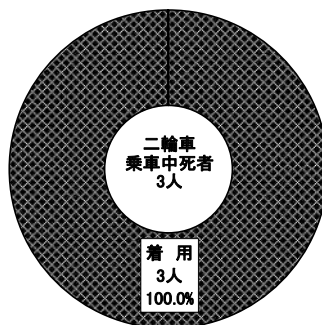
自動車乗車中の死者20人中シートベルトを着用していたのは10人で、着用率は50.0%であった。

また、非着用死者10人中8人（非着用で死亡した者の80.0%）は、シートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。



(イ) ヘルメット

二輪乗車中の死者は3人であったが、全員ヘルメットを着用していた。



2 歩行者の事故

(1) 概況

交通事故で死傷した歩行者は、

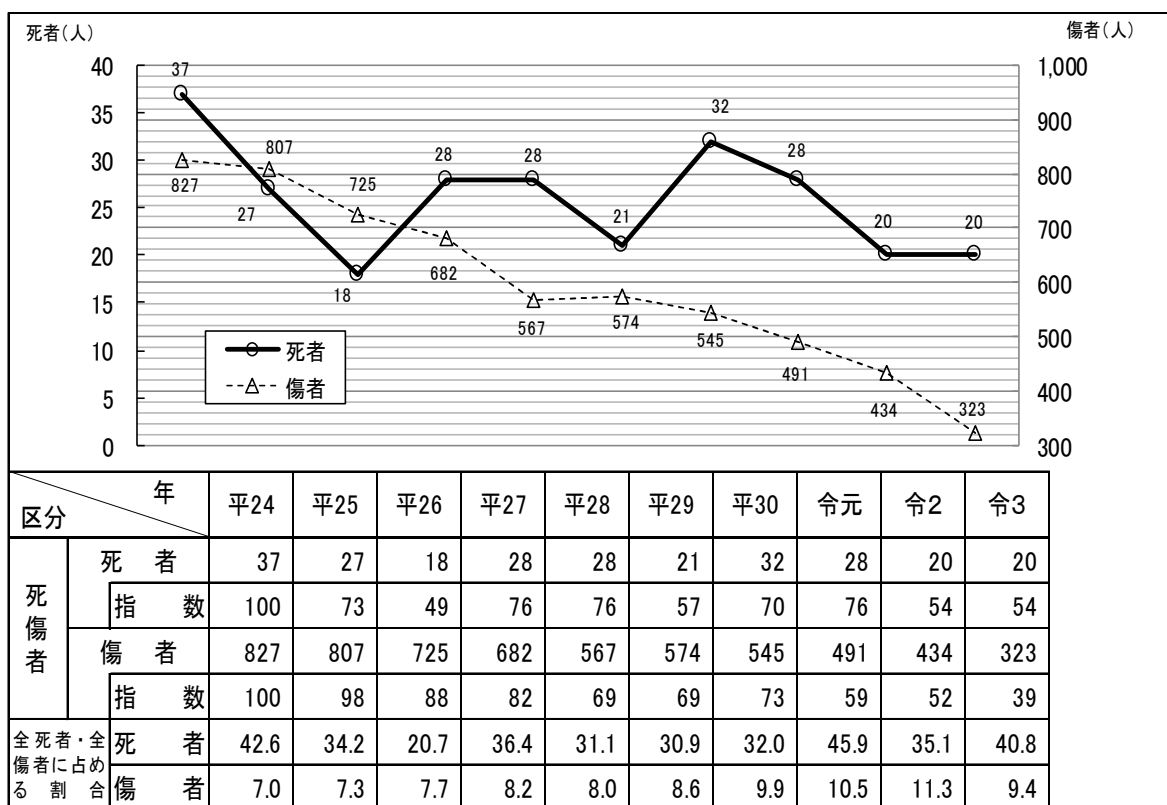
死者数 20人 (前年比 ±0人)

傷者数 323人 (前年比 -111人 25.6%減)

で、死者数は前年と同数であったが、傷者数は減少した。

全死者・全傷者に占める割合は、死者数は40.8%で5.7ポイント増加し、傷者数は9.4%で1.9ポイント減少した。

(単位：人・%)



(2) 月別

死者は10月と11月が4人で最も多く、全体としては下半期の死者が14人(70.0%)と半数以上となっている。傷者数は12月が49人で最も多く、次いで3月と11月の39人となっている。

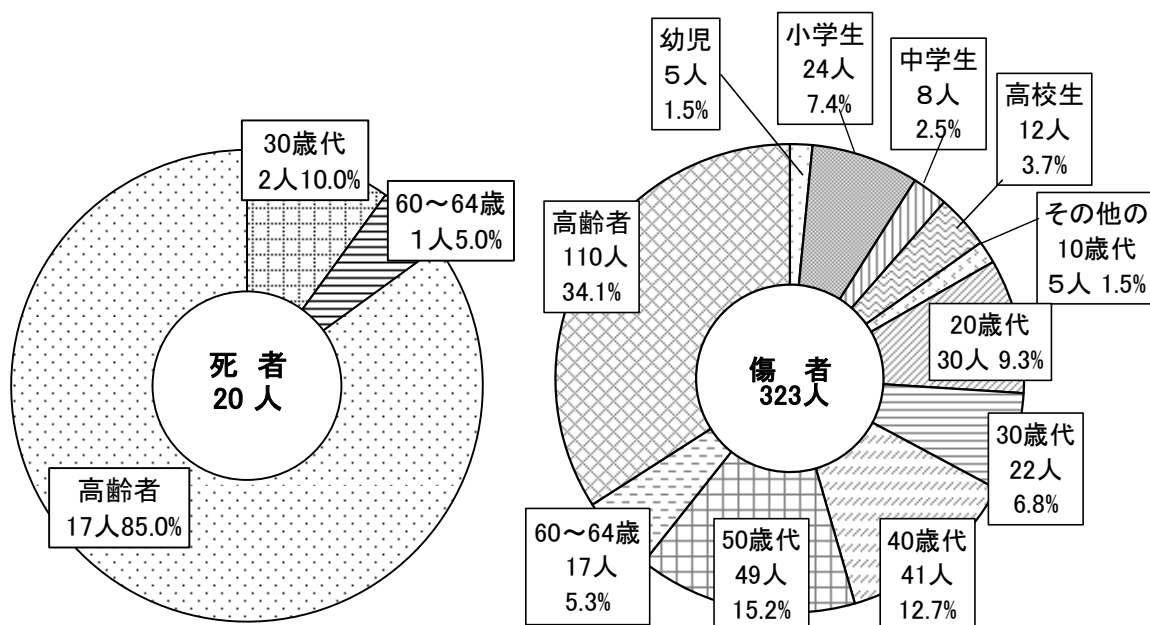
(単位：人・%)

区分	月													合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
被害	死者	2	2	1	0	0	1	1	1	1	4	4	3	20
	傷者	29	25	39	24	26	22	11	17	24	18	39	49	323
全死者・全傷者に占める割合	死者	100.0	50.0	16.7	0.0	0.0	33.3	25.0	20.0	25.0	57.1	80.0	75.0	40.8
	傷者	10.5	8.5	12.4	9.3	9.4	8.7	4.0	7.1	9.2	6.1	11.4	13.7	9.4

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が17人で最も多く、歩行者死者の85.0%を占めている。

傷者も高齢者が110人と最も多く、歩行者傷者の34.1%を占めている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢者死者は85.0%であり、その他の高齢者死者の51.7%を大きく上回る数値となっている。

歩行者の傷者のうち高齢者の占める割合は34.1%であり、その他の傷者の高齢者が占める割合13.7%の約2.5倍となっている。

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
歩行者の死者	16歳未満	0	0.0	41	12.7	
	16~19歳	0	0.0	13	4.0	
	20歳代	0	0.0	30	9.3	
	30歳代	2	10.0	22	6.8	
	40歳代	0	0.0	41	12.7	
	50歳代	0	0.0	49	15.2	
	60歳代	60~64	1	5.0	17	5.3
		65~69	2	10.0	22	6.8
	70歳代	70~74	1	5.0	26	8.0
		75~79	1	5.0	24	7.4
	80歳以上	13	65.0	38	11.8	
	合計	20	100.0	323	100.0	
歩行者の傷者	内訳	幼児	0	0.0	5	1.5
		小学生	0	0.0	24	7.4
		中学生	0	0.0	8	2.5
		高校生	0	0.0	12	3.7
		高齢者	17	85.0	110	34.1

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
その他の死者	16歳未満	0	0.0	119	3.8	
	16~19歳	1	3.4	154	4.9	
	20歳代	3	10.3	517	16.6	
	30歳代	2	6.9	613	19.6	
	40歳代	3	10.3	600	19.2	
	50歳代	5	17.2	493	15.8	
	60歳代	60~64	0	0.0	200	6.4
		65~69	1	3.4	164	5.3
	70歳代	70~74	4	13.8	147	4.7
		75~79	3	10.3	62	2.0
	80歳以上	7	24.1	54	1.7	
	合計	29	100.0	3,123	100.0	
その他の傷者	内訳	幼児	0	0.0	22	0.7
		小学生	0	0.0	49	1.6
		中学生	0	0.0	28	0.9
		高校生	0	0.0	110	3.5
		高齢者	15	51.7	427	13.7

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は16時～18時の8人が最も多く、歩行者死者の40.0%を占めており、次いで10～12時の5人となっている。

傷者については、18～20時の65人が最も多く、歩行者傷者の20.1%を占めており、次いで16～18時の47人となっている。(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死 者		0	0	1	0	2	5	2	0	8	0	1	1	20
	構成率(%)	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	25.0	10.0	0.0	40.0	0.0	5.0	5.0	100.0
傷 者		5	0	7	29	38	36	24	43	47	65	26	3	323
	構成率(%)	1.5	0.0	2.2	9.0	11.8	11.1	7.4	13.3	14.6	20.1	8.0	0.9	100.0

イ 昼夜別

死者は昼間が11人と多く、歩行者死者の55.0%を占めている。

傷者は昼間が190人と多く、歩行者傷者の58.8%を占めている。(単位：人・%)

区分	昼夜	昼 間			計	夜 間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死 者			9	2	11	5	3	1	9	20
	構成率(%)	0.0	45.0	10.0	55.0	25.0	15.0	5.0	45.0	100.0
傷 者		11	160	19	190	41	87	5	133	323
	構成率(%)	3.4	49.5	5.9	58.8	12.7	26.9	1.5	41.2	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は昼間の11人全てが高齢者で、歩行者死者の55.0%を占めている。

傷者は昼間・夜間ともに高齢者・その他が多くなっている。(単位：人・%)

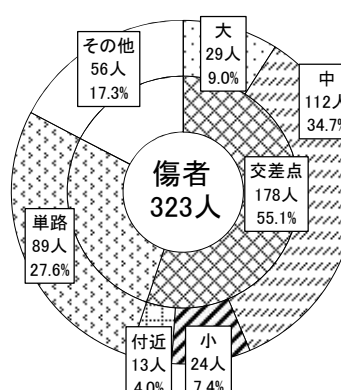
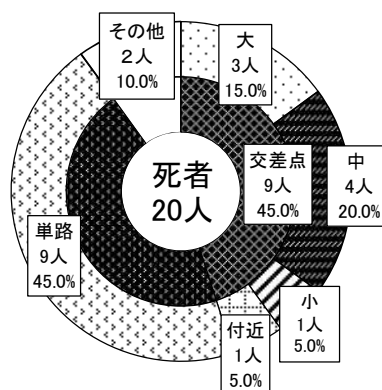
区分	昼夜	昼 間			計	夜 間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死 者			11		11		6	3	9	20
	構成率(%)	0.0	55.0	0.0	55.0	0.0	30.0	15.0	45.0	100.0
傷 者		33	71	86	190	4	39	90	133	323
	構成率(%)	10.2	22.0	26.6	58.8	1.2	12.1	27.9	41.2	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路と交差点が9人で、それぞれ45.0%を占めている。交差点での死者の内訳は、「大交差点」は3人、「中交差点」は4人、「小交差点」は1人、「交差点付近」は1人であった。

傷者は交差点が178人と多く、55.1%を占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。



イ 道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は9人で、歩行者死者の45.0%を占めている。

歩車道の区分別では、区分ありでの死者が多く、15人と歩行者死者の75.0%を占め、傷者についても228人で歩行者傷者の70.6%を占めている。 (単位：人)

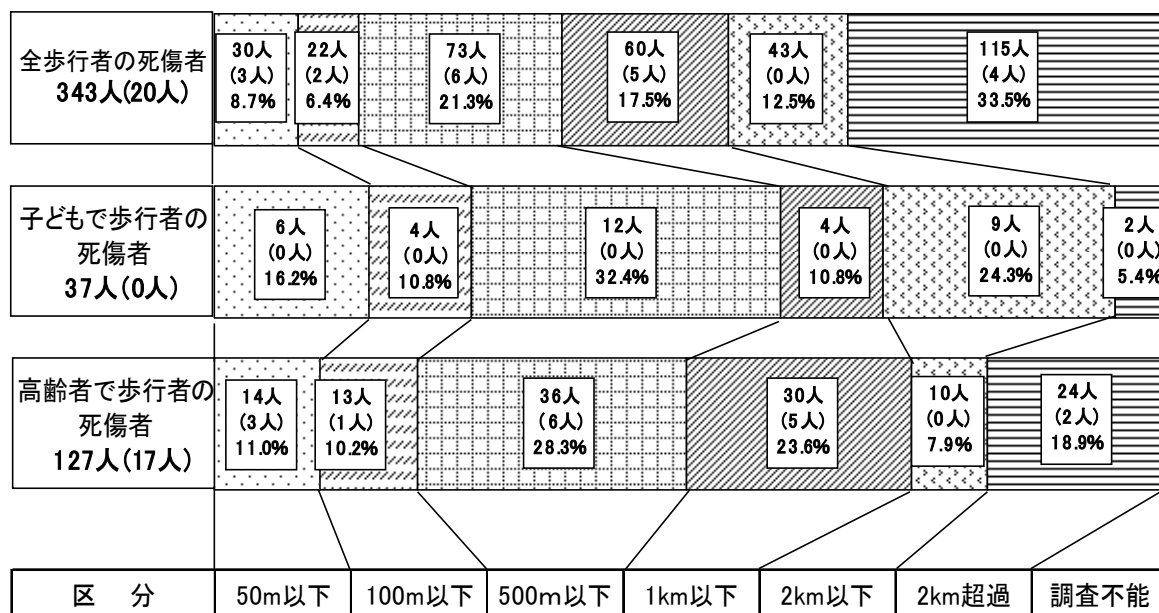
道路形状 信号機、歩車道区別の有無		交 差 点				計	単路	その他	合 計	
		大	中	小	付近					
信号機	信号機あり	死 者		2	1		3		3	
		傷 者	27	71	2	1	101		101	
	信号機なし	死 者	3	2		1	6	9	2	17
		傷 者	2	41	22	12	77	89	56	222
合 計		死 者	3	4	1	1	9	9	2	20
		傷 者	29	112	24	13	178	89	56	323

歩車道あり	区分あり	防護柵等	死 者				0	1		1
			傷 者	1	4		1	6	1	2
	緑石等	死 者	2	4	1	1	8	3		11
		傷 者	27	86	14	6	133	39	4	176
	路側帯	死 者	1				1	2		3
		傷 者	1	13	3	4	21	22		43
	区分なし	死 者					0	3	2	5
		傷 者		9	7	2	18	27	50	95
合 計		死 者	3	4	1	1	9	9	2	20
		傷 者	29	112	24	13	178	89	56	323

ウ 自宅からの距離

自宅から2km超過の死傷者が115人で歩行者死傷者の33.5%を占めている。

また、死者は自宅から500m以下が6人で最も多く、歩行者死者の21.3%を占めている。

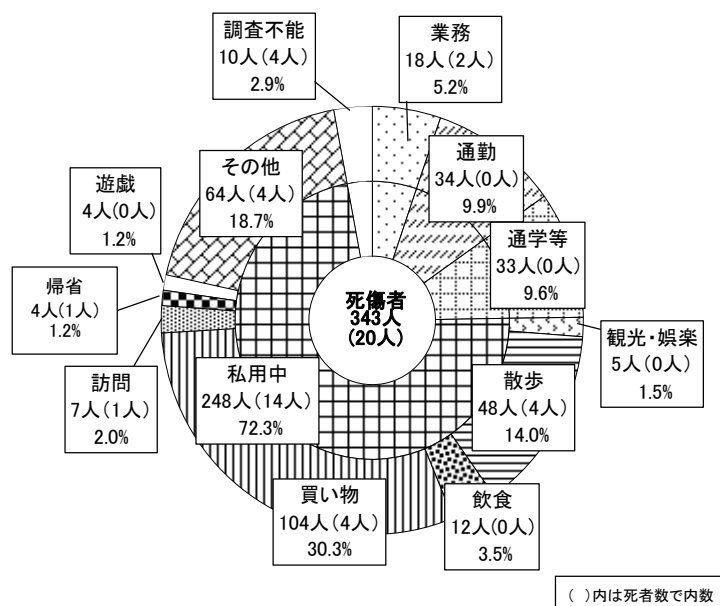


()内は死者数で内数

(6) 通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が248人で72.3%を占めている。

うち買い物目的が最も多く104人で30.3%を占めている。



(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は13人で歩行者死者の65.0%、傷者は177人で歩行者傷者の54.8%を占めている。

(単位：人・%)

区分	状態	人対車両												人対車両以外	合計	
		対面通行中	背面通行中	横断中				計	路上遊戯中	路上作業中	路上停止中	歩道通行中	路側帯通行中			その他
				横断歩道	横断歩道付近	横断歩道橋付近	その他									
死者		1	1	6	0	0	7	13	0	0	1	1	0	1	2	20
構成率(%)		5.0	5.0	30.0	0.0	0.0	35.0	65.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	5.0	10.0	100.0
傷者		23	33	116	4	0	57	177	1	8	10	11	4	51	5	323
構成率(%)		7.1	10.2	35.9	1.2	0.0	17.6	54.8	0.3	2.5	3.1	3.4	1.2	15.8	1.5	100.0

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者13人のうち、交差点での死者は9人で横断中死者の69.2%を占め、交差点内の傷者143人のうち、112人(78.3%)が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

横断歩道等以外のその他横断中の死者は7人で横断中死者の53.8%を占めている。

(単位：人・%)

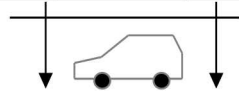




横断場所	道路形状	交差点				計		その他		合計			
		交差点内		交差点付近		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	構成率(%)	
		死者	傷者	死者	傷者							死者	傷者
横断中	横断歩道	5	112	1	2	6	114		2	6	116	46.2	65.5
	横断歩道付近		3			0	3		1	0	4	0.0	2.3
	横断歩道橋付近					0	0			0	0	0.0	0.0
	その他	3	28		4	3	32	4	25	7	57	53.8	32.2
合計		8	143	1	6	9	149	4	28	13	177	100	100

ウ 横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は8人（80.0%）、傷者は99人（75.0%）となっている。

「車両の陰から」の傷者は14人で、うち8人（57.1%）は子どもの傷者となっている。

（単位：人・%）

横断場所 区分		車両の陰から			建物から	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
								
子ども	死者							
	傷者	1	5	2	4	1	1	9
高齢者	死者						2	8
	傷者		1	1	2		2	46
その他	死者							
	傷者		2	2	3		6	44
合計	死者	0	0	0	0	0	2	8
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
	傷者	1	8	5	9	1	9	99
	構成率(%)	0.8	6.1	3.8	6.8	0.8	6.8	75.0

(8) 違反別

（単位：人・%）

ア 違反状況を見ると、何らかの違反があった死者は8人で40.0%を占め、傷者は80人で24.8%となっている。

イ 死者の違反は、横断中が4人と多く、違反あり死者の50.0%を占め、次いでその他の違反が2人、路上作業中、飛び出しがそれぞれ1人となっている。

横断中では、横断歩道外横断が3人、走行車両の直前・直後横断が1人となっている。

傷者の違反は横断中が28人と多く、違反あり傷者の35.0%を占めている。

違反	死傷者		傷者		
	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	
信号無視		0.0	4	1.2	
通行区分		0.0	13	4.0	
横断中	横断歩道外	3	15.0	22	6.8
	斜め横断		0.0	3	0.9
	駐車車両直前・直後		0.0	1	0.3
	走行車両直前・直後	1	5.0	1	0.3
	横断禁止場所		0.0	1	0.3
計	4	20.0	28	8.7	
酩酊・徘徊		0.0	3	0.9	
路上遊戯		0.0		0.0	
路上作業	1	5.0	3	0.9	
飛び出し	1	5.0	22	6.8	
その他の違反	2	10.0	7	2.2	
違反なし	12	60.0	243	75.2	
合計	20	100.0	323	100.0	

3 自転車の事故

(1) 概況

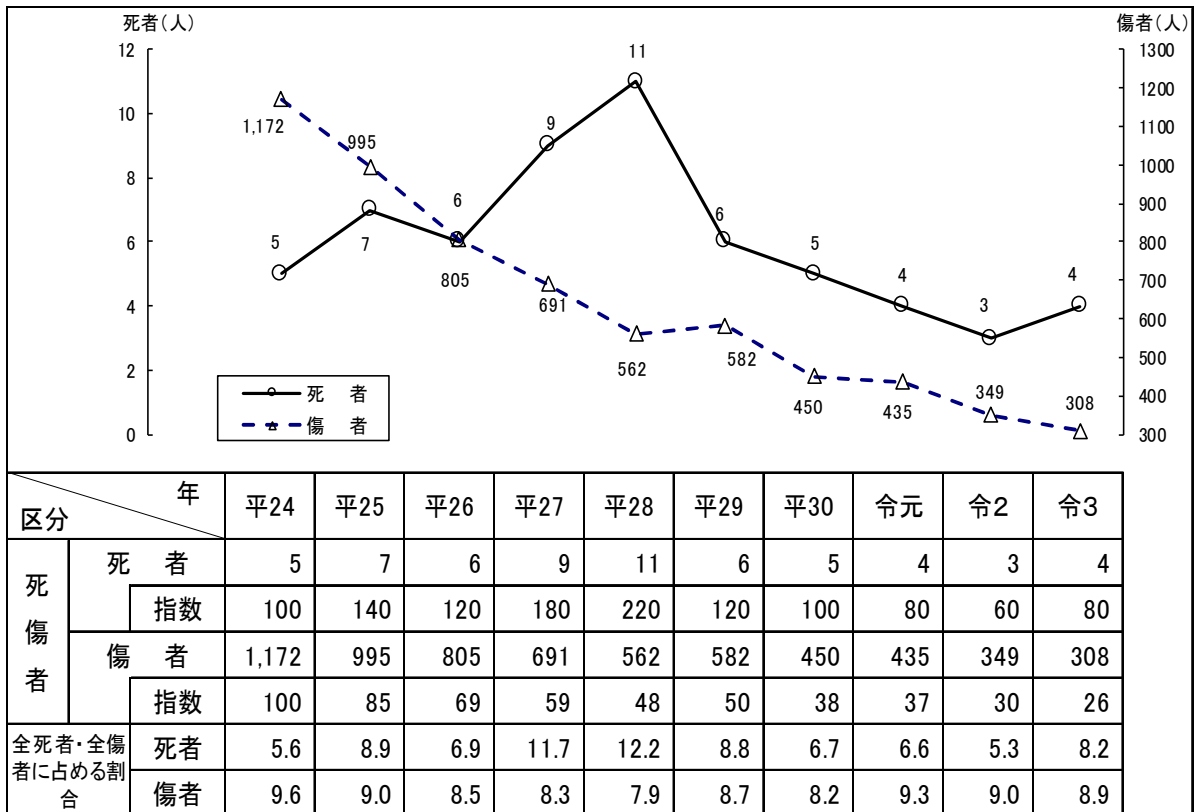
交通事故で死傷した人は

死者数 4人 (前年比 +1人 33.3%増)
 傷者数 308人 (前年比 -41人 11.7%減)

で、死者数は増加したが、傷者数は減少した。

全死者数に占める割合は 8.2%で2.9ポイントの増加、全傷者数に占める割合は8.9%で0.1ポイント減少した。

(単位：人・%)



(2) 月別

死者数は3月、5月、7月と8月に各1人となっている。

傷者数は、12月が33人と最も多く、次いで11月の32人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死傷者数は下半期が多い。

(単位：人・%)

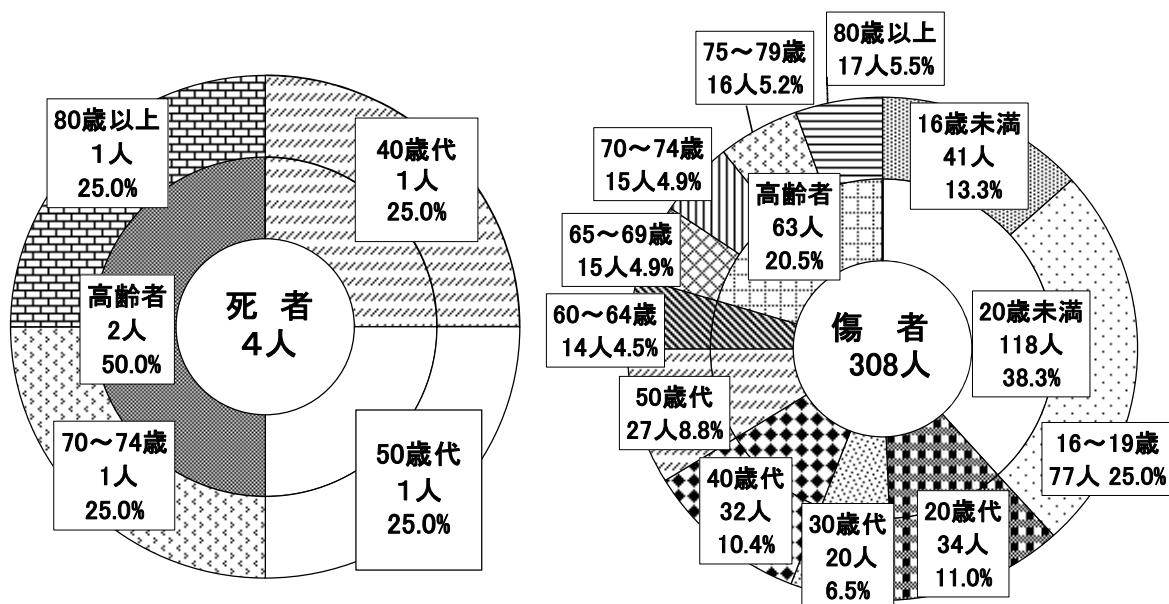
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者			1		1		1	1					4
	傷者	13	22	25	31	27	26	29	17	25	28	32	33	308
全死傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	16.7	0.0	25.0	0.0	25.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2
	傷者	4.7	7.5	8.0	12.0	9.8	10.3	10.4	7.1	9.5	9.4	9.4	9.2	8.9

(3) 年齢別

ア 年齢別

自転車死者4人中2人が高齢者であった。

傷者は20歳未満が118人と多く、自転車傷者の38.3%を占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、20歳未満がその他の死傷者に比べ、死傷者の占める割合が高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	死 者		傷 者		
		構成率 (%)	構成率 (%)			
自 転 車 の 死 傷 者	16歳未満	0.0	41	13.3		
	16～19歳	0.0	77	25.0		
	20歳代	0.0	34	11.0		
	30歳代	0.0	20	6.5		
	40歳代	1	25.0	32	10.4	
	50歳代	1	25.0	27	8.8	
	60歳代	60～64	0.0	14	4.5	
		65～69	0.0	15	4.9	
	70歳代	70～74	1	25.0	15	4.9
		75～79	0.0	16	5.2	
80歳以上	1	25.0	17	5.5		
合 計		4	100.0	308	100.0	
内 訳	幼 児	0.0	2	0.6		
	小 学 生	0.0	7	2.3		
	中 学 生	0.0	16	5.2		
	高 校 生	0.0	81	26.3		
	高 齢 者	2	50.0	63	20.5	

(単位：人・%)

年齢	区分	死 者		傷 者		
		構成率 (%)	構成率 (%)			
そ の 他 の 死 傷 者	16歳未満	0	0.0	119	3.8	
	16～19歳	1	2.2	90	2.9	
	20歳代	3	6.7	513	16.3	
	30歳代	4	8.9	615	19.6	
	40歳代	2	4.4	609	19.4	
	50歳代	4	8.9	515	16.4	
	60歳代	60～64	1	2.2	203	6.5
		65～69	3	6.7	171	5.4
	70歳代	70～74	4	8.9	158	5.0
		75～79	4	8.9	70	2.2
80歳以上	19	42.2	75	2.4		
合 計		45	100.0	3,138	100.0	
内 訳	幼 児	0	0.0	25	0.8	
	小 学 生	0	0.0	66	2.1	
	中 学 生	0	0.0	20	0.6	
	高 校 生	0	0.0	41	1.3	
	高 齢 者	30	66.7	474	15.1	

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は4～6時、16～18時、18～20時と20～22時の間に各1人となっている。

傷者は6～8時が58人で最も多く、自転車傷者の18.8%を占めており、次いで8～10時の46人の順となっている。 (単位：人・%)

区分	時間												合計
	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	
死者			1						1	1	1		4
構成率(%)	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	100.0
傷者	1		2	58	46	40	24	34	43	45	10	5	308
構成率(%)	0.3	0.0	0.6	18.8	14.9	13.0	7.8	11.0	14.0	14.6	3.2	1.6	100.0

イ 昼夜別

死者数は夜間が多く、傷者数は昼間が多くなっている。

(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者			1		1	1	1	1	3	4
構成率(%)		0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	75.0	100.0
傷者		16	202	21	239	24	44	1	69	308
構成率(%)		5.2	65.6	6.8	77.6	7.8	14.3	0.3	22.4	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が2人で50.0%を占めている。

傷者は、昼間のその他が161人と多く、自転車傷者の52.3%を占めている。

(単位：人・%)

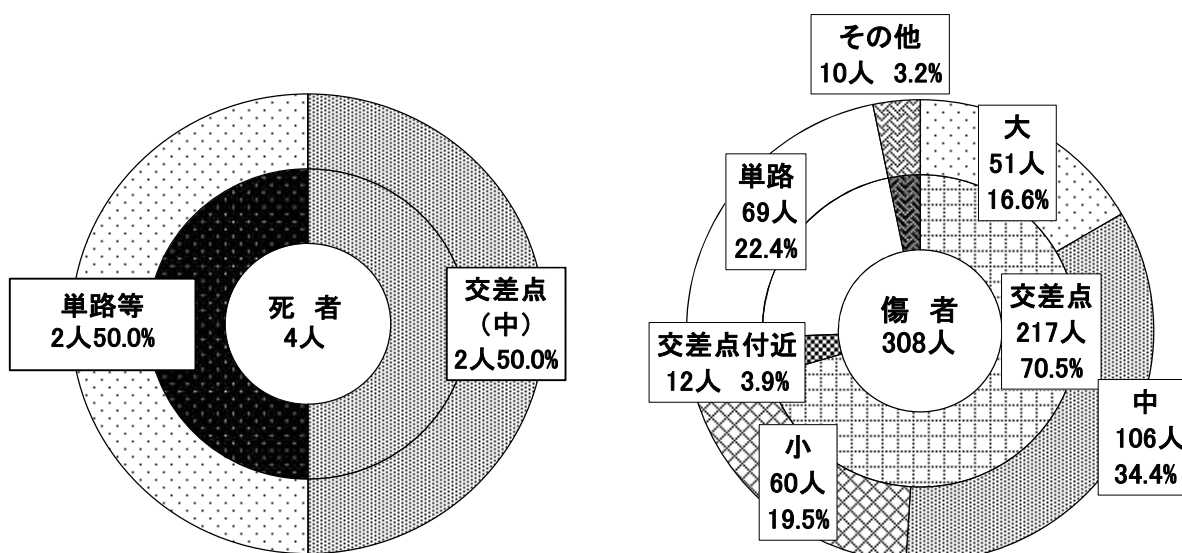
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者				1	1		2	1	3	4
構成率(%)		0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	75.0	100.0
傷者		23	55	161	239	2	8	59	69	308
構成率(%)		7.5	17.9	52.3	77.6	0.6	2.6	19.2	22.4	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者は交差点、単路それぞれ2人となっており、傷者は交差点と交差点付近合わせて229人で自転車傷者の74.4%を占めている。

交差点の大きさで見ると、死者、傷者ともに「中」交差点での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

自転車死者は信号機のある交差点で1人、信号機のない交差点で1人、単路で2人となっている。 (単位：人)

信号機の有無		道路形状	交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機あり	死者			1					1	
	傷者	40	51	7	7	105	1		106	
信号機なし	死者			1				2	3	
	傷者	11	55	53	5	124	68	10	202	
合 計		死者	0	2	0	0	2	2	4	
		傷者	51	106	60	12	229	69	308	

(6) 道路形状別・事故類型別

死者は交差点で2人となっており、傷者は交差点とその付近で229人(74.4%)となっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭による死者が3人(75.0%)、傷者が168人(54.5%)と多くなっている。 (単位：人・%)

道路形状		交 差 点				計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近						構成率(%)			
		事故類型	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者
人 対 車 両						0	0			0	0	0.0	0.0
車	正 面 衝 突					0	0		1	0	1	0.0	0.3
	追 突			2	0	2		2	0	4	0.0	1.3	
両	出 会 い 頭	2	119	4	2	123	1	45	3	168	75.0	54.5	
	追 越 ・ 追 抜		1	2	0	3		13	0	16	0.0	5.2	
相	転 回 ・ 後 退 時			1	0	1		2	0	3	0.0	1.0	
	進 路 変 更 時			1	0	1			0	1	0.0	0.3	
互	す れ 違 い 時				0	0			0	0	0.0	0.0	
	左 折 時		39	1	0	40		10	0	50	0.0	16.2	
そ	右 折 時		55		0	55		3	0	58	0.0	18.8	
	そ の 他		3	1	0	4		3	0	7	0.0	2.3	
計		2	217	0	12	2	229	1	79	3	308	75.0	100.0
車 両 単 独						0	0	1		1	0	25.0	0.0
列 車						0	0			0	0	0.0	0.0
合 計		2	217	0	12	2	229	2	79	4	308	100.0	100.0

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、高齢者の死者は1km以内、2km以内で各1人となっており、全体の傷者数は自宅からの距離が遠くなるにつれて構成率の上昇が見られる。

(単位：人・%)

距離		50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過	調査不能	合 計
子 ども		1	1	4	5	7	4		22
	構成率(%)	4.5	4.5	18.2	22.7	31.8	18.2	0.0	100.0
高 齢 者		1	3	14	① 13	① 19	15		② 65
	構成率(%)	1.5	4.6	21.5	20.0	29.2	23.1	0.0	100.0
そ の 他		3	7	① 16	44	52	① 99	1	② 222
	構成率(%)	1.4	3.2	7.2	19.8	23.4	44.6	0.5	100.0
合 計		5	11	① 34	① 62	① 78	① 118	1	④ 309
	構成率(%)	1.6	3.6	11.0	20.1	25.2	38.2	0.3	100.0

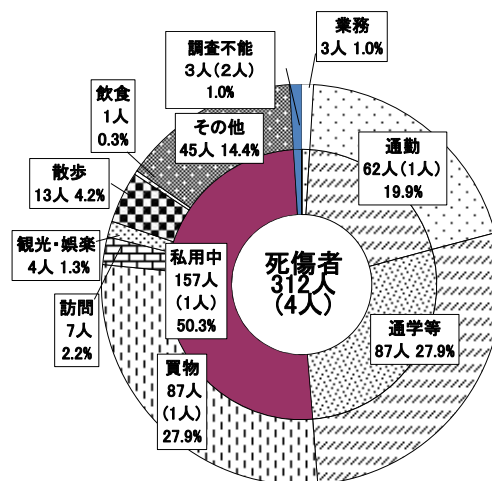
○は死者数で内数 ※同乗者を含まない。

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が157人で50.3%を占めている。

主な内訳は、買物と通学がそれぞれ87人で27.9%と高い割合を占めている。

この他、通勤が62人(19.9%)と多い。



()内は死者数で内数

(9) 違反別

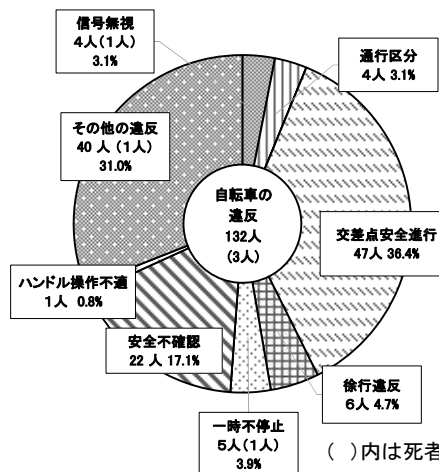
死者のうち何らかの違反があったのは3人(75.0%)、同じく傷者では126人(41.3%)となる。

(単位：人・%)

違反	死 者		傷 者	
	人数	構成率	人数	構成率
信号無視	1	25.0%	3	1.0%
通行区分		0.0%	4	1.3%
横断等禁止		0.0%		0.0%
右折違反		0.0%		0.0%
優先通行妨害		0.0%		0.0%
交差点安全進行		0.0%	47	15.4%
徐行違反		0.0%	6	2.0%
一時不停止	1	25.0%	4	1.3%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認		0.0%	22	7.2%
ハンドル操作不適		0.0%	1	0.3%
その他の違反	1	25.0%	39	12.8%
違反なし	1	25.0%	179	58.7%
合計	4	100.0%	305	100.0%

内数	夜間事故		うち無灯火	
	人数	割合	人数	割合
	3	75.0%	69	22.6%
	1	33.3%	8	11.6%

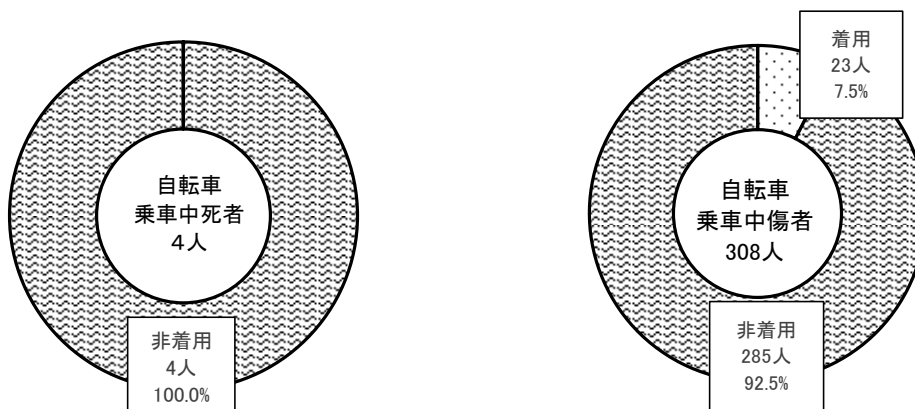
※同乗者は含まない



()内は死者数で内数

(10) ヘルメット着用状況

自転車乗車中死者は4人であり、全員ヘルメット非着用であった。また、自転車乗車中の傷者は308人で、そのうち非着用者が285人(92.5%)であった。



4 子供の事故

(1) 概況

交通事故により死傷した子供は、

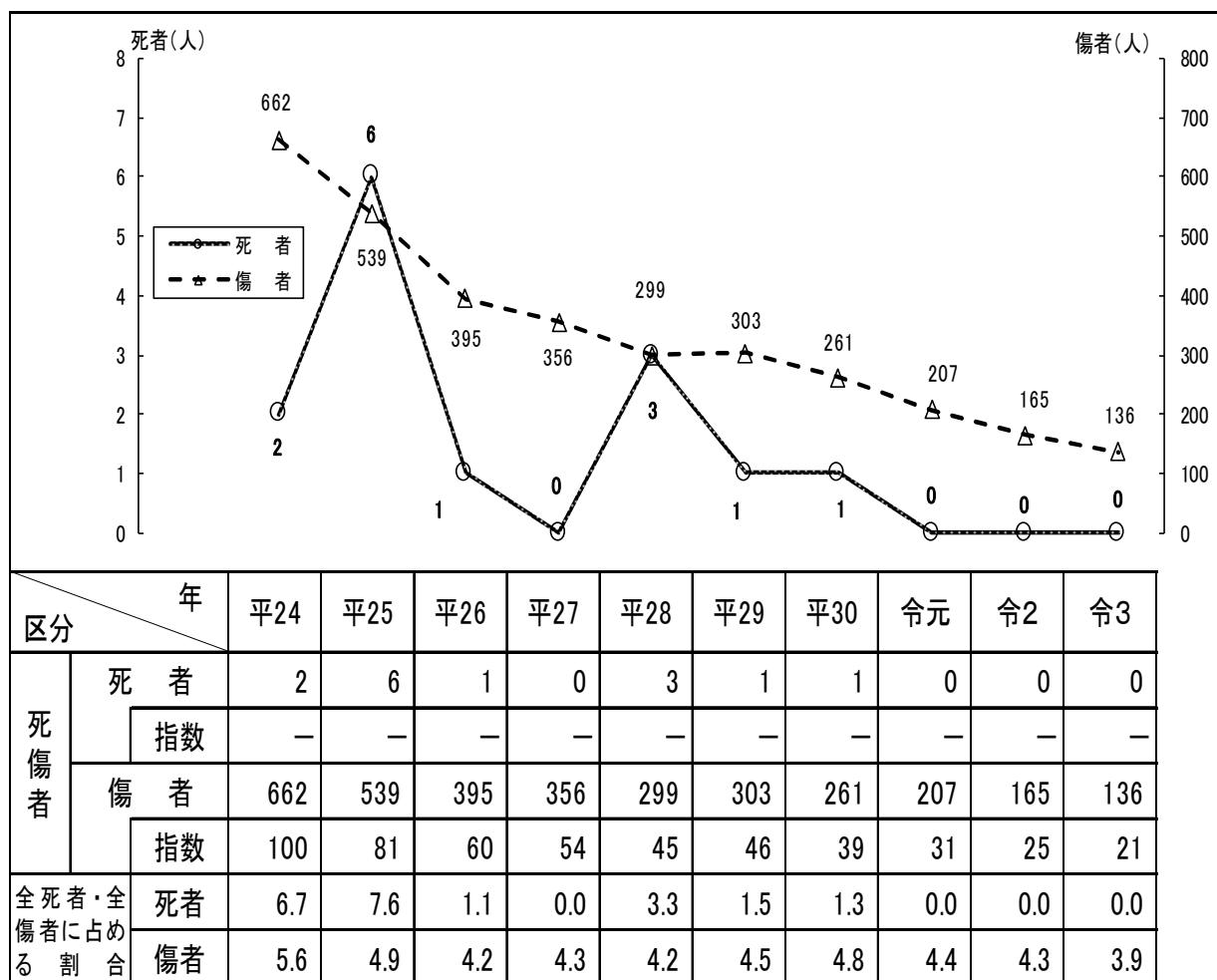
死者数 0人(前年比 ±0人)

傷者数 136人(前年比 -29人 17.6%減)

で、昨年に続き死者は0人で、傷者数は減少した。

全死者に占める割合は0.0%で、全傷者に占める割合は3.9%で0.4ポイント減少した。

(単位：人・%)



(2) 月別

傷者数は3月の22人が最も多く、次いで10月が14人となっている。

(単位：人・%)

区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者														0
	傷者		5	8	22	10	11	11	11	7	11	14	13	13	136
全死者・全傷者に占める割合	死者		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	傷者		1.8	2.7	7.0	3.9	4.0	4.3	4.0	2.9	4.2	4.7	3.8	3.6	3.9

(3) 状態別

傷者は自動車同乗中の72人(52.9%)が最も多く、次いで歩行者の37人(27.2%)の順となっている。
(単位:人・%)

区分	状態	自動車同乗中		自動二輪乗車中		原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
		運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗			
死者												0
	構成率(%)											0.0
傷者		72						22	3	37	2	136
	構成率(%)	52.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.2	2.2	27.2	1.5	100.0

(4) 状態別・学齢別

(単位:人)

傷者は、幼児の27人が最も多く、次いで中学1年生の19人、小学1年生と2年生の15人の順となっている。

歩行者の傷者は、小学2年生と中学1年生の6人が最も多く、次いで幼児、小学3年生と4年生の5人となっている。

自転車の傷者は、中学生1年生の7人が最も多く、次いで中学2年生の5人の順となっている。

学齢	状態	歩行者		自転車		その他		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼児	未就園児		3		2		14	0	19
	幼稚園児		2		0		6	0	8
	計	0	5	0	2	0	20	0	27
小学	1年生		3		4		8	0	15
	2年生		6		1		8	0	15
	3年生		5		1		7	0	13
	4年生		5		0		6	0	11
	5年生		3		1		8	0	12
	6年生		2		0		5	0	7
	計	0	24	0	7	0	42	0	73
中学生	1年生		6		7		6	0	19
	2年生		2		5		3	0	10
	3年生		0		4		3	0	7
	計	0	8	0	16	0	12	0	36
合計		0	37	0	25	0	74	0	136

(5) 時間別・昼夜別

(単位:人・%)

傷者は昼間が多く86.8%を占めている。

時間別では、下校時間帯及び放課後となる14~16時の38人が最も多く、次いで16~18時の27人の順となっている。

区分	昼夜	昼間		夜間		合計	
		薄暮		薄暮		薄暮	
死者						0	0
	構成率(%)						0.0
傷者		118	15	18	9	136	24
	構成率(%)	86.8	11.0	13.2	6.6	100.0	17.6

* 薄暮時は内数

(単位:人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者														0
	構成率(%)													0.0
傷者					21	8	15	14	38	27	12	1		136
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	15.4	5.9	11.0	10.3	27.9	19.9	8.8	0.7	0.0	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢で見ると、幼児は買物での被害が多く、小学生は買物と下校時、中学生は登校時の被害が多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が15.3%、小学生は26.4%、中学生は61.1%となっている。

(単位：人・%)

学齢		幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)	
通学等	登 校	3	11.5	6	8.3	16	44.4	25	18.7
	学 業 中		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	下 校	1	3.8	13	18.1	6	16.7	20	14.9
私 用	観 光 ・ 娯 楽	2	7.7	3	4.2		0.0	5	3.7
	ド ラ イ ブ		0.0	3	4.2		0.0	3	2.2
	散 歩	1	3.8	3	4.2		0.0	4	3.0
	飲 食		0.0	1	1.4	1	2.8	2	1.5
	買 物	11	42.3	19	26.4	3	8.3	33	24.6
	訪 問	2	7.7	2	2.8		0.0	4	3.0
	帰 省	2	7.7	1	1.4		0.0	3	2.2
	遊 戯 (路 上)	2	7.7	1	1.4	1	2.8	4	3.0
	疾 病 徘 徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	そ の 他	2	7.7	20	27.8	9	25.0	31	23.1
調 査 不 能			0.0		0.0		0.0	0	0.0
合 計		26	100.0	72	100.0	36	100.0	134	100.0

(7) 場所別等

ア 道路形状別等

(単位：人・%)

子供の死傷者のうち65.4%が、交差点で事故に遭っている。

学齢と道路形状で見ると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

特に、小学生歩行者の交差点事故が16人と多い。

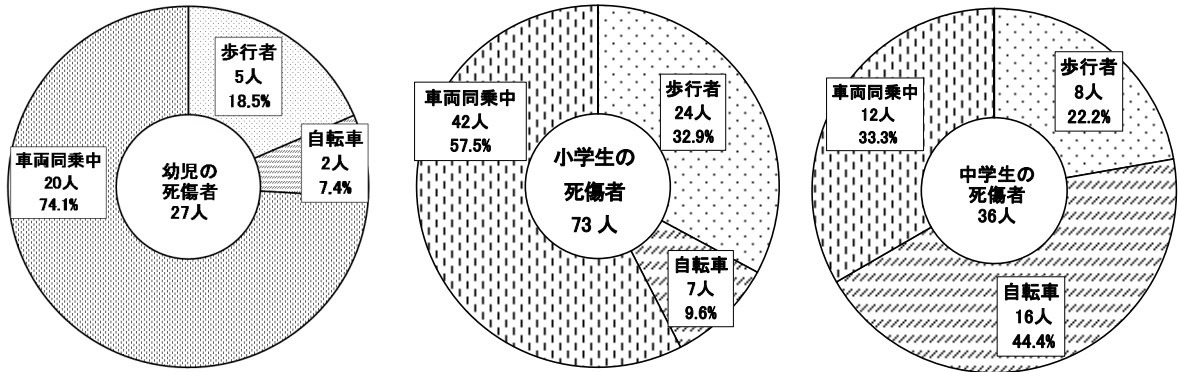
区分	歩行者	自転車	その他	合 計
交 差 点	26	16	47	89
構 成 率 (%)	29.2	18.0	52.8	
単 路	9	7	24	40
構 成 率 (%)	22.5	17.5	60.0	
駐 車 場 等	2	2	3	7
構 成 率 (%)	28.6	28.6	42.9	
合 計	37	25	74	136
構 成 率 (%)	27.2	18.4	54.4	

(単位：人)

区分	交 差 点				単 路				駐 車 場 等			
	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計
幼 児	2	2	13	17	2		6	8	1		1	2
小 学 生	16	5	25	46	7	2	15	24	1		2	3
中 学 生	8	9	9	26		5	3	8		2		2
合 計	26	16	47	89	9	7	24	40	2	2	3	7

イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況を見ると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く74.1%を占め、小学生についても57.5%と比率が高くなっている。



ウ 自宅からの距離

子供の死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から500メートル以内での事故が59.5%を占め、自転車乗車中についても自宅から500メートル以内での事故が27.3%を占めている。

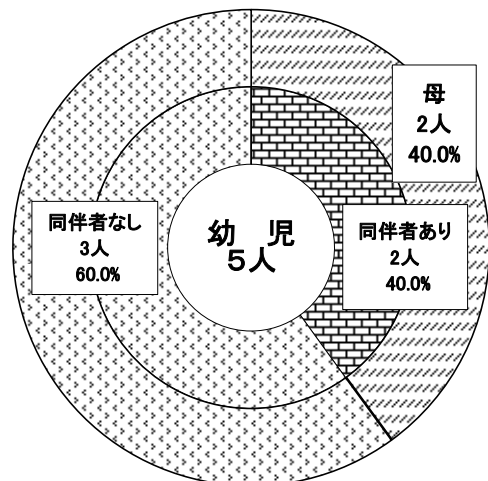
(単位：人・%)

区分 距離	歩行者					自転車					合計 構成率 (%)							
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児			小学生		中学生		小計		
	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数		構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)		
50 m 以下	2	40.0	4	16.7		0.0	6	16.2	-		0.0	1	6.3	1	4.5	7	11.9	
100m 以下		0.0	4	16.7		0.0	4	10.8	-	1	16.7		0.0	1	4.5	5	8.5	
500m 以下	2	40.0	4	16.7	6	75.0	12	32.4	-	3	50.0	1	6.3	4	18.2	16	27.1	
1 km 以下		0.0	3	12.5	1	12.5	4	10.8	-		0.0	5	31.3	5	22.7	9	15.3	
2 km 以下	1	20.0	7	29.2	1	12.5	9	24.3	-	2	33.3	5	31.3	7	31.8	16	27.1	
2 km 超過		0.0	2	8.3		0.0	2	5.4	-		0.0	4	25.0	4	18.2	6	10.2	
調査不能		0.0		0.0		0.0	0	0.0	-		0.0		0.0	0	0.0	0	0.0	
合計	5	100.0	24	100.0	8	100.0	37	100.0	0	-	6	100.0	16	100.0	22	100.0	59	100.0

エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故に遭った傷者5人のうち、「同伴者あり」は2人で、「同伴者なし」は3人となっている。

同伴者は2人とも母親になっている。

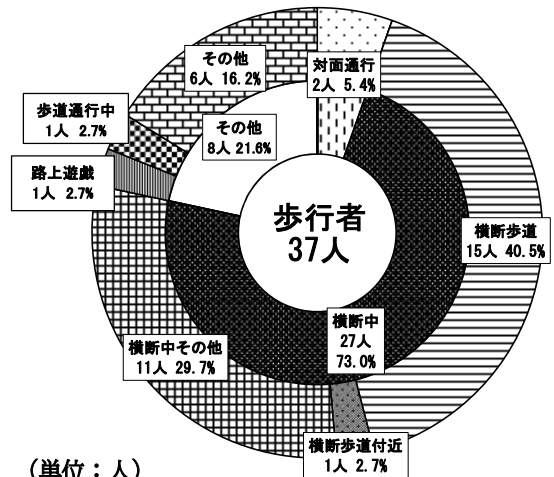


(8) 事故類型

ア 歩行者

事故類型別では横断中が27人と多く、歩行者被害の73.0%を占め、中でも横断歩道での傷者が15人と多く、横断中傷者の5割以上を占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、信号機がない横断歩道以外で小学生の傷者が多くなっている。



(単位：人)

横断場所 学齢	横断歩道		横断歩道以外	
	信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼児	1			1
小学生	4	4	1	9
中学生	3	3		1

イ 自転車

事故類型別では、出会い頭事故の傷者が12人で、自転車乗用中傷者の48.0%を占め最も多く、次いで右折時の6人の順となっている。

また、道路形状別では、交差点での傷者が16人と多く、自転車乗用中傷者の64.0%を占めている。

(単位：人・%)

道路形状等 事故類型	交 差 点		計	その他	合 計	構成率(%)	幼児		小学生		中学生		
	交差点内	交差点付近					交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他	
人 対 車 両			0		0	0.0							
車	正 面 衝 突		0	1	1	4.0						1	
	追 突		0		0	0.0							
両	出 会 い 頭	7	7	5	12	48.0			3	1	4	4	
	追 越 ・ 追 抜		0	1	1	4.0						1	
相	転 回 ・ 後 退 時		0	1	1	4.0					1		
	進 路 変 更 ・ す れ 違 い 時		0		0	0.0							
互	右 折 時	6	6		6	24.0	2		1		3		
	左 折 時	3		3	1	4	16.0		1		2	1	
	そ の 他		0		0	0.0							
	計	16	0	16	9	25	100.0	2	0	5	2	9	7
車 両 単 独			0		0	0.0							
列 車			0		0	0.0							
合 計	16	0	16	9	25	100.0	2	0	5	2	9	7	

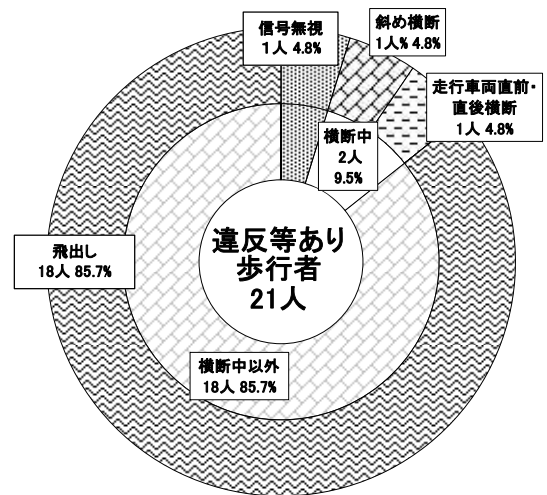
(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の傷者37人のうち、何らかの違反が認められた者は21人で、子供の歩行者被害の56.8%を占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが18人と最も多く、違反のあった子供の歩行者被害の85.7%を占めている。

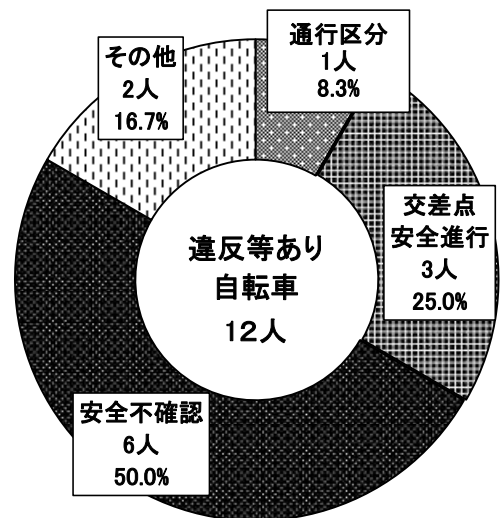
歩行者	幼児	違反あり 4人 80.0%	違反なし 1人 20.0%
	小学生	15人 62.5%	9人 37.5%
	中学生	2人 25.0%	6人 75.0%
	子ども以外	68人 22.2%	238人 77.8%



イ 自転車

自転車の傷者25人のうち、何らかの違反が認められたのは12人で自転車傷者数の48.0%を占めている。違反の内容をみると安全不確認が6人（50.0%）で最も多く、次いで交差点安全進行義務違反3人（25.0%）、その他2人、通行区分1人となっている。

自転車	幼児	違反あり 0人 0.0%	違反なし
	小学生	4人 66.7%	2人 33.3%
	中学生	8人 50.0%	8人 50.0%
	子ども以外	117人 40.8%	170人 59.2%



5 高校生の事故

(1) 高校生の事故

ア 概況

高校生が第1当事者となった事故は、

発生件数 9件 (前年比 +3件 50.0%増)

死者数 1人 (前年比 +1人)

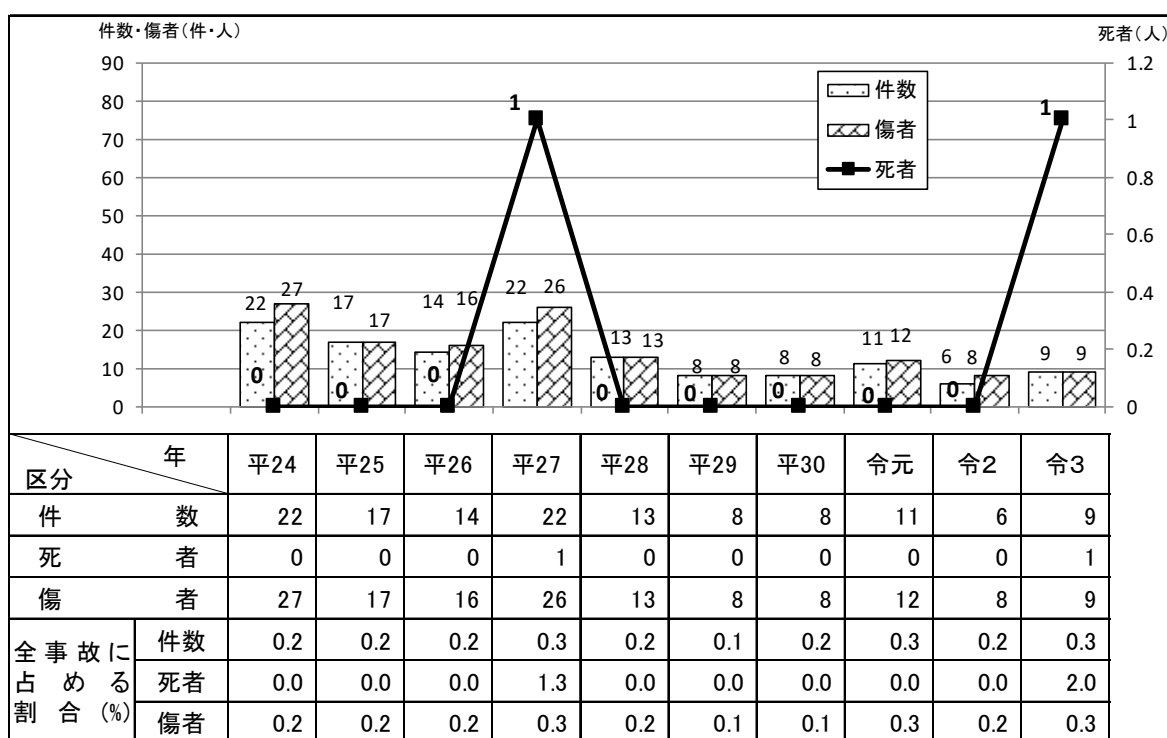
傷者数 9人 (前年比 +1人 12.5%増)

で、発生件数、死者数、傷者数全て増加した。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成24年、平成27年の22件で、令和3年の9件は過去10年で最多だった平成24年、平成27年と比べると59.1%減少している。

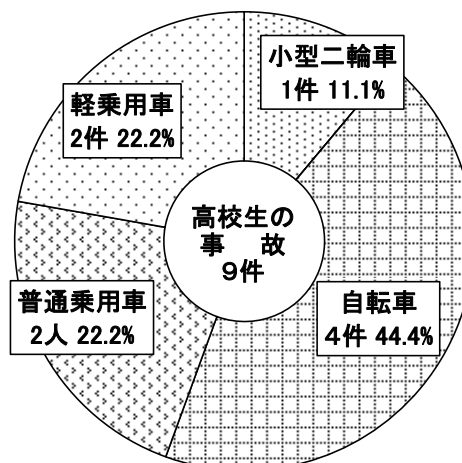
死者は、平成27年、令和3年が1人となっている。

(単位：件・人・%)



イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、自転車が4件で44.4%を占め、次いで、普通乗用車と軽乗用車の2件(22.2%)となっている。



ウ 違反別

悪質違反による事故は2件で22.2%を占め、信号無視、一時不停止がそれぞれ1件となっている。

安全運転義務違反による事故は6件で、前方不注意が3件、ハンドル・ブレーキ操作不適、動静不注意、安全不確認がそれぞれ1件となっている。

(単位：件・%)

違反	区分	高校生事故		全事故		違反	区分	高校生事故		全事故	
		件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)			件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)
悪質違反	信号無視	1	11.1	182	6.1	安全運転義務違反	徐行違反		0.0	25	0.8
	最高速度		0.0	6	0.2		ハンドル・ブレーキ	1	11.1	207	6.9
	通区・追越		0.0	29	1.0		前方不注意	3	33.3	642	21.4
	歩行者妨害等		0.0	148	4.9		動静不注意	1	11.1	467	15.6
	一時不停止	1	11.1	235	7.8		安全不確認	1	11.1	653	21.8
	酒酔い運転		0.0	1	0.0		安全速度		0.0	38	1.3
計		2	22.2	601	20.1	その他		0.0	24	0.8	
横断禁止等			0.0	8	0.3	計	6	66.7	2,031	67.8	
右・左折違反			0.0	14	0.5	その他		0.0	40	1.3	
優先通行妨害等			0.0	156	5.2	合計	9	100.0	2,997	100.0	
交差点安全進行	1	11.1	122	4.1	無免許(内数)	1	11.1	19	0.6		

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、悪質違反が全事故より高い割合になっている。

違反	悪質違反		安全運転義務違反		その他	
高校生による事故	2件 22.2%		6件 66.7%		1件 11.1%	
全事故	601件 20.1%		2,031件 67.8%		365件 12.2%	

エ 道路形状別・当事者別

高校生が第1当事者となる事故は、自動車、自転車それぞれ4件発生し、うち交差点において5件発生し、全事故の55.6%を占める。

(単位：件)

当事者	道路形状	交差点			合計	カーブ(内数)	
		付近(内数)	その他	右		左	
自動車		3	1	1	4		
自転車	小型二輪			1	1		
	軽二輪				0		
	原付二種				0		
	原付				0		
計		0	0	1	1	0	0
自転車		2	0	2	4		
歩行者					0		
合計		5	1	4	9	0	0

(2) 高校生の被害

ア 概況

交通事故で被害に遭った高校生は

死者数 0人（前年比 ±0人）

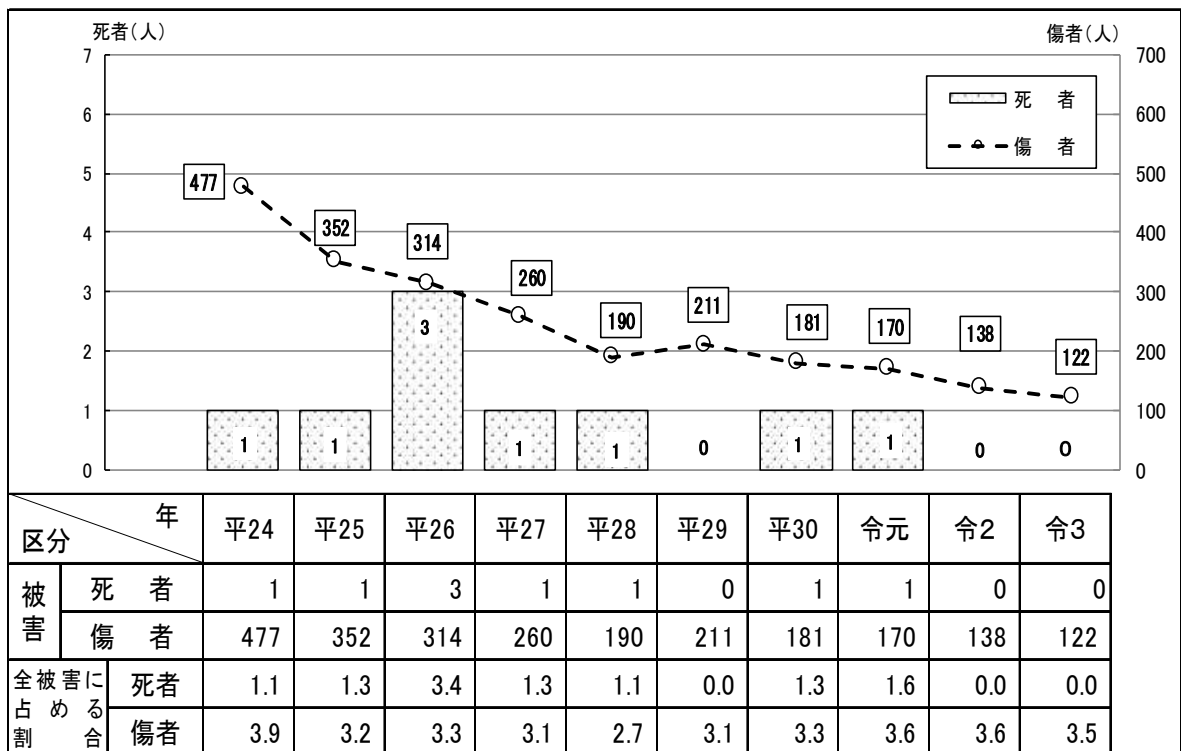
傷者数 122人（前年比 -16人 11.6%減）

で昨年に続き死者は0人で、傷者数は減少した。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成26年の3人で、その他は平成29年、令和2年、令和3年を除き1人が亡くなっている。

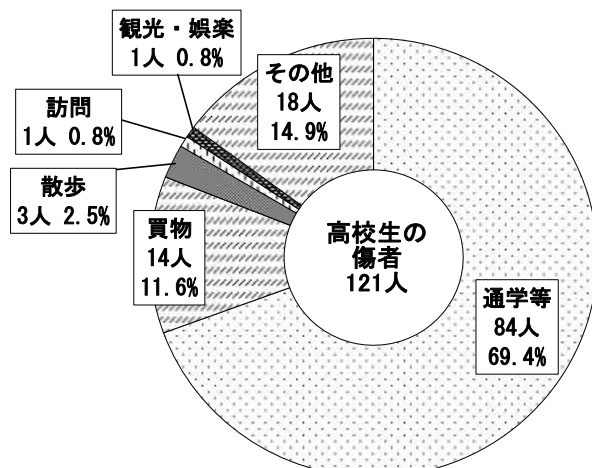
傷者が最も多いのは平成24年の477人で、最も少ないのは令和3年の122人となっており、傷者数を比較すると令和3年は平成24年から約75パーセント減少している。

（単位：人・％）



イ 通行目的

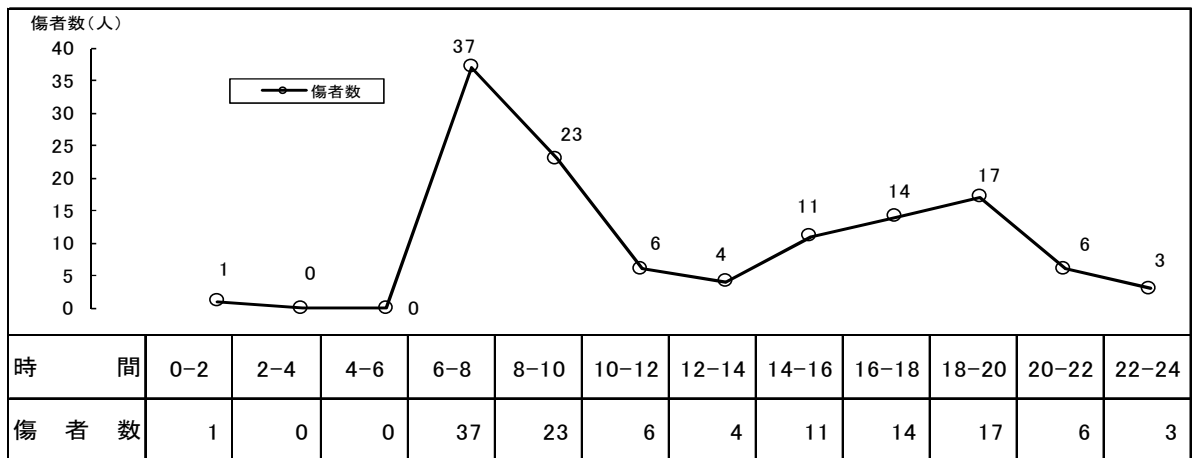
通学等の傷者は84人で高校生傷者の69.4%を占め最も多く、次いで買物の14人となっている。



※通行目的が道路外の人等は除く

ウ 時間別

傷者数は、登・下校時間帯の6～10時が60人、16～20時が31人と多く、この時間帯の傷者は、高校生傷者の74.6%を占めている。 (単位：人)



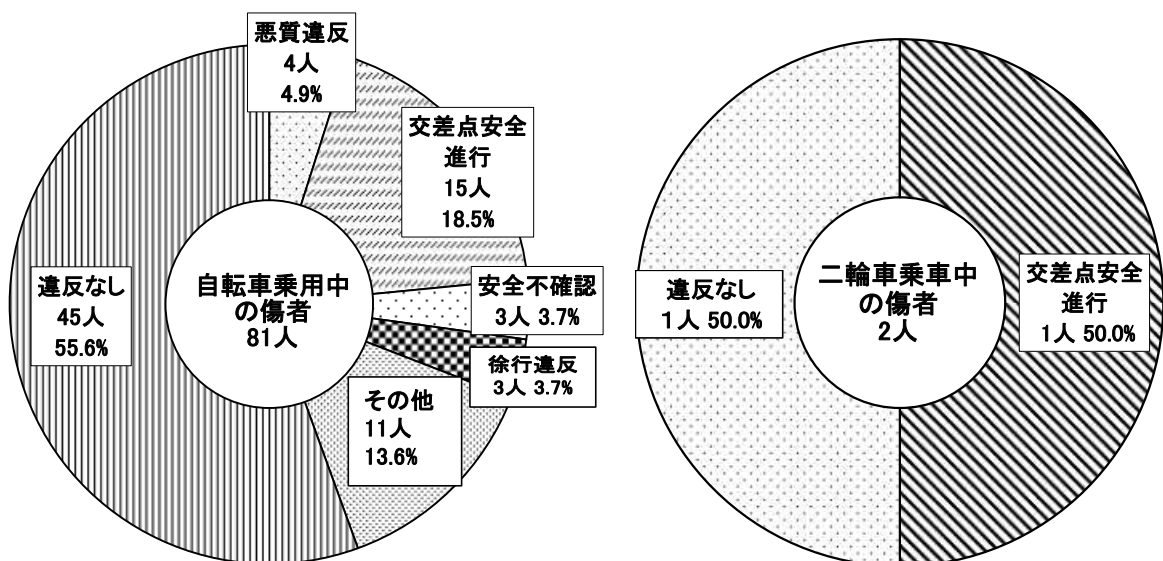
エ 状態別

高校生の傷者は自転車乗用中が81人と最も多く高校生傷者の66.4%を占め、次いで自動車同乗中の24人(19.7%)、歩行中の12人(9.8%)の順となっている。 (単位：人・%)

区分	状態		自動二輪車		原付乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	合計
	自動車		運転中	同乗中					
死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傷者	0	24	2	0	2	81	12	1	122
構成率(%)	0.0	19.7	1.6	0.0	1.6	66.4	9.8	0.8	100.0

自転車の違反状況をみると、44.4%に何らかの違反が認められた。

自動二輪車の違反は、交差点安全進行義務違反の1人である。

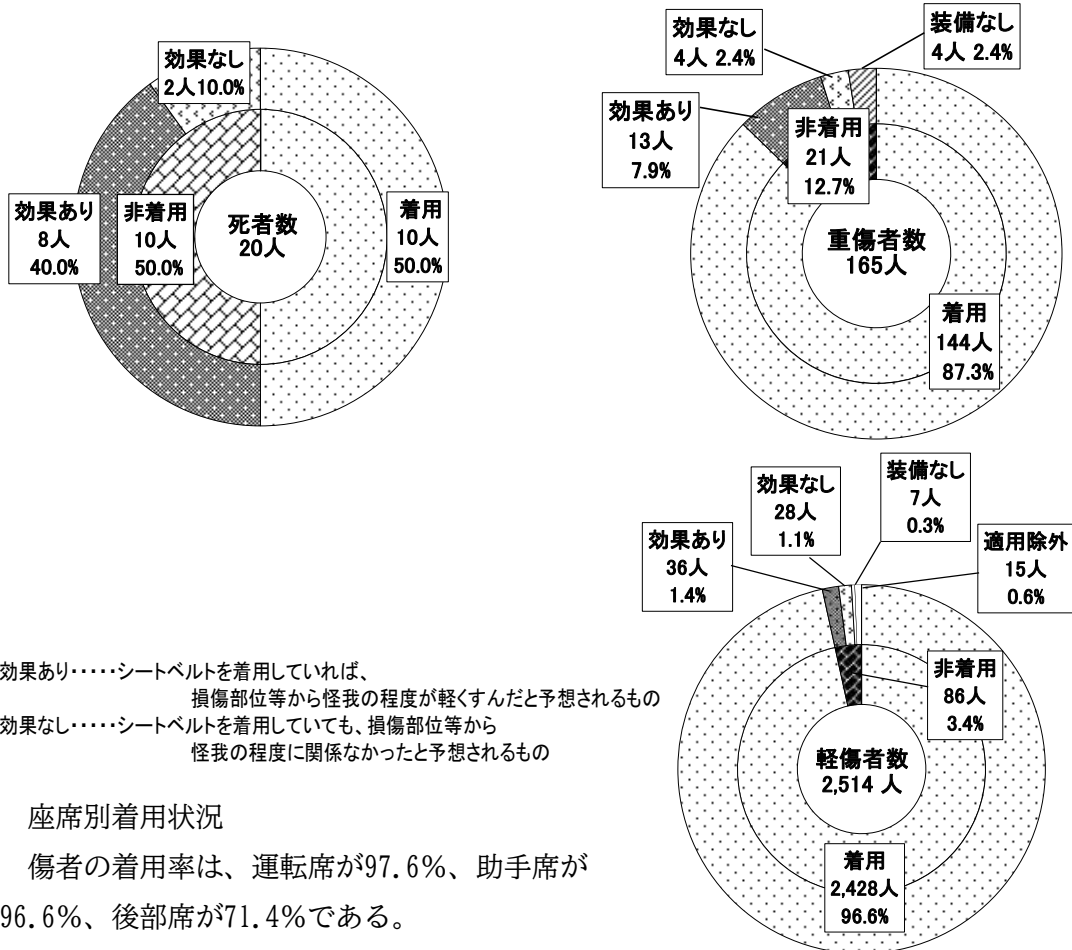


6 自動車のシートベルト着用状況

(1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、重傷者、軽傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用効果の有無を死者でみると、非着用者10人中8人（80.0%）はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。



(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、
損傷部位等から怪我の程度が軽くすんだと予想されるもの
効果なし……シートベルトを着用していても、損傷部位等から
怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

(2) 座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が97.6%、助手席が96.6%、後部席が71.4%である。

死者の着用率は、運転席が52.9%、助手席が100.0%、後部席は0.0%であった。

運転席	死者 17人	着用 9人 52.9%	非着用 8人 47.1%
	傷者 2,263人	着用 2,209人 97.6%	非着用 54人 2.4%
助手席	死者 1人	着用 1人 100.0%	
	傷者 262人	着用 253人 96.6%	非着用 9人 3.4%
後部席	死者 2人		非着用 2人 100.0%
	傷者 154人	着用 110人 71.4%	非着用 44人 28.6%

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、20歳未満が0.0%と最も低く、次いで70歳代が36.4%となっている。傷者の着用率は、20歳未満が90.1%と最も低く、20～24歳が98.1%と最も高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死 者			-			-	1	0	0.0	1	0	0.0
	傷 者	29	28	96.6	53	51	96.2	60	49	81.7	142	128	90.1
20～24歳	死 者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷 者	184	181	98.4	24	24	100.0	6	5	83.3	214	210	98.1
25～29歳	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	203	200	98.5	24	21	87.5	18	11	61.1	245	232	94.7
30歳代	死 者	1	0	0.0	1	1	100.0			-	2	1	50.0
	傷 者	510	494	96.9	49	49	100.0	15	10	66.7	574	553	96.3
40歳代	死 者			-		0	-			-	0	0	-
	傷 者	502	487	97.0	27	26	96.3	11	10	90.9	540	523	96.9
50歳代	死 者	3	2	66.7			-			-	3	2	66.7
	傷 者	400	393	98.3	26	25	96.2	13	10	76.9	439	428	97.5
60～64歳	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	155	152	98.1	15	15	100.0	8	6	75.0	178	173	97.2
65～69歳	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	123	121	98.4	17	16	94.1	6	3	50.0	146	140	95.9
70歳以上	死 者	10	4	40.0			-	1	0	0.0	11	4	36.4
	傷 者	157	153	97.5	27	26	96.3	17	6	35.3	201	185	92.0
合 計	死 者	17	9	52.9	1	1	100.0	2	0	0.0	20	10	50.0
	傷 者	2,263	2,209	97.6	262	253	96.6	154	110	71.4	2,679	2,572	96.0

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、2～4時、8～10時、14～16時、22～24時が0%で、6～8時が100%となっている。

傷者は18～20時が98.9%と最も高く、2～4時が72.7%と最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	10	10	100.0	2	2	100.0	2	0	0.0	14	12	85.7
2～4	死 者	1	0	0.0			-			-	1	0	0.0
	傷 者	7	5	71.4	2	1	50.0	2	2	100.0	11	8	72.7
4～6	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	35	34	97.1	1	1	100.0	2	2	100.0	38	37	97.4
6～8	死 者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷 者	328	325	99.1	15	14	93.3	17	15	88.2	360	354	98.3
8～10	死 者			-			-	1		0.0	1	0	0.0
	傷 者	330	323	97.9	23	21	91.3	10	8	80.0	363	352	97.0
10～12	死 者	3	2	66.7			-			-	3	2	66.7
	傷 者	281	271	96.4	36	36	100.0	20	10	50.0	337	317	94.1
12～14	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	271	261	96.3	40	38	95.0	27	20	74.1	338	319	94.4
14～16	死 者	1		0.0			-			-	1	0	0.0
	傷 者	260	253	97.3	55	54	98.2	25	20	80.0	340	327	96.2
16～18	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	378	376	99.5	47	47	100.0	29	19	65.5	454	442	97.4
18～20	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	250	247	98.8	23	23	100.0	10	10	100.0	283	280	98.9
20～22	死 者	4	2	50.0	1	1	100.0			-	5	3	60.0
	傷 者	78	74	94.9	13	11	84.6	6	4	66.7	97	89	91.8
22～24	死 者			-			-	1	0	0.0	1	0	0.0
	傷 者	35	30	85.7	5	5	100.0	4	0	0.0	44	35	79.5
合 計	死 者	17	9	52.9	1	1	100.0	2	0	0.0	20	10	50.0
	傷 者	2,263	2,209	97.6	262	253	96.6	154	110	71.4	2,679	2,572	96.0

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 0人(前年比 ±0人)

傷者数 16人(前年比 -12人 42.9%減)

で、昨年に続き死者は0人で、傷者数は減少した。

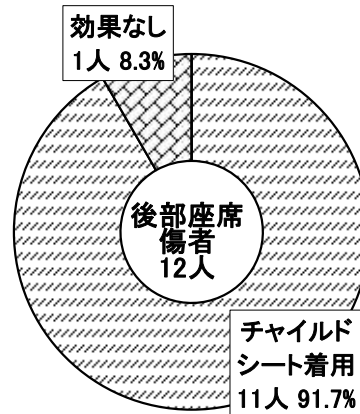
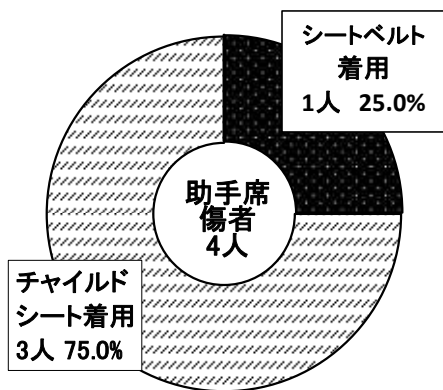
乗車位置別死傷者数は、助手席が4人(うち死者0人)、後部座席が12人(うち死者0人)となっている。

【助手席】 (単位:人)

助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	1		
	チャイルドシート	3		
	計	4	0	0
非着用	効果あり			
	効果なし			
	計	0	0	0
装備なし等				
合計		4	0	0

【後部座席】 (単位:人)

後部座席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト			
	チャイルドシート	11		
	計	11	0	0
非着用	効果あり			
	効果なし	1		
	計	1	0	0
装備なし等				
合計		12	0	0



着用状況	人数
非着用のうち	
効果あり	0人
効果なし	0人

着用状況	人数
非着用のうち	
効果あり	0人
効果なし	1人

死傷状況	人数
死亡	0人
重傷	0人

死傷状況	人数
死亡	0人
重傷	0人

7 青年運転者の事故

(1) 概況

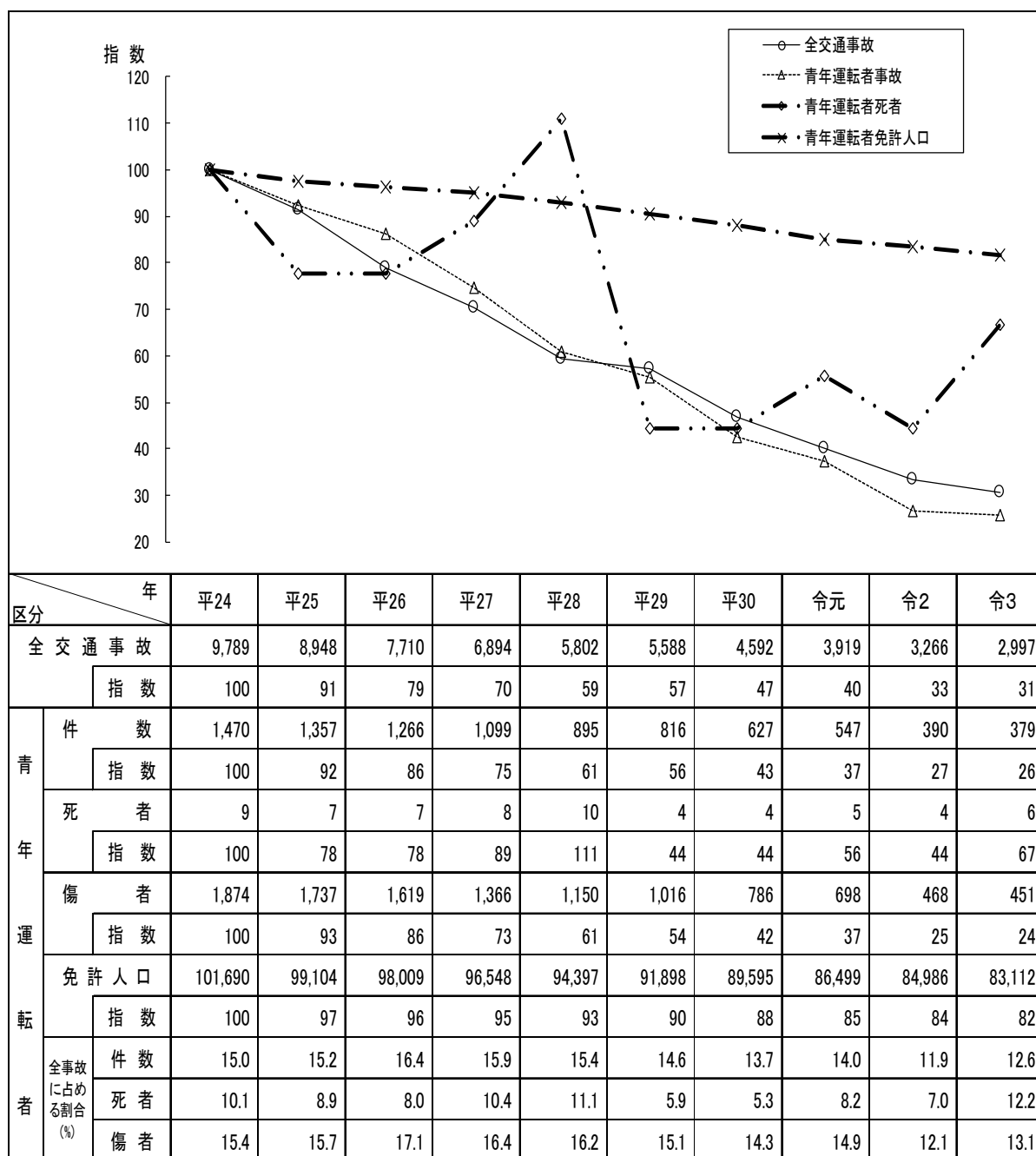
青年運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	379件	(前年比	-11件	2.8%減)
死者数	6人	(前年比	2人	50.0%増)
傷者数	451人	(前年比	-17人	3.6%減)

で、発生件数、傷者数は減少したものの、死者数は増加した。

全事故に占める割合は、件数が12.6%、死者数が12.2%、傷者数が13.1%となっている。

(単位：件・人・%)



区分		年										
		平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	
全	交通事故	9,789	8,948	7,710	6,894	5,802	5,588	4,592	3,919	3,266	2,997	
	指数	100	91	79	70	59	57	47	40	33	31	
青	件数	1,470	1,357	1,266	1,099	895	816	627	547	390	379	
	指数	100	92	86	75	61	56	43	37	27	26	
年	死者	9	7	7	8	10	4	4	5	4	6	
	指数	100	78	78	89	111	44	44	56	44	67	
運	傷者	1,874	1,737	1,619	1,366	1,150	1,016	786	698	468	451	
	指数	100	93	86	73	61	54	42	37	25	24	
転	免許人口	101,690	99,104	98,009	96,548	94,397	91,898	89,595	86,499	84,986	83,112	
	指数	100	97	96	95	93	90	88	85	84	82	
者	全事故に占める割合(%)	件数	15.0	15.2	16.4	15.9	15.4	14.6	13.7	14.0	11.9	12.6
		死者	10.1	8.9	8.0	10.4	11.1	5.9	5.3	8.2	7.0	12.2
		傷者	15.4	15.7	17.1	16.4	16.2	15.1	14.3	14.9	12.1	13.1

(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が171件で最も多く、青年運転者の45.1%を占めている。

違反別では、前方不注意が111件で最も多く29.3%を占めている。

悪質違反による事故は52件で青年運転者の13.7%を占め、うち信号無視が31件と最も多い。

(単位：件)

違反	車種	自 動 車							二 輪 車				合計
		大乗等	普 乗	軽 乗	大貨等	普 貨	軽 貨	特 殊	小	二 軽	二 原	二 原 付	
悪質違反	信号無視		16	15									31
	最高速度		2										2
	通区・追越		2		3								5
	歩行者妨害等			1									1
	一時不停止		7	6									13
	酒酔い運転												0
計		0	27	22	3	0	0	0	0	0	0	0	52
横断禁止等				1									1
右折違反				1									1
左折違反													0
優先通行妨害等			8	11									19
交差点安全進行			4	7				1					12
徐行違反													0
過労運転													0
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		19	11	2	2	2						36
	前方不注意		47	54	2	2	2		1	3			111
	動静不注視		34	32	3	5	2						76
	安全不確認		28	24	2	3	1					1	59
	安全速度		2	2			1						5
	その他		1	3									4
計		0	131	126	9	12	8	0	1	3	0	1	291
その他			1	1	1								3
合計		0	171	169	13	12	9	0	1	3	0	1	379

(3) 時間別・道路別

時間別では、16～18時が71件と最も多く、次いで18～20時の62件、6～8時の61件となっている。

道路別では、国道が133件と最も多く、次いで市町村道が126件となっており、国道と市町村道を合わせると、青年運転者事故の68.3%を占めている。

(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
		国 道	4号				8	4	5	2	3	10	3	
6号	1				4	1	2	3	2	3	2			18
13号					2		2	2	1	1	2	1		11
49号	1			2	2	5	2		1	5	4	2	1	25
三桁	1				9	5	2	2	3	8	4	2		36
計	3		0	2	25	15	13	9	10	27	15	6	8	133
県 道				1	15	11	8	7	13	15	17	4	5	96
市町村道			1	1	17	12	13	10	10	26	26	8	2	126
高 速 道		1		1	2	1			1	2	1			9
そ の 他			1		2	2	2		3	1	3		1	15
合 計		4	2	5	61	41	36	26	37	71	62	18	16	379

(4) 事故類型別

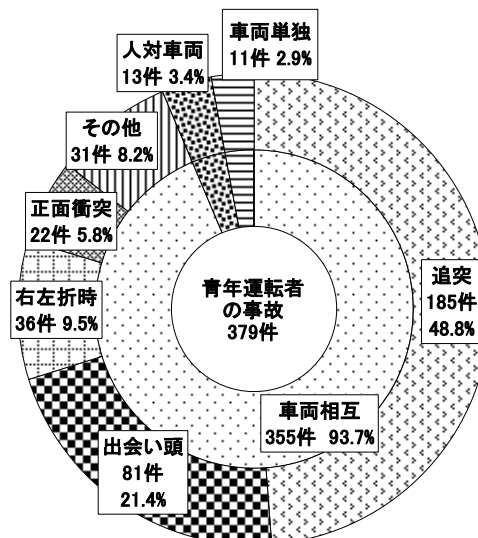
車両相互が355件で青年運転者事故の93.7%を占めている。

特に、

追突： 185件 (48.8%)

出会い頭： 81件 (21.4%)

が多く、両事故類型を合わせると266件で車両相互の70.2%を占めている。

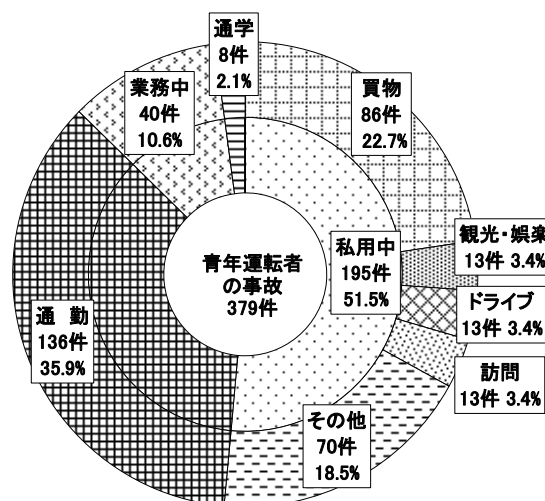


(5) 通行目的別

私用中が195件で青年運転者事故の51.5%を占めている。

特に、買物が86件と多く、私用中事故の44.1%を占め、次いで観光・娯楽、ドライブ、訪問がそれぞれ13件となっている。

また通勤時の事故も 136件発生し、青年運転者事故の35.9%を占めている。



(6) 車種別・速度別（事故直前速度）

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が 337件で最も多く、青年運転者事故の88.9%を占めている。

車種別で見ると、普通乗用車の速度が他の車種に比べ速くなっている。

(単位：件)

速度	自動車											二輪車				合計
	大乗	中乗	準中型	普通	軽乗	大乗	貨中	準中型	普通	軽貨	特殊	小二	軽二	二原	二原付	
停止中																0
50 km/h 以下				151	154	1	4	4	11	9		1	1		1	337
60 km/h 以下				11	10	1	1	2					1			26
70 km/h 以下				3	3											6
80 km/h 以下					1											1
90 km/h 以下				3												3
100 km/h 以下				2									1			3
101 km/h 以上				1					1							2
調査不能					1											1
合計	0	0	0	171	169	2	5	6	12	9	0	1	3	0	1	379

(7) 人的原因別

発見の遅れが246件と多く、青年運転者による事故の64.9%を占めている。

このうち安全不確認が98件と多く、次いで多い脇見等88件と合わせると、「発見の遅れ」全体の75.6%を占めている。

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
合 計	件数	死者	傷者
発見の遅れ 計	246	2	285
前方不注意 計	148	2	171
内在的(漫然等) 計	60	1	68
居眠り運転	5	0	6
ラジオ・ステレオを聴いていた	0	0	0
雑誌や携帯電話等で話していた	5	0	5
その他、考え事等の漫然運転	50	1	57
外在的(脇見等) 計	88	1	103
物を落とした、物を取ろうとした	17	0	23
同乗者、同乗の動物等に脇見	5	0	6
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	6	0	9
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	1	0	1
雑誌、地図帳等を見ていた	1	0	2
道、案内標識等を探して脇見	4	0	4
風景、地物等に脇見	17	1	16
他の車、歩行者に脇見	18	0	20
バックミラーやドアミラーを見ていた	2	0	2
その他脇見	17	0	20
安全不確認 計	98	0	114
安全確認をしなかった	39	0	46
安全確認が不十分だった	59	0	68

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
判断の誤り等 計	件数	死者	傷者
動静不注視 計	81	0	104
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	3	0	5
他の危険を避けようとして注視を怠った	2	0	2
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	76	0	97
予測不適 計	7	3	12
運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	6	3	11
相手がルールを守ると思った	0	0	0
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	0	0	0
他の事故(危険)を避けようと思った	0	0	0
その他相手の行動予見等の判断を誤った	1	0	1
交通環境 計	3	0	3
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	2	0	2
道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	0	0	0
交通規制に対する認識を誤った	0	0	0
交通安全施設に対する認識を誤った	0	0	0
障害物等に対する認識を誤った	0	0	0
その他の交通環境に対する認識を誤った	1	0	1
操作上の誤り(操作不適) 計	41	0	47
ブレーキとアクセルの踏み違い	5	0	6
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	19	0	21
急ブレーキをかけた	7	0	7
エンジン・ブレーキを使用しなかった	1	0	2
ハンドルの操作不適	4	0	4
ギヤの入れ違い	1	0	1
ブレーキをかけながらハンドル操作	1	0	3
オートスピードコントロール装置等の操作不適	0	0	0
その他の操作不適	3	0	3
調査不能	1	0	0

8 高齢者の事故（65歳以上）

(1) 高齢運転者による事故

ア 概況

高齢運転者が第1当事者となった事故は、

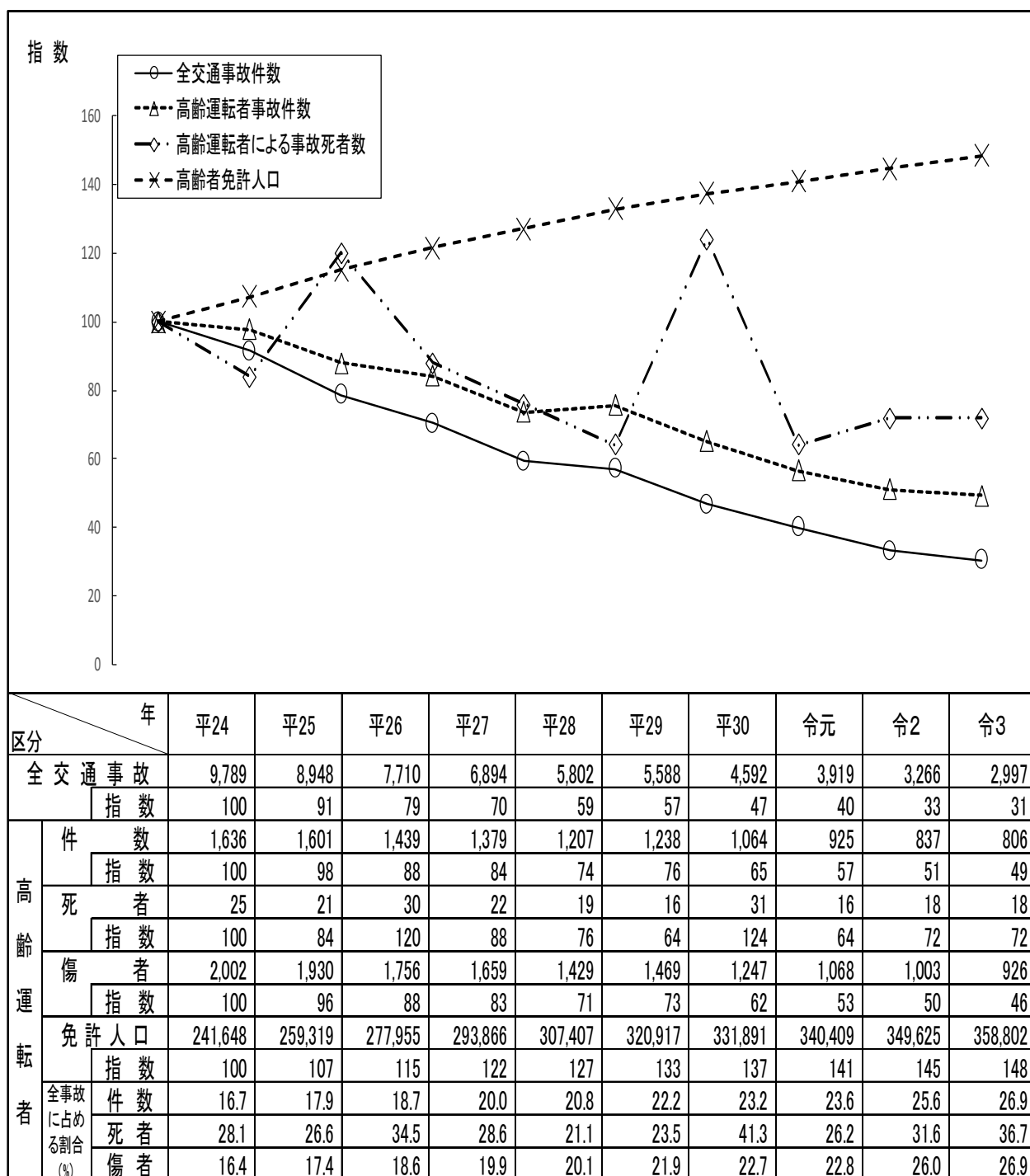
発生件数 806件（前年比 -31件 3.7%減）

死者数 18人（前年比 ±0人）

傷者数 926人（前年比 -77人 7.7%減）

で、昨年に続き死者は0人で、発生件数、傷者数は減少した。

（単位：件・人・％）



イ 時間別・道路別

時間別では10～12時が154件と最も多く、次いで8～10時の135件、14～16時の123件の順となっている。

8時～18時までの発生が654件と高齢運転者事故の81.1%を占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、574件と高齢運転者事故の71.2%を占めている。

(単位：件)

区分	時間												合計	昼間	夜間	
	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24				
国 道	4号		1		1	9	5	8	5	7	5		1	42	33	9
	6号				1	2	3	3	2	3	2			16	11	5
	13号					3	1	1	1		1			7	6	1
	49号				1	1	1	6	4	5	3	1	2	24	17	7
	三桁	1		1	7	11	9	12	15	11	4	1	1	73	62	11
道計	1	1	1	10	26	19	30	27	26	15	2	4	162	129	33	
県道			2	4	28	35	45	34	31	32	11	2	1	225	192	33
	市町村道	1		4	30	65	66	45	54	52	19	12	1	349	302	47
生活道路計	1	2	8	58	100	111	79	85	84	30	14	2	574	494	80	
高速道						1		1					2	2		
その他				1	9	23	13	10	10	1	1		68	64	4	
合計	2	3	9	69	135	154	122	123	120	46	17	6	806	689	117	

ウ 車種別

車種別では普通乗用車が362件で、高齢運転者事故の44.9%を占め、次いで軽乗用車の264件、軽貨物車の132件と続いている。

また、二輪車による事故は4件で高齢運転者事故の0.5%を占めている。

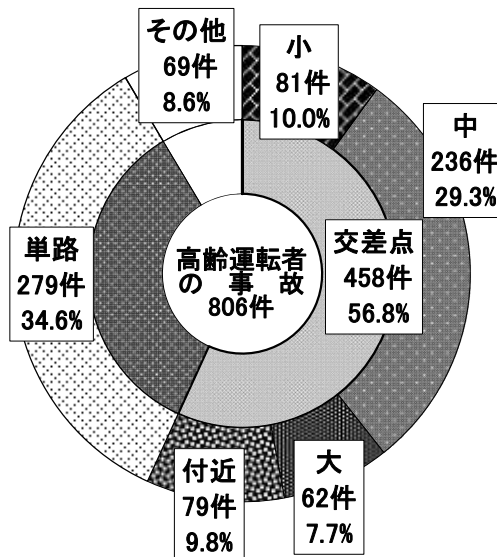
(単位：件)

年齢	車種	自動車						特殊車	二輪車			合計
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨		自二	原二	原付	
65～69歳			118	86	13	10	23	2	1			253
70歳代		1	174	128	9	6	69				1	388
80歳以上			70	50		3	40			1	1	165
合計		1	362	264	22	19	132	2	1	1	2	806

エ 道路形状別

交差点での事故は458件で、高齢運転者事故の56.8パーセントを占めている。

特に「中」交差点での発生が多く、交差点事故全体の51.5%を占めている。



オ 違反別

安全不確認による事故が208件と最も多く、高齢運転者事故の25.8%を占め、次いで前方不注意が152件となっている。

悪質違反は 194件で、一時不停止が83件と最も多く、次いで信号無視と歩行者妨害等の47件となっている。

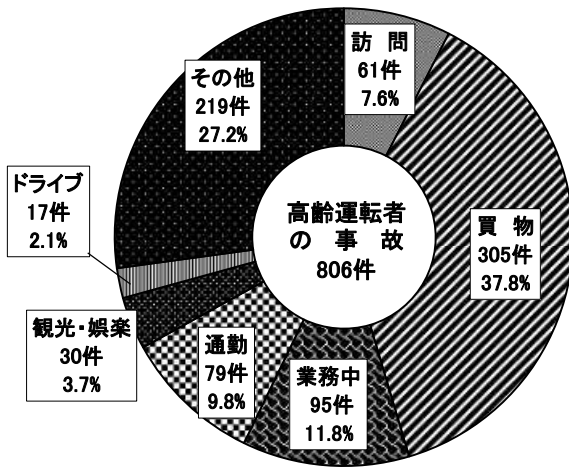
高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は24.1%となっており、全年齢運転者の交通事故に占める悪質違反の割合20.1%と比較すると4.0ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が高い。

(単位：件・%)

違反 区分	悪 質 違 反						横 断 禁 止 等	右 折	左 折	優 先 通 行 妨 害 等	交 差 点 安 全 進 行	徐 行 違 反	安 全 運 転 義 務 違 反					そ の 他 計	合 計			
	信 号 無 視	最 高 速 度	通 区 ・ 追 越	歩 行 者 妨 害 等	一 時 不 停 止	酒 酔 い 運 転							前 方 不 注 意	動 静 不 注 視	安 全 不 確 認	安 全 速 度	そ の 他					
件 数	47	3	14	47	83		194	1	4	2	39	44	8	52	152	83	208	3	10	508	6	806
構成率(%)	5.8	0.4	1.7	5.8	10.3	0.0	24.1	0.1	0.5	0.2	4.8	5.5	1.0	6.5	18.9	10.3	25.8	0.4	1.2	63.0	0.7	100.0

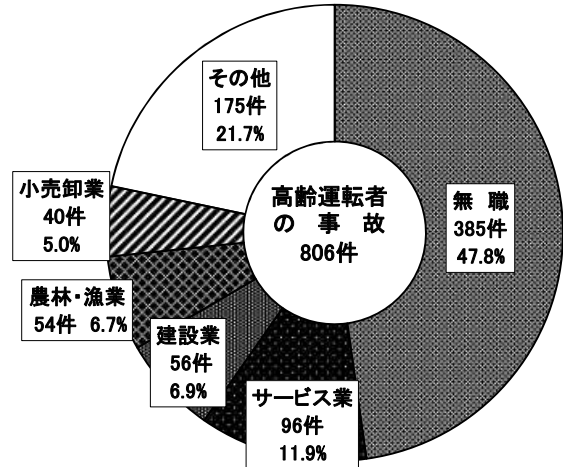
カ 通行目的別

買物が 305件と多く、高齢運転者事故の37.8%を占めている。



キ 職業別

無職が385件と最も多く、高齢運転者の47.8%を占めている。



ク 免許人口に占める事故率（年齢別交通事故発生状況）

(単位：人・件・%)

区分	年齢	25歳未満	25～64歳	65歳以上	合計
	免許人口		83,112	835,405	358,802
	構成率(%)	6.5	65.4	28.1	100
件数		379	1,784	806	2,969
	構成率(%)	12.8	60.1	27.1	100
死者		6	20	18	44
	構成率(%)	13.6	45.5	40.9	100
傷者		451	2,042	926	3,419
	構成率(%)	13.2	59.7	27.1	100

※ 原付以上の運転者が対象（不明除く）

(免許人口は令和3年12月末現在)

(2) 高齢者の死傷者

ア 概況

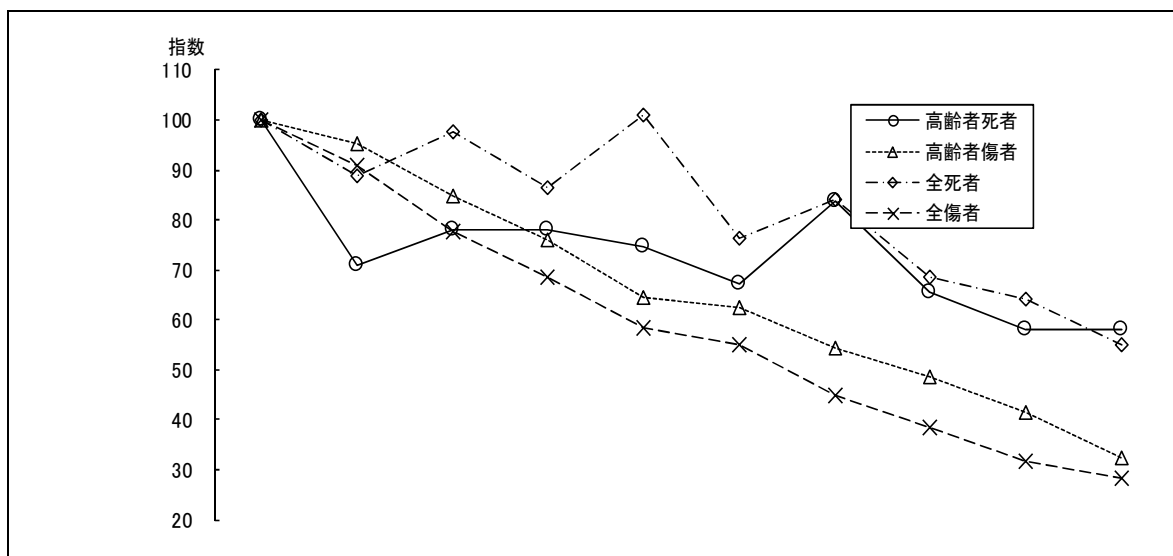
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 32人（前年比 ±0人）

傷者数 537人（前年比 -157人 22.6%減）

で、死者数は前年と同数であったが、傷者数は減少した。

（単位：人）



死傷者		年	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3
		高齢者	死者	55	39	43	43	41	37	46	36	32
	指数	100	71	78	78	75	67	84	65	58	58	
死傷者	傷者	1,666	1,587	1,411	1,266	1,075	1,043	905	812	694	537	
	指数	100	95	85	76	65	63	54	49	42	32	
全死傷者	死者	89	79	87	77	90	68	75	61	57	49	
	指数	100	89	98	87	101	76	84	69	64	55	
	傷者	12,188	11,061	9,450	8,344	7,112	6,710	5,482	4,683	3,857	3,446	
	指数	100	91	78	68	58	55	45	38	32	28	

イ 道路別

生活道路での死傷者が多く、死者は24人で高齢者死者の75.0%、傷者は356人で高齢者傷者の66.3%を占めている。

（単位：人・%）

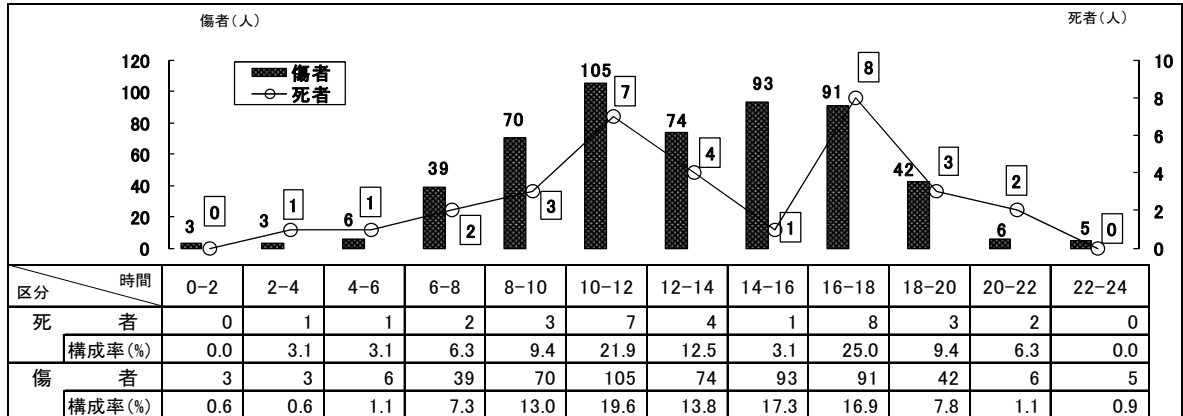
区分	道路	国 道					計	生活道路		計	高 速	そ の 他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁		県 道	市町村道				
死者		1	1			5	7	12	12	24		1	32
構成率(%)		3.1	3.1	0.0	0.0	15.6	21.9	37.5	37.5	75.0	0.0	3.1	100.0
傷者		27	18	7	26	59	137	144	212	356	7	37	537
構成率(%)		5.0	3.4	1.3	4.8	11.0	25.5	26.8	39.5	66.3	1.3	6.9	100.0

ウ 時間別

死者は16～18時の8人が最も多く、高齢者死者の25.0%を占め、次いで10～12時の7人、12～14時の4人の順となっている。

傷者は10～12時の105人が最も多く、高齢者傷者の19.6%を占め、次いで14～16時の93人、16～18時の91人の順となっている。

(単位：人・%)



エ 年齢別・状態別

死者は歩行者の17人が最も多く、高齢死者の53.1%を占め、次いで四輪運転の11人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで歩行者の順となっている。

(単位：人)

状態	65～69歳		70歳代		80歳以上		合計	
	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
歩行者	2	22	2	50	13	38	17	110
自転車		15	1	31	1	17	2	63
原付		2	1	11		2	1	15
自二						1	0	1
四輪運転	1	123	5	139	5	18	11	280
四輪同乗		23		28	1	16	1	67
その他		1					0	1
合計	3	186	9	259	20	92	32	537

オ 違反別

(ア) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは5人で29.4%を占めた。

傷者のうち何らかの違反があったのは26人で23.6%を占め、横断に関する違反が多い。

(単位：人)

違反	違反あり								違反なし	合計	
	信号無視	通行区分	横断					酩酊・徘徊			その他
			横歩道外	斜め横断	駐車車両	走直前直後	横止断場禁所				
死者			3				1		1	12	17
傷者	2	3	16	2				1	2	84	110

(イ) 自転車

死者の違反については、信号無視1人となっている。

傷者のうち、何らかの違反があったのは27人で42.9%を占め、うち交差点安全進行義務違反が11人と最も多い。

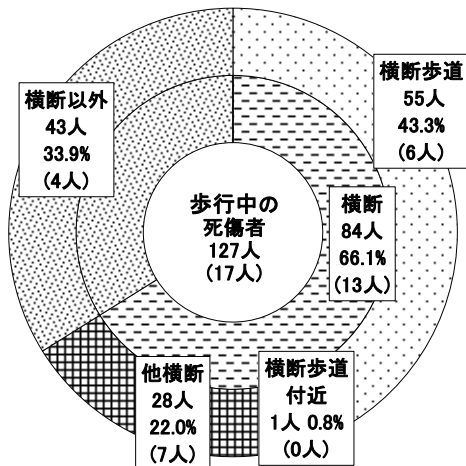
(単位：人)

違反 区分	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	右側通行	横断等禁止	優妨先通行害	交安差進点行	一時不停止	酒酔い	安不確全認	その他		
死者	1									1	2
傷者	3	1			11	1		3	8	36	63

カ 事故類型別

(ア) 歩行者

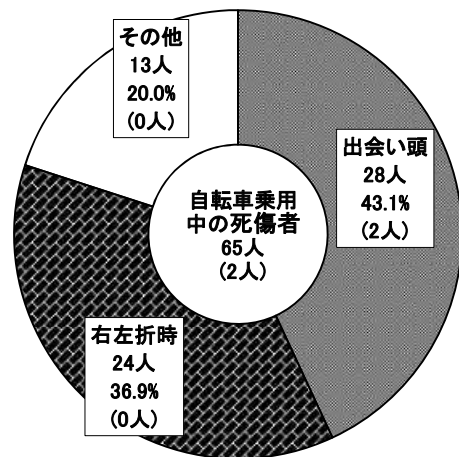
横断が84人と多く、歩行中死傷者の66.1%を占めている。



*1 ()内は死者で内数
*2 人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

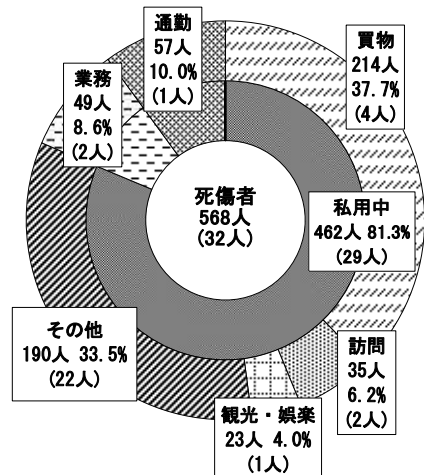
(イ) 自転車

出会い頭事故が28人と多く、自転車事故死傷者の43.1%を占めている。



キ 通行目的別

買物が214人と最も多く、高齢者死傷者全体の37.7%を占め、次いで通勤・業務と続いている。



*1 ()内は死者で内数
*2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く

9 初心運転者の事故

(1) 概況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数 93件（前年比 -17件 15.5%減）

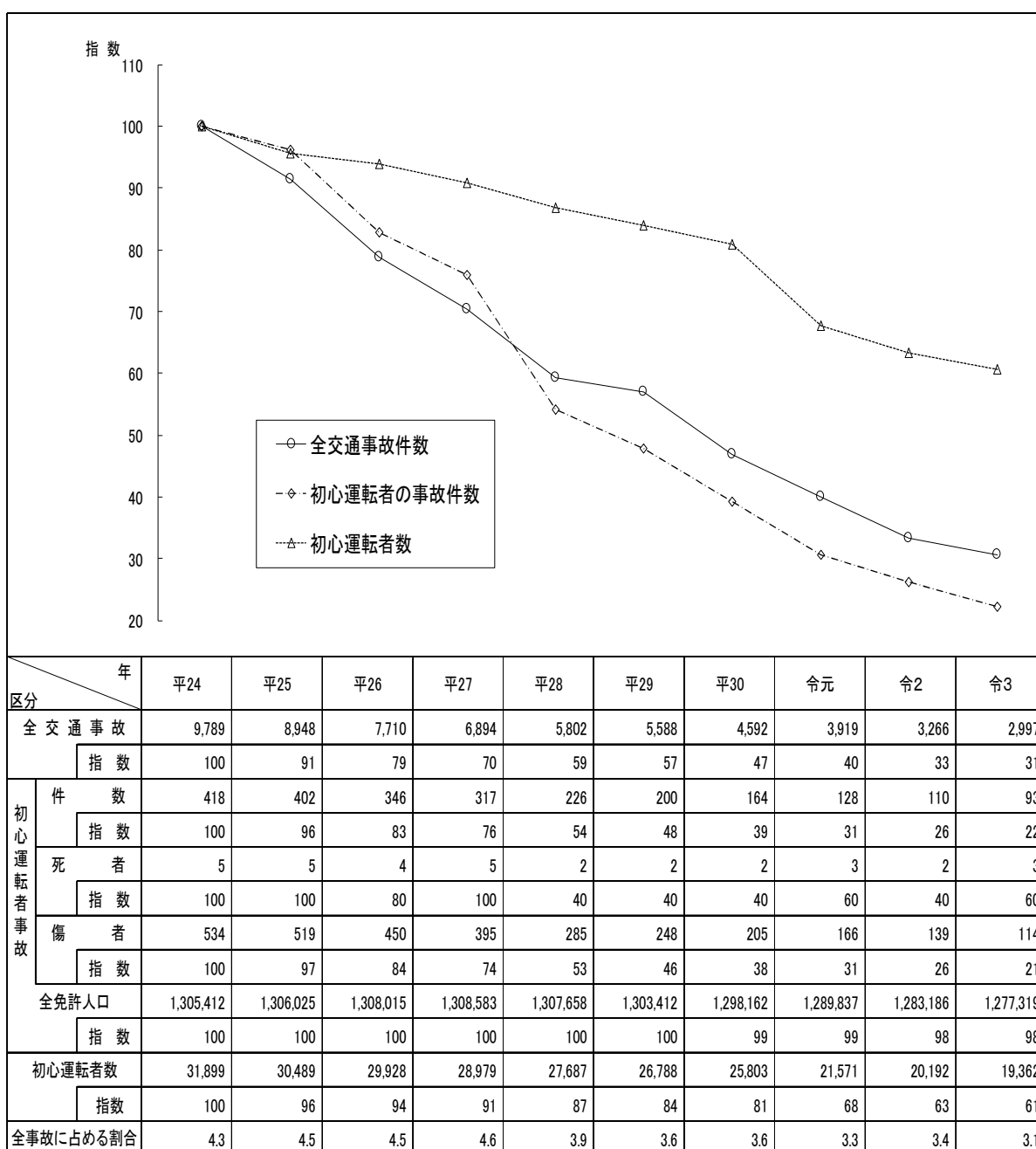
死者数 3人（前年比 1人 50.0%増）

傷者数 114人（前年比 -25人 18.0%減）

で、発生件数、傷者数は減少したものの、死者数は増加した。

過去10年間の推移をみると、初心運転者数は減少傾向にあり、全事故に占める初心運転者の事故割合もおおよそ減少傾向にある。

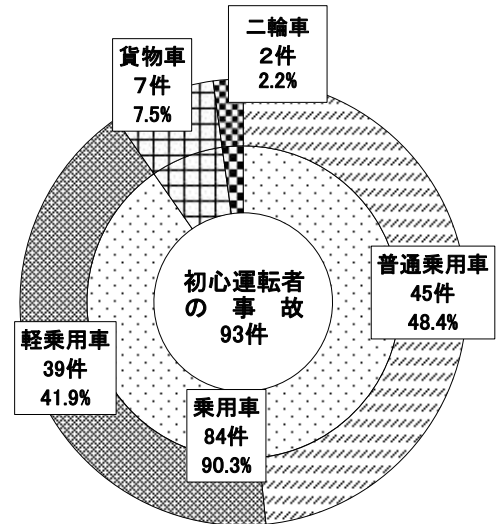
（単位：件・人・％）



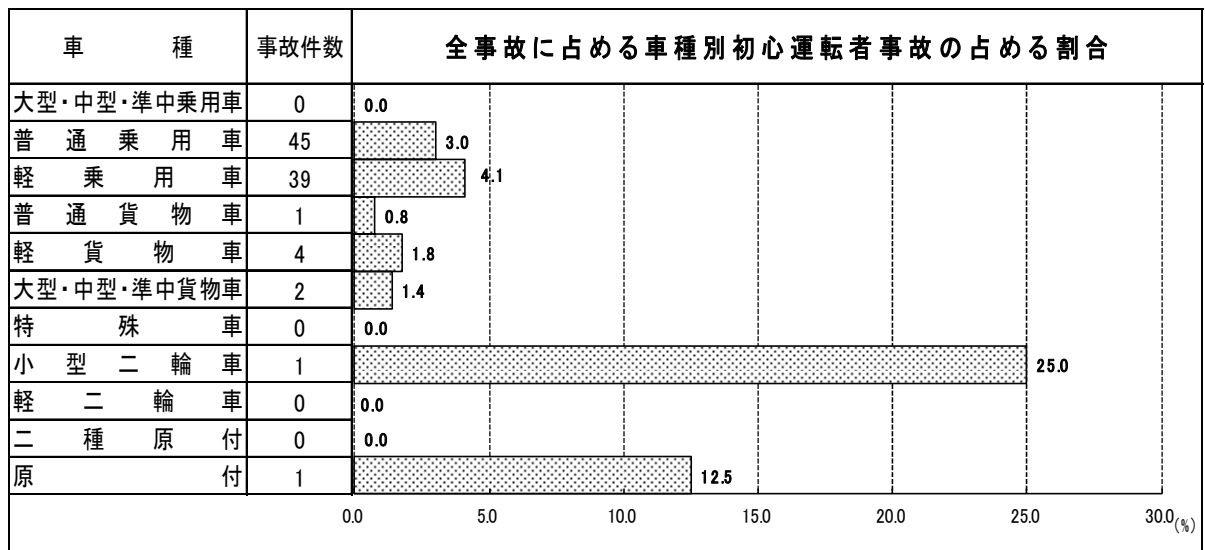
(2) 車種別

乗用車が84件で初心運転者事故の90.3%を占め、普通乗用車の占める割合が48.4%と高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、小型二輪による事故4件のうち1件は初心運転者の事故で、その割合は25.0%であった。



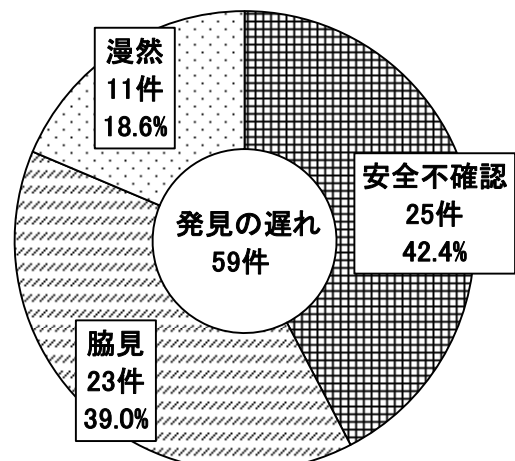
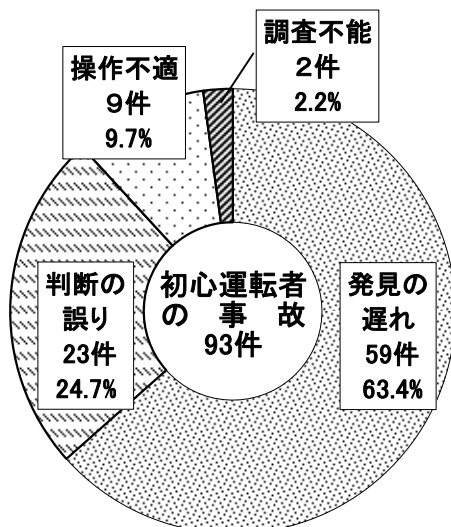
(単位：件・%)



(3) 人的原因

発見の遅れが59件で最も多く、初心運転者事故の63.4%を占めている。

発見の遅れのうち、安全不確認が25件と最多で、脇見が23件、漫然が11件となっている。



(4) 違反別

前方不注意が22件で初心運転者事故の23.7%を占め最も多く、次いで多いのが動静不注視の21件となっている。

悪質違反は18件で同事故の19.4%を占め、うち信号無視が12件で最も多く、次いで一時不停止5件となっている。両違反を合わせると17件となり、悪質違反の94.4%を占めている。

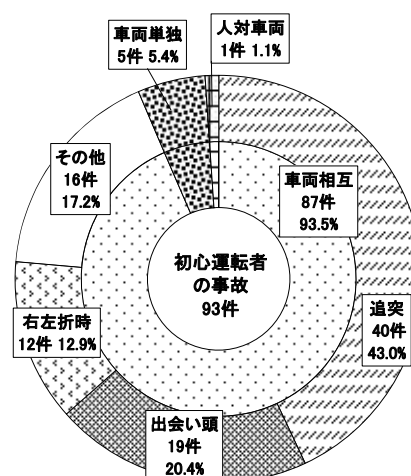
(単位：件・%)

違反		区分	件数	構成率(%)	違反	区分	件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		12	12.9	安全運転義務違反	徐行違反		0.0
	最高速度		1	1.1		過労運転		0.0
	通区・追越			0.0		ハンドル操作		0.0
	歩行者妨害等			0.0		ブレーキ操作	9	9.7
	一時不停止		5	5.4		前方不注意	22	23.7
	酒酔い運転			0.0		動静不注視	21	22.6
計		18	19.4	安全不確認		14	15.1	
横断禁止等		1	1.1	安全速度			0.0	
車間距離不保持			0.0	予測不適			0.0	
進路変更禁止			0.0	その他		1	1.1	
右・左折違反			0.0	計	67	72.0		
優先通行妨害等		4	4.3	その他	1	1.1		
交差点安全進行		2	2.2	合計	93	100.0		

(5) 事故類型別

車両相互の事故が87件で初心運転者事故の93.5%を占めている。

その中でも追突が40件と多く、次いで出会い頭が19件と続いており、両事故で63.4%を占めている。



(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、買い物、出勤、退社が多く、合わせて56件で初心運転者事故の60.3%を占めており、年齢別では25歳未満の事故が76件(81.7%)となっている。

(単位：件・%)

通行目的		区分	件数	構成率(%)	年齢別		区分	件数	構成率(%)
業務	職業運転			0.0	年齢別	青年	16 ~ 19 歳	54	58.1
	業務目的	4	4.3	20 ~ 24 歳		22	23.7		
通勤等	出勤	18	19.4	計		76	81.7		
	退社	16	17.2	25 ~ 29 歳		5	5.4		
	通学	1	1.1	30 歳代		5	5.4		
私用	観光・娯楽	3	3.2	40 歳代		6	6.5		
	ドライブ	3	3.2	50 歳代		1	1.1		
	散歩		0.0	60 ~ 64 歳			0.0		
	飲食	4	4.3	計		17	18.3		
	買い物	22	23.7	高齢者		65 ~ 69 歳		0.0	
	訪問	3	3.2	70 歳代		0.0			
その他	帰省	2	2.2	80 歳以上		0.0			
	その他	17	18.3	計	0	0.0			
調査不能				0.0	合計		93	100.0	
合計				93	100.0	(内数) 高校生	4	4.3	

10 飲酒運転の事故

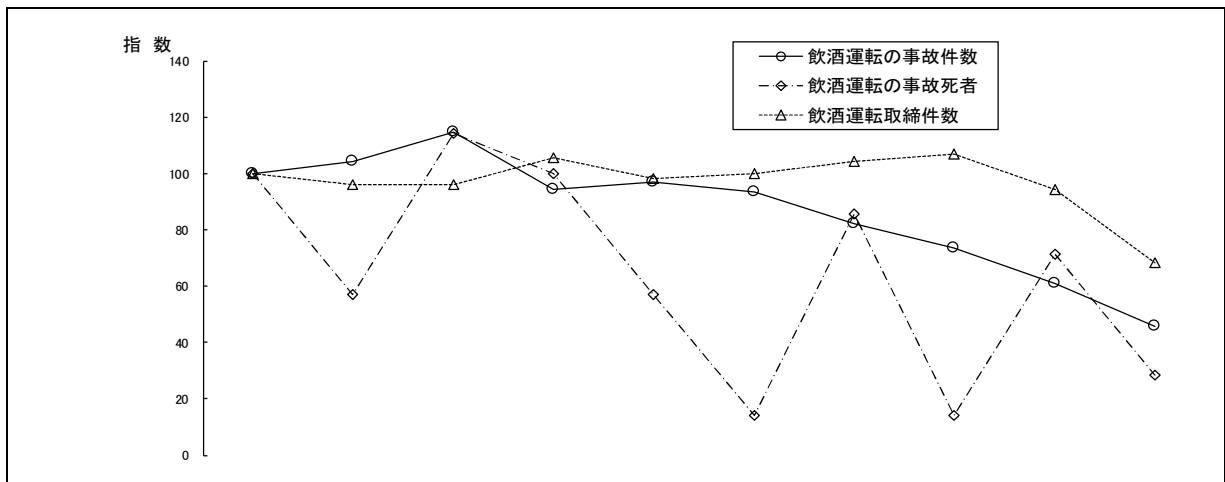
(注)各表の○は酒酔いで内数（以下飲酒運転事故表中の○は同じ）

(1) 概況

第1当事者が飲酒の状態車両を運転して起こした事故は、

発生件数 41件（前年比 -14件 25.5%減） うち酒酔い 1件 前年比-3件
 死者数 2人（前年比 -3人 60.0%減） うち酒酔い 0人 前年比±0人
 傷者数 50人（前年比 -11人 18.0%減） うち酒酔い 1人 前年比-6人

で、発生件数、死者数、傷者数の全てが減少した。 (単位：件・人・%)



区分	年	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3
飲酒運転の事故	件数	90	94	103	85	87	84	74	66	55	41
	指数	100	104	114	94	97	93	82	73	61	46
	死者	7	4	8	7	4	1	6	1	5	2
	傷者	139	129	132	109	116	112	93	97	61	50
酒酔い運転(内数)	件数	13	9	12	13	9	10	8	7	4	1
	死者	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	傷者	13	11	21	22	11	12	15	11	7	1
全事故に占める割合(%)	件数	0.9	0.9	1.1	1.3	1.2	1.5	1.5	1.6	1.7	1.4
	死者	2.1	7.9	5.1	9.2	9.1	4.4	1.5	8.0	1.6	4.1
	傷者	1.0	1.1	1.2	1.4	1.3	1.6	1.7	1.7	2.1	1.5
取締り件数	酒酔い	41	35	47	49	46	36	26	36	31	11
	酒気帯び	390	379	367	405	377	394	423	425	376	284
	合計	431	414	414	454	423	430	449	461	407	295
	指数	100	96	96	105	98	100	104	107	94	68

(2) 月別

飲酒運転が最も多いのは4月、5月と11月の5件となっている。

(単位：件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	3	① 3	4	5	5	4	1	1	2	4	5	4	① 41
	全事故に占める割合	1.2	1.1	1.5	2.2	2.1	1.8	0.4	0.5	0.9	1.6	1.6	1.3	1.4
死者	死者					1					1			2
傷者	傷者	7	① 4	5	5	5	5	1	1	4	4	5	4	① 50

(3) 曜日・時間別

日曜日が11件と最も多く、次いで土曜日の7件となっている。

時間別では、18～20時が7件と多く、次に4～6時が6件と多い。

(単位：件・%)

時間	曜日								合計	
	日	月	火	水	木	金	土	件数	全事故に占める割合	
0～	2	3	1					4	19.0	
2～	4	3						3	27.3	
4～	6		1	2	1		2	6	11.8	
6～	8	1	1	1		1	1	5	1.2	
8～	10					1	1	2	0.5	
10～	12		1	1	1			3	0.8	
12～	14							0	0.0	
14～	16	1		1		1		3	0.9	
16～	18		1		1			2	0.4	
18～	20	① 3	1		1	1	1	① 7	1.9	
20～	22		1			2		3	2.4	
22～	24					1	2	3	6.1	
合計	① 11	6	3	5	6	3	7	① 41	1.4	
全事故に占める割合	3.9	1.4	0.6	1.1	1.3	0.6	1.8	1.4		

(4) 発生地別

市部で38件発生し、飲酒運転の92.7%を占めている。特に郡山市、いわき市が多く、二市の合計は27件で、市部の65.9%を占めている。

(単位：件・人)

発生地 区分	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	9		1		14			1			① 13			3	① 41
死者											2				2
傷者	12		1		21			1			① 12			3	① 50

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、市町村道が19件で飲酒運転の46.3%を占めている。

死者は2人で、国道、県道で1人となっている。

(単位：件・人)

道路 区分	国 道						県 道			市 村 町 道	その他	合計
	4号	6号	13号	49号	三 桁	計	主 要 地 方 道	一 般 道	計			
件数	2	1	1	2	1	7	8	2	10	① 19	5	① 41
死者		1				1	1		1			2
傷者	2		1	3	1	7	8	2	10	① 25	8	① 50

(6) 事故類型別

(単位：件・人)

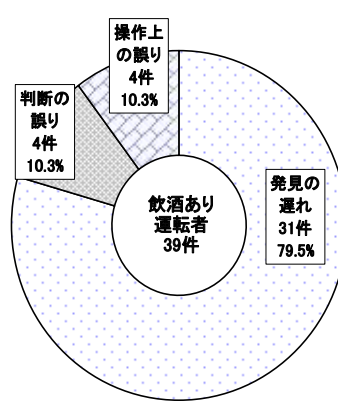
追突が最も多く、19件(46.3%)となっており、次いで正面衝突7件の順となっている。

車両相互の事故が発生件数、傷者数とも全体の約9割と高い割合を占めている。

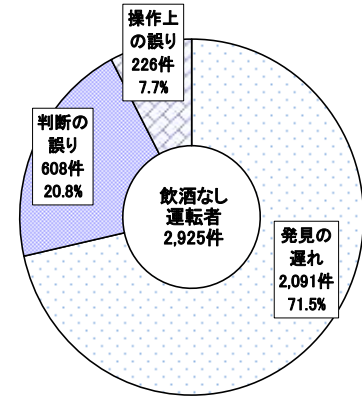
事故類型	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	全事故に占める割合(%)
人対車両	対面・背面歩行中	1	2.4		1	1.8
	横断中		0.0			0.0
	その他	1	2.4		1	1.1
	計	2	4.9	0	2	0.6
車両相互	正面衝突	① 7	17.1		① 11	7.2
	追突	19	46.3		20	1.8
	出会い頭	4	9.8		6	0.5
	転回時		0.0			0.0
	右・左折時	1	2.4		1	0.3
	その他	5	12.2		7	1.7
	計	36	87.8	0	45	1.4
車両単独	工作物衝突	2	4.9	2		6.5
	路外逸脱		0.0			0.0
	駐車車両衝突	1	2.4		3	5.6
	転倒		0.0			0.0
	その他		0.0			0.0
計	3	7.3	2	3	5.4	
列車			0.0			0.0
合計	① 41	100.0	2	① 50	1.4	

(7) 人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「発見の遅れ」と「操作上の誤り」の合計数の割合が10.6%と高くなっている。



※ 調査不能2件を除く



※ 第1当事者が歩行者、不明、調査不能を除く

(8) 飲酒動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「深夜なので大丈夫と思った」が8件、次いで「酔いをさました」が6件と多く、両項目で飲酒運転事故の34.1%を占めている。

(単位：件・人)

動機 区分	他に乗り物がた	なにかの困る	翌日の出動	に困る	少しの	飲	酔	さ	車を置いていく	の	運	な	深	大	交	少	そ	合	飲酒運転のうち		
																			酒酔い運転	酒気帯び運転	
件数	4	3	2	6	3	8	2	13	41	1	31										
構成率(%)	9.8	7.3	4.9	14.6	0.0	7.3	19.5	4.9	31.7	100.0	2.4	75.6									
死者																					1
傷者	4	3	3	8																	39

飲酒理由は「酒好き・晩酌等」が最も多く20件で48.8%を占めている。

飲酒場所は「自宅」が13件で31.7%を占めている。

(単位：件・人)

飲酒理由 飲酒場所	忘年会	新年会	飲送迎会等	冠婚葬祭	等の行事	花見祭典	各種会合	他家訪問	友人等と	のつきあい	酒好き	晩酌等	その他不明	合計	件数	構成率(%)
自宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1	13	13	31.7	
知人・友人宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	4.9	
取引・勤務先	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2.4	
料理店・キャバレー・バー・スナック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	1	11	11	26.8	
その他の料理店	0	0	1	0	0	0	0	0	0	8	6	1	15	15	2.4	
旅館・ホテル等の宿泊施設	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	4.9	
ドライブイン・酒類販売店等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	4.9	
自動販売機付近	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
その他(不明)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	9	9	9	22.0	
合計	0	2	0	0	0	0	0	0	9	20	10	41	41	41	100.0	

件数の構成率(%)	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0	48.8	24.4	100.0
-----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	-------

11 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

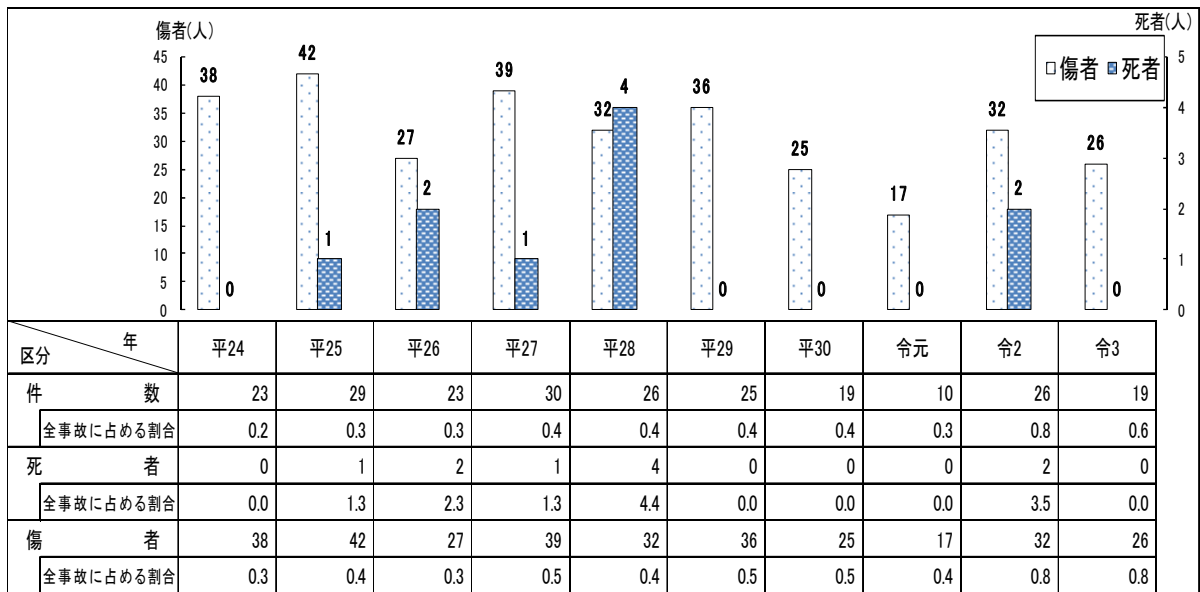
(1) 概況

第1当事者が無免許運転であった事故は、

発生件数	19件	(前年比)	-7件	26.9%減)
死者数	0人	(前年比)	-2人	100.0%減)
傷者数	26人	(前年比)	-6人	18.8%減)

で、発生件数、死者数、傷者数全て減少した。

(単位：件・人・%)



(2) 月別

5、6月に4件となっている。

(単位：件・人)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		1	2	1	4	4	1		2	2		2	19
死者													0
傷者		1	2	1	5	8	2		2	2		3	26

(3) 発生地別

市部での発生が多く、最も多い郡山市は5件で無免許運転事故の26.3%を占めている。

(単位：件・人)

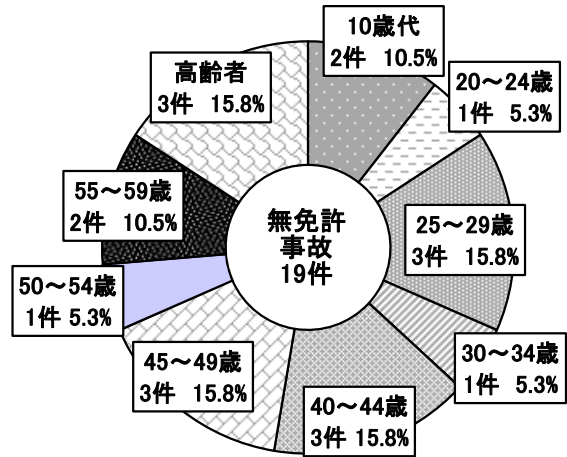
発生地	福島市	伊達市	二本松市	郡山市	本宮市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	4			5			1			2	4	1	1	1	19
死者															0
傷者	8			5			1			3	6	1	1	1	26

(4) 年齢別

40歳代が6件（31.6%）で最も多く、次いで20歳代が4件、高齢者、50歳代が3件となっている。

(単位：件)

年齢	区分	件数	年齢	区分	件数
10歳代	16歳未満		35～39歳		
	16歳		40～44歳		3
	17歳	1	45～49歳		3
	18歳		50～54歳		1
	19歳	1	55～59歳		2
	計	2	60～64歳		
	20～24歳	1	高齢者		3
	25～29歳	3	合計		19
	30～34歳	1			

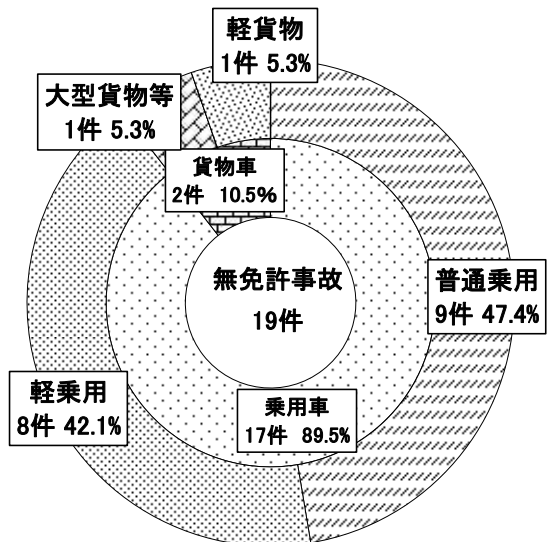


(5) 車種別

車種別では普通乗用車が9件、軽乗用車が8件となっており、全体の89.5%を占めている。

(単位：件・%)

車種	区分	件数		全事故	
		構成率 (%)	無免許割合		
乗用車	バス・マイクロバス	0	0.0	3	0.0
	普通	9	47.4	1,493	0.6
	軽(ミニカーを含む)	8	42.1	948	0.8
	計	17	89.5	2,444	0.7
貨物車	大型・中型・準中型	1	5.3	145	0.7
	普通	0	0.0	130	0.0
	軽	1	5.3	228	0.4
	計	2	10.5	503	0.4
特殊車(大型・小型)		0	0.0	5	0.0
二輪車	小型二輪	0	0.0	4	0.0
	軽二輪	0	0.0	4	0.0
	二種原付	0	0.0	1	0.0
	原付	0	0.0	8	0.0
	計	0	0.0	17	0.0
合計		19	100.0	2,969	0.6



*全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など28件を除く

(6) 職業別

無職と建設業がそれぞれ5件（26.3%）と多く、次いでサービス業が4件となっている。

（単位：件）

職業 区分	職業 運転 手	官 公 署	農 林 漁 業	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	運 輸 業	サ ー ビ ス 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
件数			1	5	3			4		5	1	19
構成率(%)	0.0	0.0	5.3	26.3	15.8	0.0	0.0	21.1	0.0	26.3	5.3	100

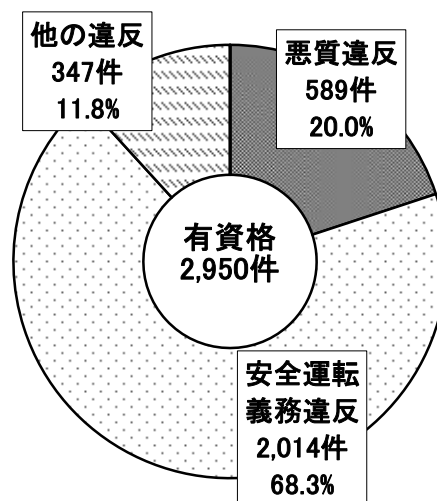
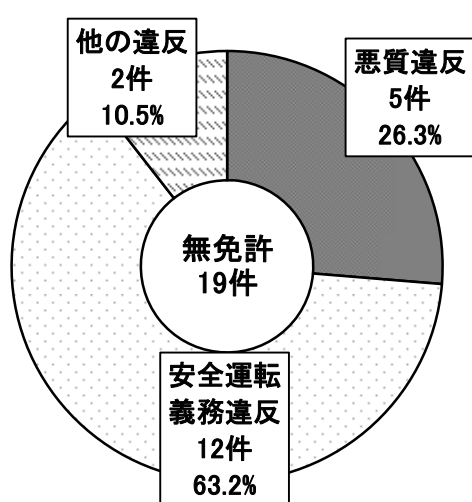
(7) 違反別・原因別

安全運転義務違反は12件で無免許運転全体の63.2%を占めており、うち前方不注意が最も多く5件（26.3%）となっている。

安全運転義務違反による事故の構成率は、無免許運転で63.2%、有資格者運転で68.3%といずれも高い割合となっている。

（単位：件）

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視	3	15.8	安 全 運 転 義 務 違 反	過 労 運 転		0.0
	最 高 速 度		0.0		ハ ン ド ル ・ プ レ ー キ 操 作	1	5.3
	通 区 ・ 追 越		0.0		前 方 不 注 意	5	26.3
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		動 静 不 注 視	2	10.5
	一 時 不 停 止	2	10.5		安 全 不 確 認	4	21.1
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 速 度		0.0
	計	5	26.3	そ の 他		0.0	
車 間 距 離 不 保 持			0.0	計	12	63.2	
優 先 通 行 妨 害 等			0.0	そ の 他		0.0	
交 差 点 安 全 進 行	2	10.5	合 計	19	100.0		
左 折 違 反			0.0	飲 酒 運 転 (内 数)	2	10.5	



(8) 人的原因別

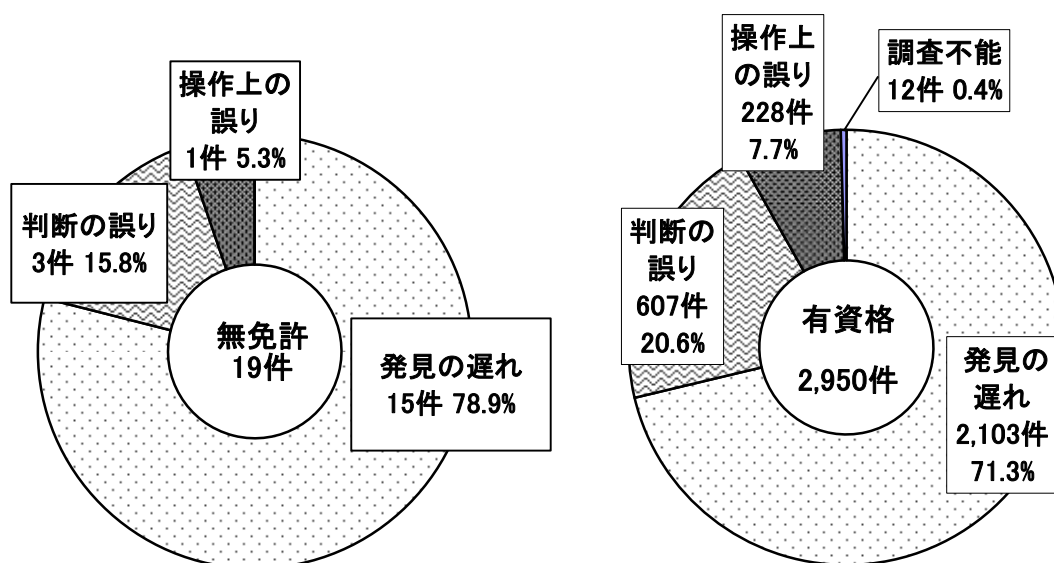
発見の遅れが15件で、無免許運転事故の78.9%を占め最も多い。

うち前方不注意が9件、安全不確認が6件となっている。

(単位：件)

人的原因	件数	人的原因	件数
合計	19	予測不適	0
発見の遅れ	15	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	
前方不注意	9	相手がルールを守ると思った	
内在的(漫然等)	7	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
居眠り運転		他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	
雑談や携帯電話等で話していた		交通環境	0
その他、考え事等の漫然運転	7	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
外在的(脇見等)	2	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした		交通規制に対する認識を誤った	
同乗者、同乗の動物等に脇見		交通安全施設に対する認識を誤った	
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	1	障害物等に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた		その他の交通環境に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		操作上の誤り(操作不適)	1
道、案内標識等を探して脇見		ブレーキとアクセルの踏み違い	
風景、地物等に脇見		ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	1
他の車、歩行者に脇見		急ブレーキをかけた	
バックミラーやドアミラーを見ていた		エンジン・ブレーキを使用しなかった	
その他脇見	1	ハンドルの操作不適	
安全不確認	6	ギヤの入れ違い	
安全確認をしなかった	5	ブレーキをかけながらハンドル操作	
安全確認が不十分だった	1	オートスピードコントロール装置等の操作不適	
判断の誤り等	3	その他の操作不適	
動静不注意	3	調査不能	
相手が譲ってくれると思って注視を怠った			
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った	3		

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では発見の遅れの構成率が7.6%高くなっている。



12 二輪車の事故

(1) 二輪車による事故

ア 概況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数 17件（前年比 -4件 19.0%減）

死者数 4人（前年比 1人 33.3%増）

傷者数 15人（前年比 -6人 28.6%減）

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

車種別にみると、発生件数、死者数、傷者数の全てで原付が多く、発生件数は47.1%、死者数は50.0%、傷者数は40.0%を占めている。 （単位：件・人）

区分 車種	本年						増減数			増減率(%)		
	件数	構成率(%)	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
小型二輪	4	23.5	1	25.0	4	26.7	-1	-1	0	-20.0	-50.0	0.0
軽二輪	4	23.5	1	25.0	3	20.0	2	1	1	-	-	-
二種原付	1	5.9	0	0.0	2	13.3	-1	0	0	-50.0	-	0.0
原付	8	47.1	2	50.0	6	40.0	-4	1	-7	-33.3	100.0	-53.8
合計	17	100.0	4	100.0	15	100.0	-4	1	-6	-19.0	33.3	-28.6

死亡事故率をみると小型二輪、軽二輪、原付が高くなっている。

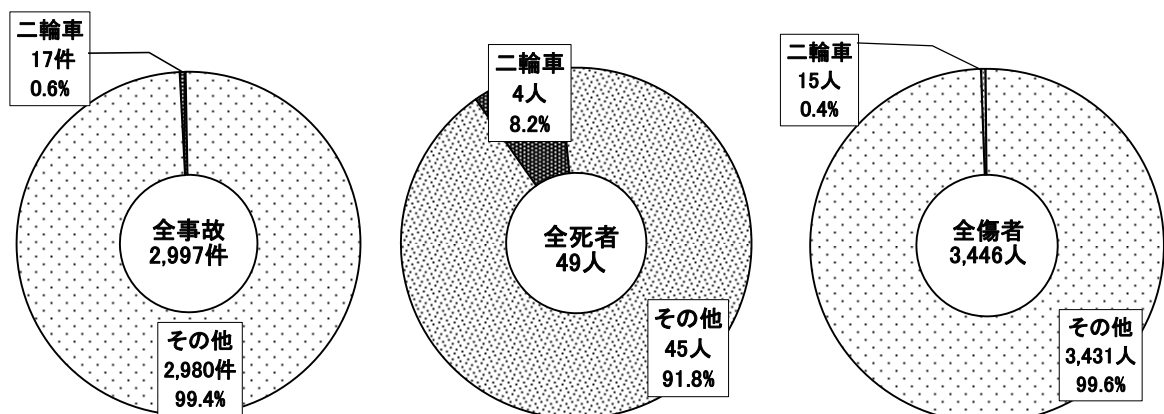
（単位：件・%）

区分 車種	普通乗用車							二輪車					合計
	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	四輪その他	小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	計		
車種別事故件数	1,493	948	145	130	228	8	4	4	1	8	17	2,969	
死亡事故件数	15	13	5	1	5	0	1	1	0	2	4	43	
死亡事故率	1.0	1.4	3.4	0.8	2.2	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	23.5	1.4	

（軽車両、歩行者の第一当事者、当事者不明の交通事故を除く）

$$\text{(注) 死亡事故率} = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

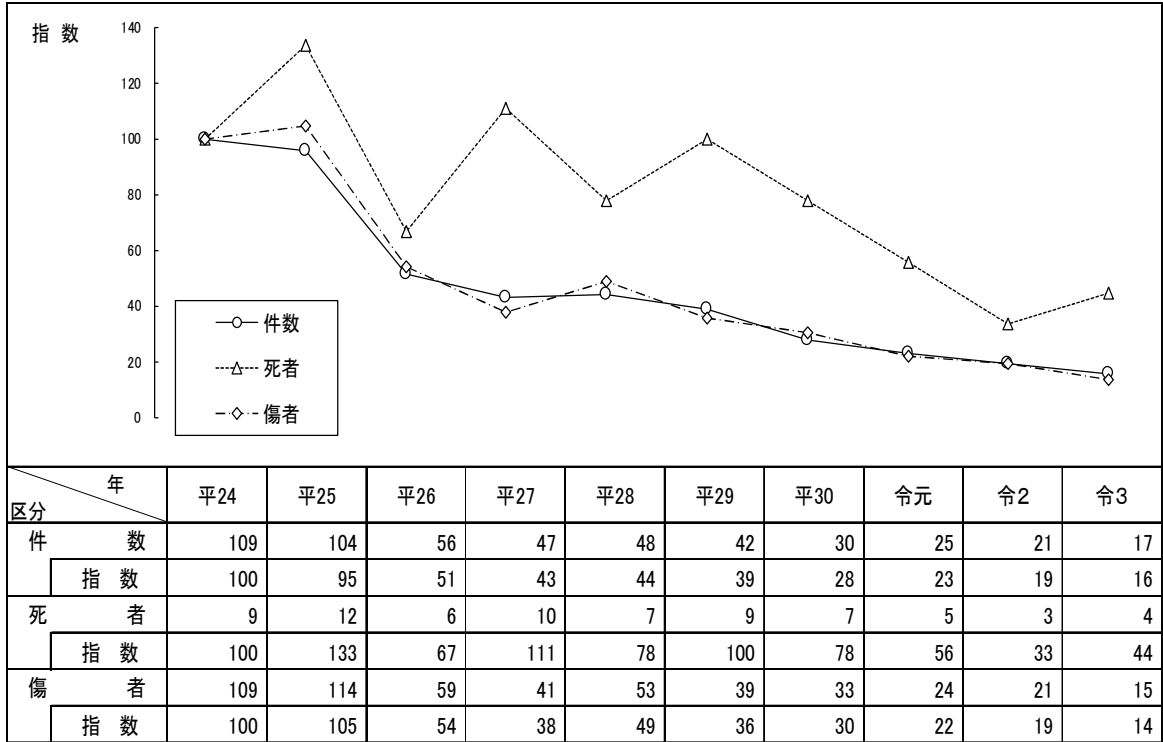
全事故に占める二輪車事故の構成率は0.6%であるのに対し、死者の構成率は8.2%と高くなっている。



イ 年別推移

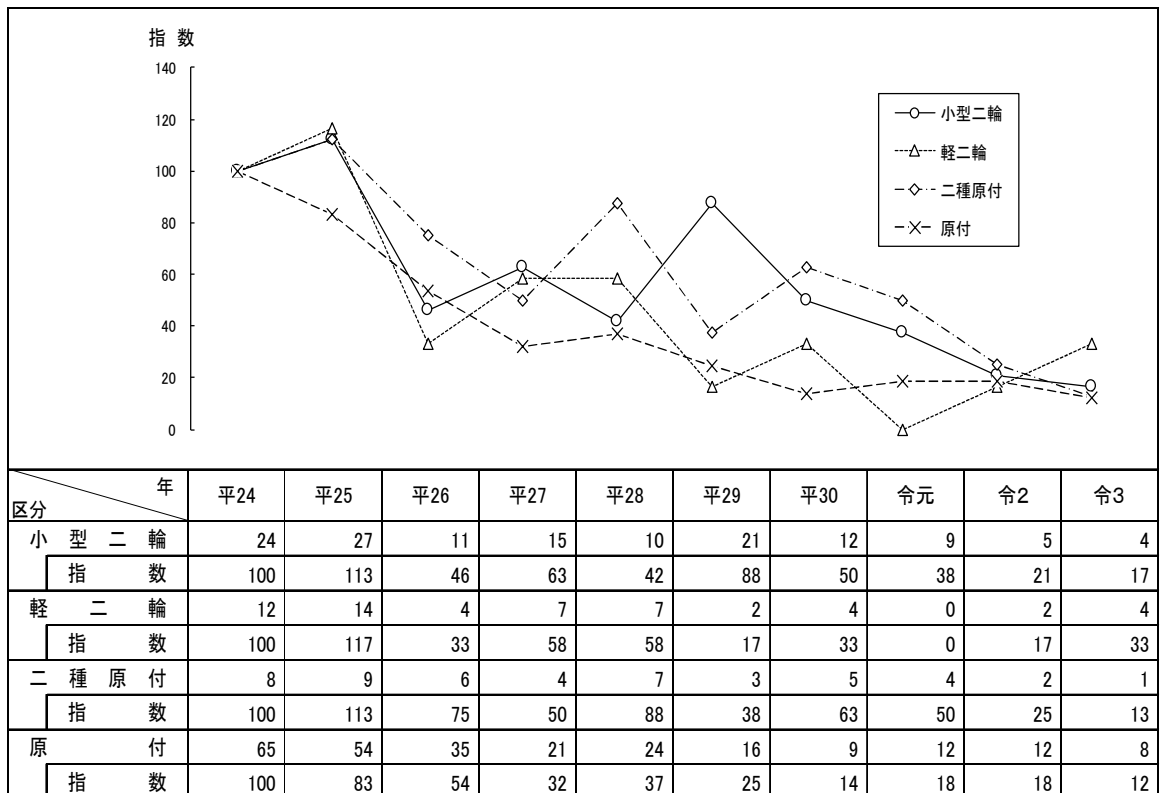
(7) 発生件数、死者数、傷者数

発生件数、傷者数は減少傾向で、死者数は前年より増加したが全体的には減少傾向にある。
(単位：件・人)



(i) 車種別交通事故発生件数

全体的に減少傾向であるが、前年比で軽二輪が増加している。
(単位：件)



ウ 年齢別

二輪車の事故は、高齢者と20～24歳がそれぞれ4件（23.5%）で多くなっている。

（単位：件・％）

区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
全運転者の事故		0	5	76	298	379	247	407	465	451	214	806	2,969
	構成率(%)	0.0	0.2	2.6	10.0	12.8	8.3	13.7	15.7	15.2	7.2	27.1	100.0
二輪車事故		0	1		4	5	1	2	3	2	0	4	17
	構成率(%)	0.0	5.9	0.0	23.5	29.4	5.9	11.8	17.6	11.8	0.0	23.5	100.0
	全運転者事故に占める割合	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	0.4	0.5	0.6	0.4	0.0	0.5	0.6

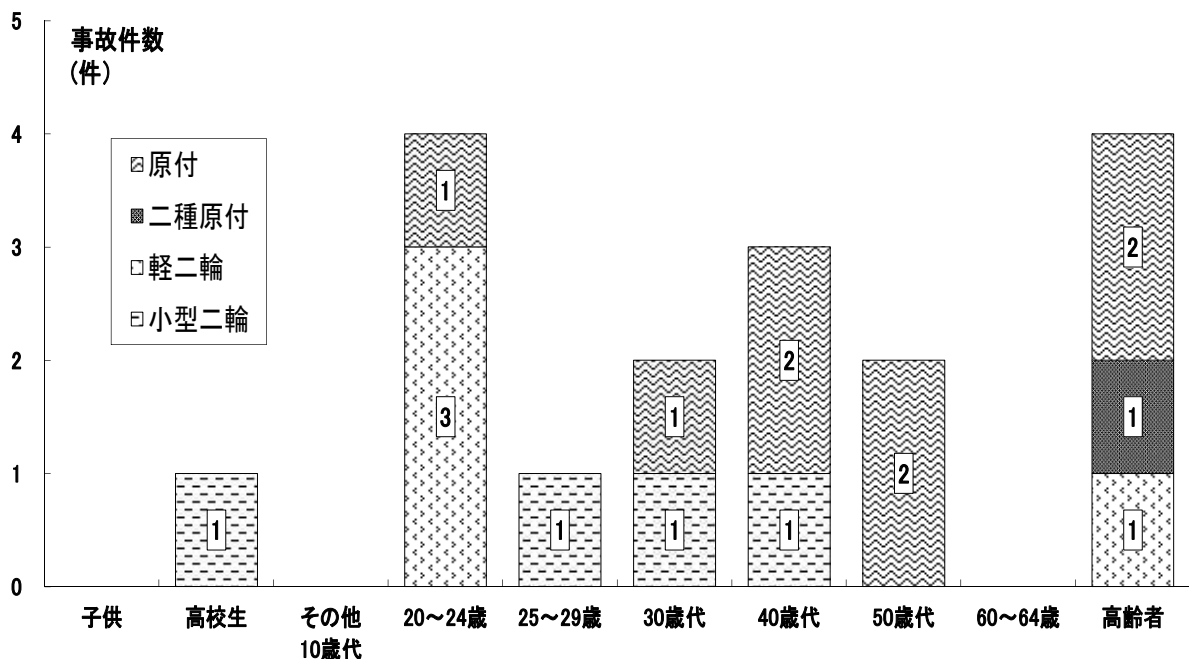
*軽車両、歩行者の第1当事者、当事者不明の交通事故を除く

エ 年齢別・車種別

原付の年齢別構成率が高いのは、40歳代、50歳代と高齢運転者で2件となっている。

（単位：件）

区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
小型二輪			1			1	1	1	1				4
	構成率(%)	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0
軽二輪					3	3						1	4
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	75.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	100.0
二種原付						0						1	1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
原付					1	1		1	2	2		2	8
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	25.0	0.0	25.0	100.0



オ 車種別・免許経験年数別

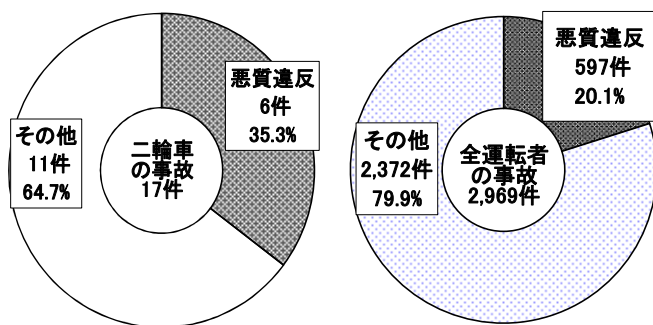
車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、二輪車全体では10年以上の占める割合が高く、構成率は52.9%を占めている。(単位：件)

経験年数	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	
1年未満	1	25.0		0.0		0.0	1	12.5	2	11.8
1～2年		0.0	2	50.0		0.0		0.0	2	11.8
2～3年		0.0		0.0		0.0	1	12.5	1	5.9
3～4年		0.0	1	25.0		0.0		0.0	1	5.9
4～5年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
10年未満	1	25.0		0.0		0.0	1	12.5	2	11.8
10年以上	2	50.0	1	25.0	1	100.0	5	62.5	9	52.9
無免許		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
合計	4	100.0	4	100.0	1	100.0	8	100.0	17	100.0

カ 車種別・違反別

二輪事故のうち悪質違反の占める割合は35.3%となっており、全運転者の事故と比較して15.2%高くなっている。

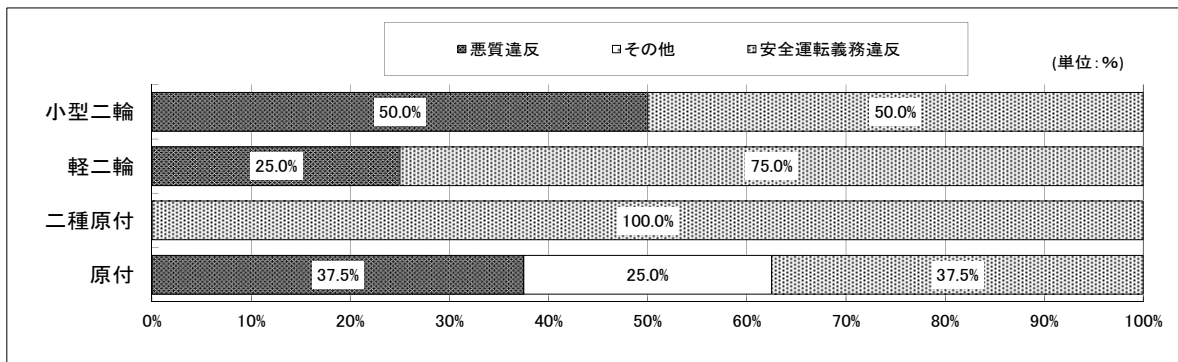
車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは小型二輪で50.0%となっている。



二輪車の車種別違反割合では、安全運転義務違反が高くなっている。

(単位：件)

違反	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	
悪質違反										
信号無視		0.0		0.0		0.0	1	12.5	1	5.9
最高速度超過		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
通区・追越	1	25.0		0.0		0.0	1	12.5	2	11.8
歩行者妨害等	1	25.0		0.0		0.0		0.0	1	5.9
一時不停止		0.0	1	25.0		0.0	1	12.5	2	11.8
酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
計	2	50.0	1	25.0	0	0.0	3	37.5	6	35.3
横断禁止等		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
右・左折違反		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
優先通行妨害等		0.0		0.0		0.0	1	12.5	1	5.9
交差点安全進行		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
徐行違反		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
安全運転義務違反										
ハンドル・ブレーキ操作		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
前方不注意	1	25.0	3	75.0	1	100.0	1	12.5	6	35.3
動静不注意	1	25.0		0.0		0.0		0.0	1	5.9
安全不確認		0.0		0.0		0.0	1	12.5	1	5.9
安全速度		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
その他		0.0		0.0		0.0	1	12.5	1	5.9
計	2	50.0	3	75.0	1	100.0	3	37.5	9	52.9
その他		0.0		0.0		0.0	1	12.5	1	5.9
合計	4	100.0	4	100.0	1	100.0	8	100.0	17	100.0



キ 車種別・事故類型別

(単位：件・%)

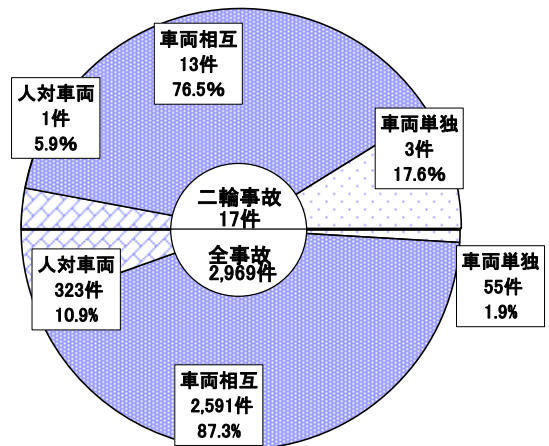
類型	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	
人対車両	横断中	186	6.3	1	5.9	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	
	対面・背面	50	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	その他	87	2.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	計	323	10.9	1	5.9	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	
車両相互	正面衝突	95	3.2	2	11.8	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	追突	進行中	128	4.3	2	11.8	0	0.0	1	25.0	1	100.0	0	0.0
		駐・停止中	911	30.7	2	11.8	1	25.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5
	出会い頭	832	28.0	5	29.4	1	25.0	1	25.0	0	0.0	3	37.5	
	追越・追抜	28	0.9	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	
	右折時	260	8.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	左折時	64	2.2	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	
	その他	273	9.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
計	2,591	87.3	13	76.5	4	100.0	2	50.0	1	100.0	6	75.0		
車両単独	工作物衝突	30	1.0	2	11.8	0	0.0	1	25.0	0	0.0	1	12.5	
	路外逸脱	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	転倒	1	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	
	駐車車両衝突	18	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	その他	5	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
計	55	1.9	3	17.6	0	0.0	1	25.0	0	0.0	2	25.0		
踏切		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
合計	2,969	100.0	17	100.0	4	100.0	4	100.0	1	100.0	8	100.0		

全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別

構成率の対比では、二輪合計の類型別の方が

- ・人対車両・・・ 5.0%低い
- ・車両相互・・・ 10.8%低い
- ・車両単独・・・ 15.7%高い

特に車両単独では、工作物衝突の占める割合が特に高い。



ク 昼夜別・道路別

二輪車事故の70.6% (12件) が昼間に発生している。

道路別に対比すると、市町村道での発生が9件と最も多く52.9%を占める。

夜間の発生は国道で2件、市町村道で2件、県道で1件発生している。(単位：件・%)

昼夜	国 道					計	県 道			市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
	4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁		主 要	一 般 道	計				
昼 間	1					1	1	2	3	7	1		12
構成率(%)	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	16.7	25.0	58.3	8.3	0.0	100.0
夜 間		1		1		2	1		1	2			5
構成率(%)	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	100.0
薄暮(内数)						0			0	2			2
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
合 計	1	1	0	1	0	3	2	2	4	9	1	0	17
構成率(%)	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	17.6	11.8	11.8	23.5	52.9	5.9	0.0	100.0

ケ 道路線形別

二輪車事故は、直線の平坦な場所での発生が94.1%を占めている。カーブでの事故件数は1件で割合は5.9%だが、全事故のカーブ事故と比較して高くなっている。

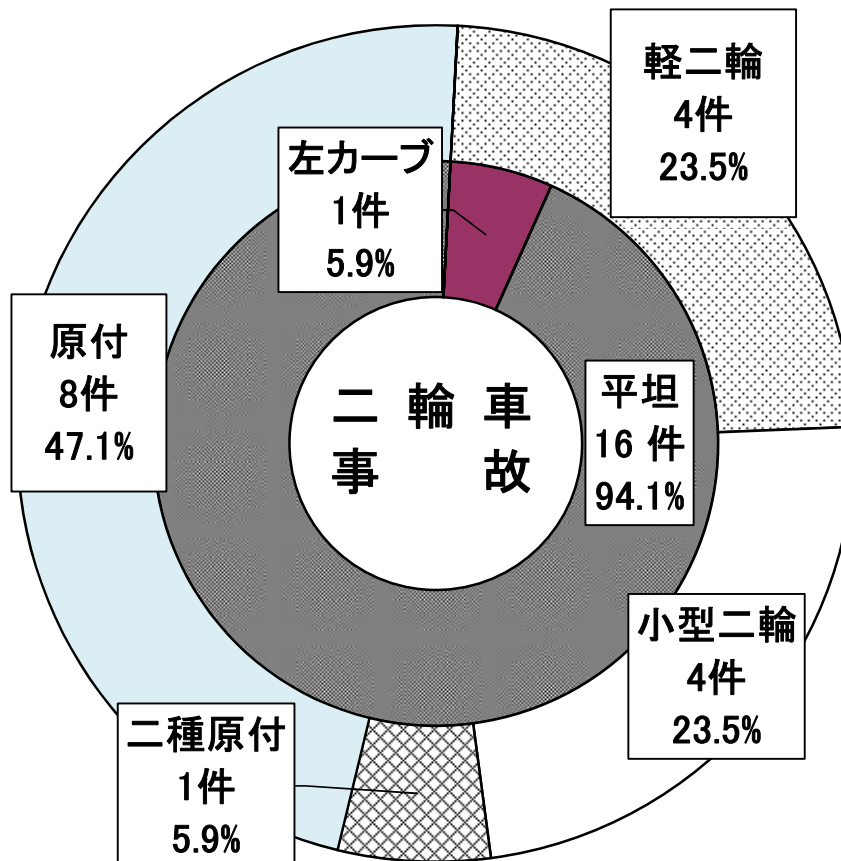
(単位：件)

線形	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)	件数	構成率 (%)
上り	右カーブ	8	0.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	9	0.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
下り	右カーブ	13	0.5	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	18	0.7	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
平坦	右カーブ	37	1.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	40	1.5	1	5.9		0.0	1	25.0		0.0		0.0
直線	上り	69	2.5	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	下り	105	3.8	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	平坦	2,458	89.2	16	94.1	4	100.0	3	75.0	1	100.0	8	100.0
合計	右カーブ	58	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	左カーブ	67	2.4	1	5.9	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0

* 一般交通の場所(駐車場等)は除く。

全事故件数	2,757	100	17	100	4	100	4	100.0	1	100	8	100
-------	-------	-----	----	-----	---	-----	---	-------	---	-----	---	-----

* 全事故は第1当事者が軽車両、歩行者、不明を除く。



(2) 二輪車の死傷者

ア 概況

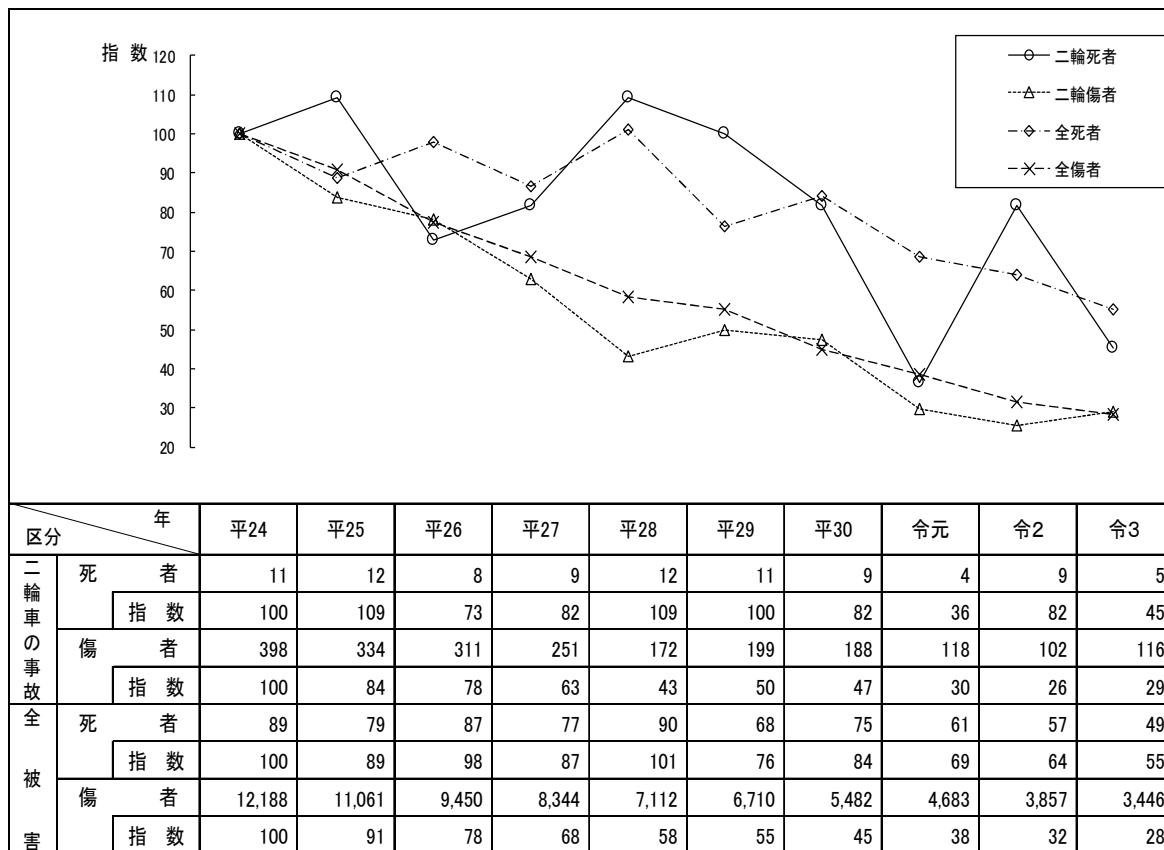
二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 5人（前年比 -4人 44.4%減）

傷者数 116人（前年比 14人 13.7%増）

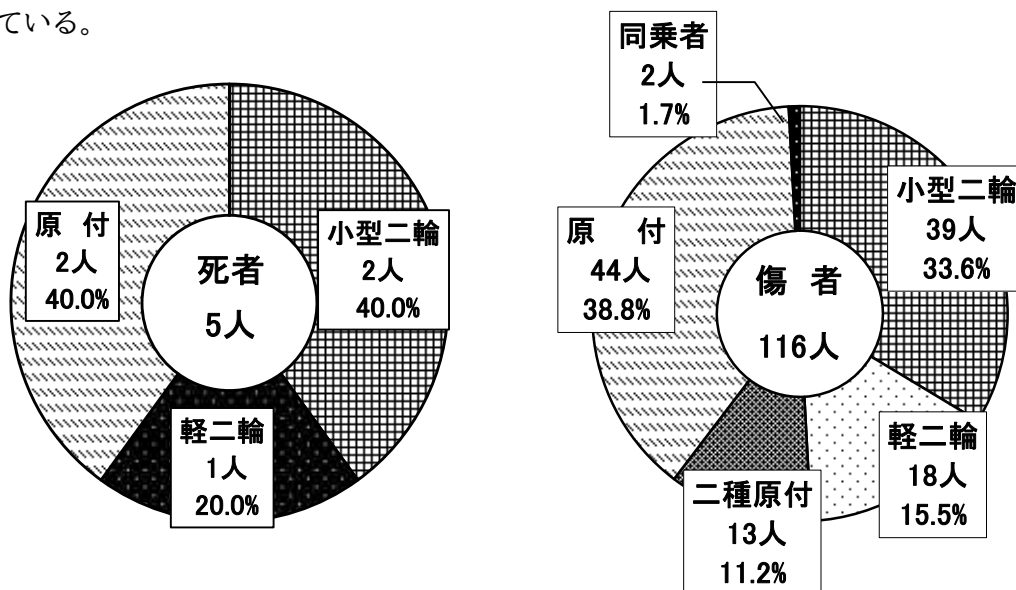
で、死者数は減少したが、傷者数は増加した。

（単位：人）



イ 車種別

車種別にみると、死者は小型二輪、原付が2名、軽二輪が1人で、傷者は原付が38.8%を占めている。



ウ 年齢別

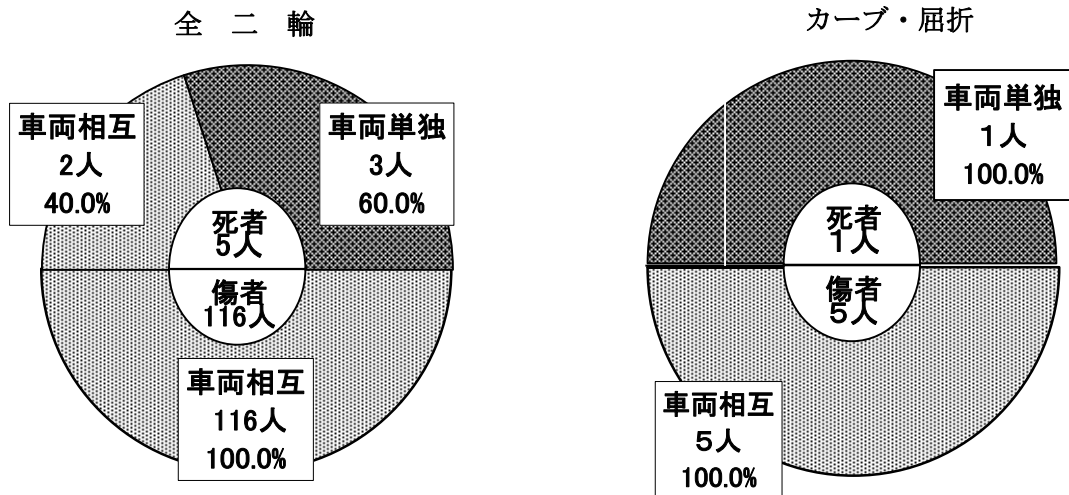
年齢別にみると、死者は40歳代が2人で40.0%を占め、傷者は40歳代と50歳代で合計47人と40.5%を占めている。 (単位：人)

車種		年齢								合計
		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	
二輪車	死者	0	1	0	0	2	1	0	1	5
	構成率(%)	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	100.0
計	傷者	10	12	8	16	24	23	7	16	116
	構成率(%)	8.6	10.3	6.9	13.8	20.7	19.8	6.0	13.8	100.0
小型二輪	死者					1	1			2
	傷者	5	5	2	7	12	7	1		39
軽二輪	死者		1							1
	傷者	1	4	2	3	3	4	1		18
二種原	死者									0
	傷者		2		4	2	2	2	1	13
原付	死者					1			1	2
	傷者	4	1	3	2	7	10	3	15	45
同乗者	死者									0
	傷者			1						1

エ 事故類型別・道路形状別

全二輪事故では、死者は車両単独で3人、車両相互で2人となっており、傷者は全て車両相互となっている。

カーブ・屈折では、死者1人は車両単独、傷者は全て車両相互である。



オ ヘルメット着用状況

自動二輪、原付とも着用率は100%となっている。

(単位：人)

車種	区分	死者		傷者		合計		
		ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)	
自動二輪		3	3	71	71	74	74	100.0
原付		2	2	45	45	47	47	100.0
合計		5	5	116	116	121	121	100.0

13 タクシーの事故

(1) 概況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数 26件（前年比 - 2人 7.1%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 31人（前年比 - 1人 3.1%減）

で、昨年に続き死者は0人で、発生件数、傷者数は減少した。

タクシーが第2当事者になった事故は、

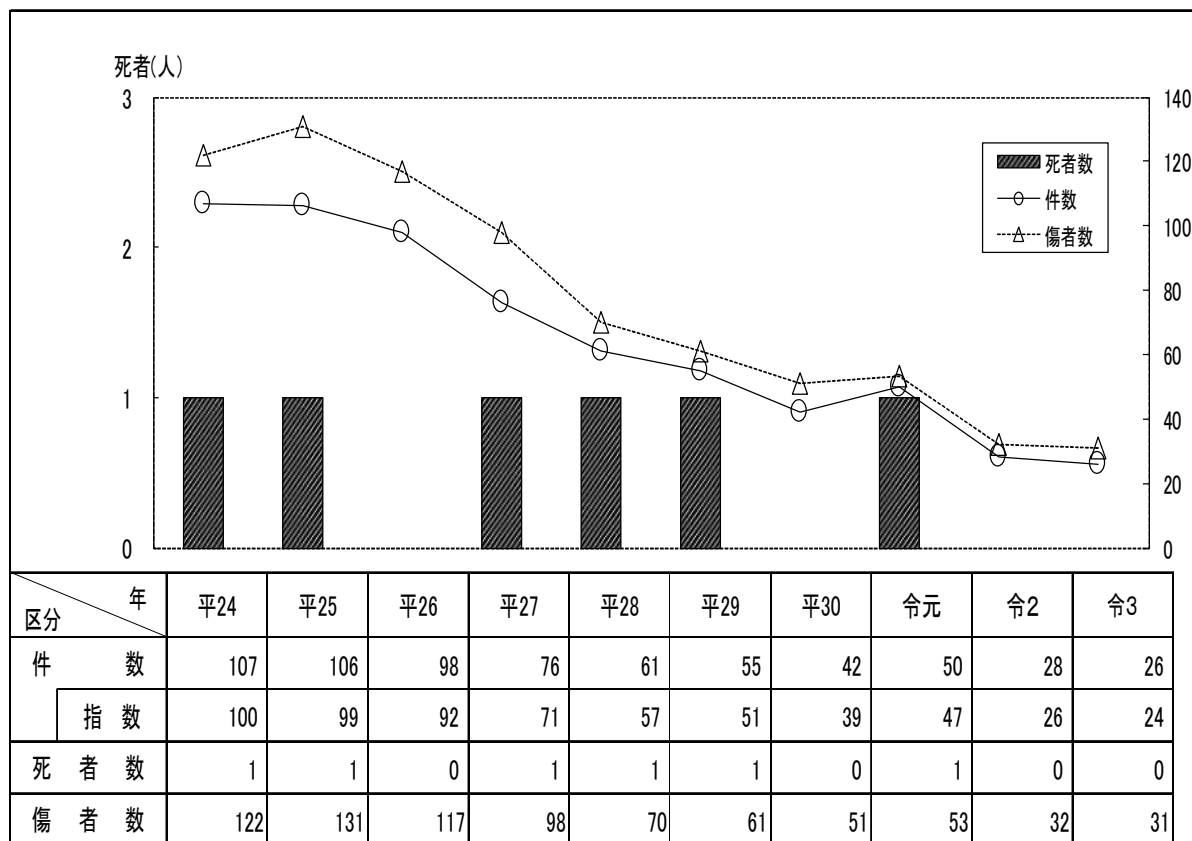
発生件数 17件（前年比 + 4件 30.8%増）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 18人（前年比 + 3人 20.0%増）

で、昨年に続き死者は0人で、発生件数、傷者数は増加した。

（単位：件・人）



(2) 月別

11月が5件、5月が4件と多くなっている。

（単位：件・人）

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	1	1	2	3	4	2	1	3	1	2	5	1	26
死者数	死者数													0
傷者数	傷者数	1	1	2	3	4	2	2	6	1	2	6	1	31

(3) 年齢別

高齢者が12件で最も多く、タクシー事故の46.2%を占めている。

(単位：件)

区分	年齢	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
	件数					1	6	7	12
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	3.8	23.1	26.9	46.2	100.0

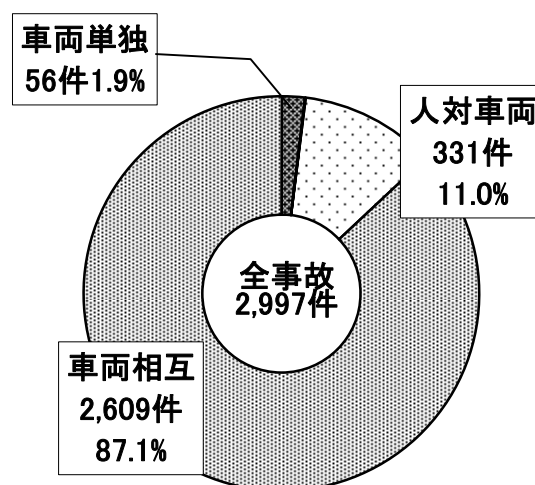
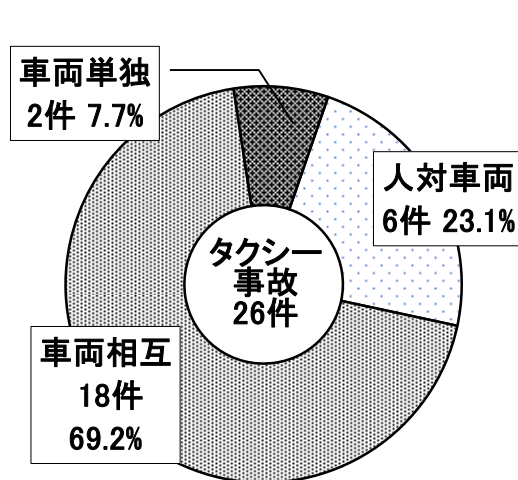
(4) 事故類型別

車両相互の事故が18件（69.2%）と最も多く、うち出会い頭が9件で34.6%を占めている。

全事故と比較すると、人対車両と車両単独事故の占める割合が高くなっている。

(単位：件)

区分	類型	人対車両			車両相互						車両単独			合計			
		通行中	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	工作物衝突	路外逸脱	その他				
		件数		4	2	6		6	9		2	1	18		1		1
	構成率(%)	0.0	15.4	7.7	23.1	0.0	23.1	34.6	0.0	7.7	3.8	69.2	3.8	0.0	3.8	7.7	100



(5) 違反別

安全運転義務違反の事故が17件と多く、65.4%を占めている。

悪質違反は7件で26.9%を占めている。

(単位：件)

区分	違反	悪質違反						横断禁止等	右・左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反					その他	合計	
		信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転						ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認	その他			
		件数	3			2	2							7			1			
	構成率(%)	11.5	0.0	0.0	7.7	7.7	26.9	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	7.7	19.2	11.5	26.9	0.0	65.4	3.8	100

14 バスの事故

(1) 概況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 2件（前年比 -5件 71.4%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 2人（前年比 -5人 71.4%減）

で、昨年に続き死者数は0人で、発生件数、傷者数は減少した。

バスが第2当事者となった事故は、

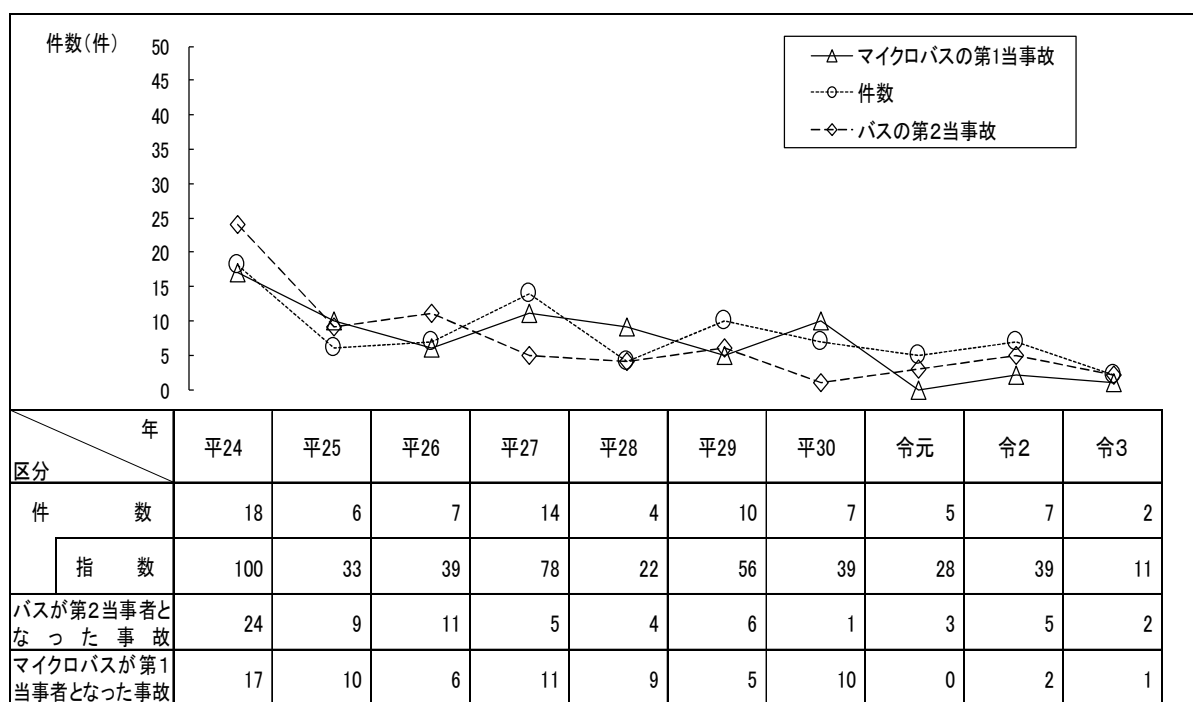
発生件数 2件（前年比 -3件 60.0%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 2人（前年比 -4件 66.7%減）

で、昨年に続き死者数は0人で、発生件数、傷者数は減少した。

（単位：件）



※ バス～乗車定員が30人以上、マイクロバス～乗車定員が11～30人未満

〈参考〉

マイクロバスが第1当事者となった事故

発生件数 1件（前年比 -1件 50.0%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 1人（前年比 -1件 50.0%減）

マイクロバスが第2当事者となった事故

発生件数 0件（前年比 -1件 100.0%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 0人（前年比 -1人 100.0%減）

(2) 月別

バス運転者が第1当事者となった事故は、5月と10月に1件ずつ発生している。

第2当事者になった事故は2月と9月に1件ずつ発生している。

(単位：件・人)

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
第1当事者	件数					1					1			2
	死者数													0
	傷者数					1					1			2
第2当事者	件数		1							1				2
	死者数													0
	傷者数		1							1				2

(3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は、路線バスと自家用バスでそれぞれ1件発生し、第2当事者になった事故は、路線バスで2件発生した。

(単位：件・人)

区分	用途	第1当事者			計	第2当事者			計
		路線バス	貸切バス	自家用バス		路線バス	貸切バス	自家用バス	
件数		1		1	2	2			2
死者					0				0
傷者		1		1	2	2			2

(4) 年齢別

40歳代と65歳以上（高齢者）が第1当事者となった事故がそれぞれ1件発生し、第2当事者となった事故は40歳代で2件となっている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上(高齢者)	合計
		第1当事者				1			
第2当事者					2				2

(5) 道路別

第1当事者となった事故は、2件とも市町村道で発生しており、第2当事者となった事故は県道と高速道でそれぞれ1件ずつ発生している。

(単位：件)

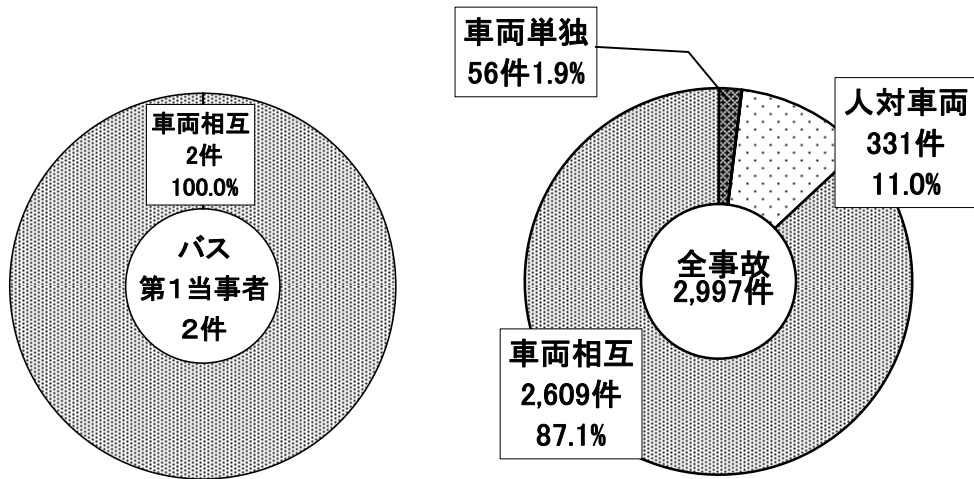
区分	道路	国 道					計	県 道		市町村道	高速道	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三桁		主要地方道	一般道				
第1当事者						0		0	2			2	
第2当事者						0	1	1		1		2	

(6) 事故類型別

全て車両相互で発生している。

(単位：件)

区分	人 対 車 両			計	車 両 相 互						計	車 両 単 独			計	
	通 行 中	横 断 中	そ の 他		正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他		工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱	そ の 他		
件 数				0			1		1		2				0	2
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100



(7) 違反別

優先通行妨害と安全不確認が1件ずつとなっている。

(単位：件)

違反	区分	件 数		違反	区分	件 数	
		件 数	構成率(%)			件 数	構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視		0.0	交 差 点 安 全 進 行		0.0	
	最 高 速 度		0.0	過 労 運 転		0.0	
	通 区 ・ 追 越		0.0	安 全 運 転 義 務 違 反	ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ	0.0	
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		前 方 不 注 意	0.0	
	一 時 不 停 止		0.0		動 静 不 注 視	0.0	
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 不 確 認	1	50.0
計		0	0.0	安 全 速 度		0.0	
横 断 禁 止 等			0.0	そ の 他		0.0	
車 間 距 離 不 保 持			0.0	反 計	1	50.0	
進 路 変 更 禁 止			0.0	そ の 他		0.0	
右 ・ 左 折			0.0	歩 行 者 の 違 反		0.0	
優 先 通 行 妨 害 等		1	50.0	合 計	2	100	

15 ダンプカーの事故

(1) 概況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数	16件	(前年比	-15件	48.4%減)
死者数	0人	(前年比	±0人)	
傷者数	19人	(前年比	-18人	48.6%減)

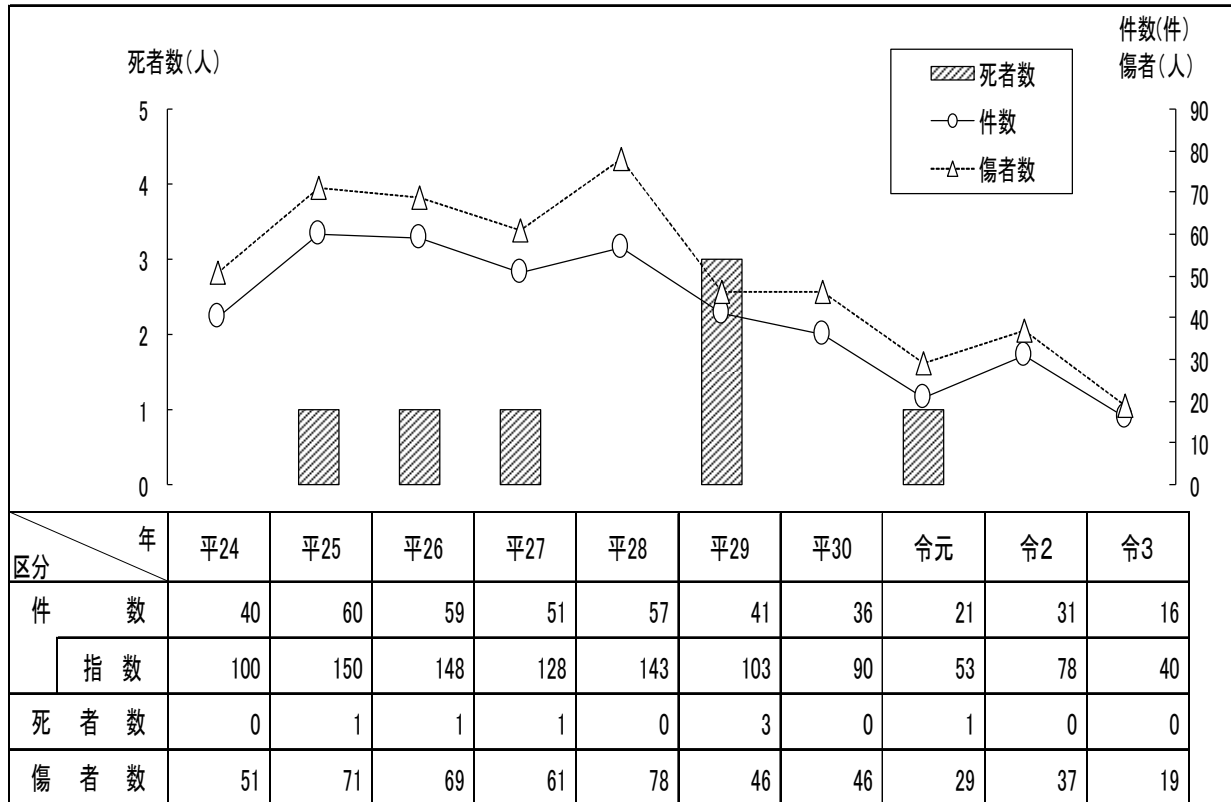
で、昨年に続き死者は0人で、発生件数、傷者数は減少した。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

発生件数	10件	(前年比	-2件	16.7%減)
死者数	0人	(前年比	-3人	100.0%減)
傷者数	13人	(前年比	±0人)	

で、発生件数、死者数は減少したが、傷者数は前年同数だった。

(単位：件・人)



(2) 月別

8月、9月以外で発生している。

(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	1	1	2	1	2	2	1			2	2	2	16
死者数	死者数													0
傷者数	傷者数	1	1	2	1	3	2	1			2	3	3	19

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、高齢者が6件で最も多く、全体の37.5%を占めている。また、免許経過年数では10年以上が14件でダンプ事故の87.5%を占めている。

(単位：件)

年齢 区分	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
1年未満								0
1～2年								0
2～3年	1							1
3～4年								0
4～5年								0
10年未満		1						1
10年以上			3	3		2	6	14
無免許								0
合計	1	1	3	3	0	2	6	16

(4) 違反別

安全運転義務違反10件でダンプ事故の62.5%を占めている。

悪質違反は信号無視、歩行者妨害等、一時不停止がそれぞれ1件である。

(単位：件)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	1	6.3	安全運転義務違反	交差点安全進行	1	6.3
	最高速度		0.0		徐行違反		0.0
	通区・追越		0.0		ハンドル・ブレーキ	1	6.3
	歩行者妨害等	1	6.3		前方不注意	3	18.8
	一時不停止	1	6.3		動静不注視	2	12.5
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	4	25.0
計	3	18.8	安全速度		0.0		
横断禁止等		0.0	その他		0.0		
車間距離不保持		0.0	計	10	62.5		
進路変更禁止	1	6.3	その他		0.0		
右・左折	1	6.3	歩行者の違反		0.0		
優先通行妨害等		0.0	合計	16	100.0		

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では81.3%、第2当事者では70.0%を占めている。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

用途	区分	件数	死者傷者	
			死者	傷者
第1当事者	事業用	3		3
	自家用	13		16
	合計	16	0	19

用途	区分	件数	死者傷者	
			死者	傷者
第2当事者	事業用	3		4
	自家用	7		9
	合計	10	0	13

16 安全運転管理者選任事業所の事故

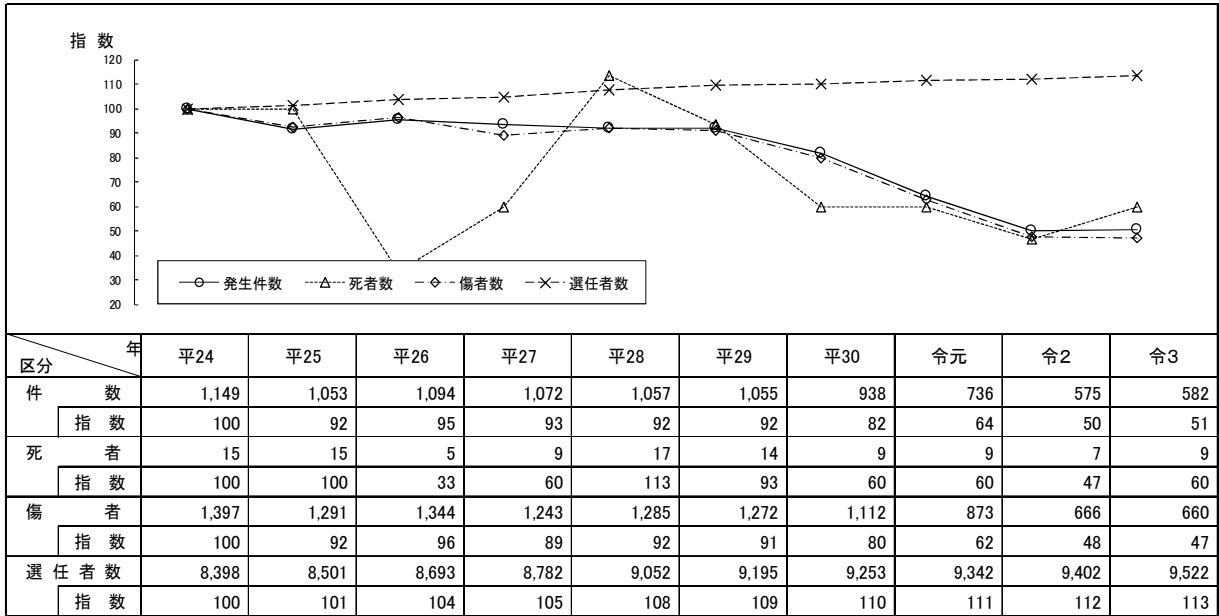
(1) 概況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

発生件数	582件	（前年比	+7件	1.2%増）
死者数	9人	（前年比	+2人	28.6%増）
傷者数	660人	（前年比	-6人	0.9%減）

で、発生件数、死者数は増加したが、傷者数は減少した。

（単位：件・人）



（注）選任数は各年12月末の数値

（単位：件・人）

区分	件数		死者	傷者
	数	割合 (%)		
業務中	135	23.2	4	153
業務外	447	76.8	5	507
通勤	215	36.9	1	250
私用中	232	39.9	4	257
調査不能	0	0.0	0	0

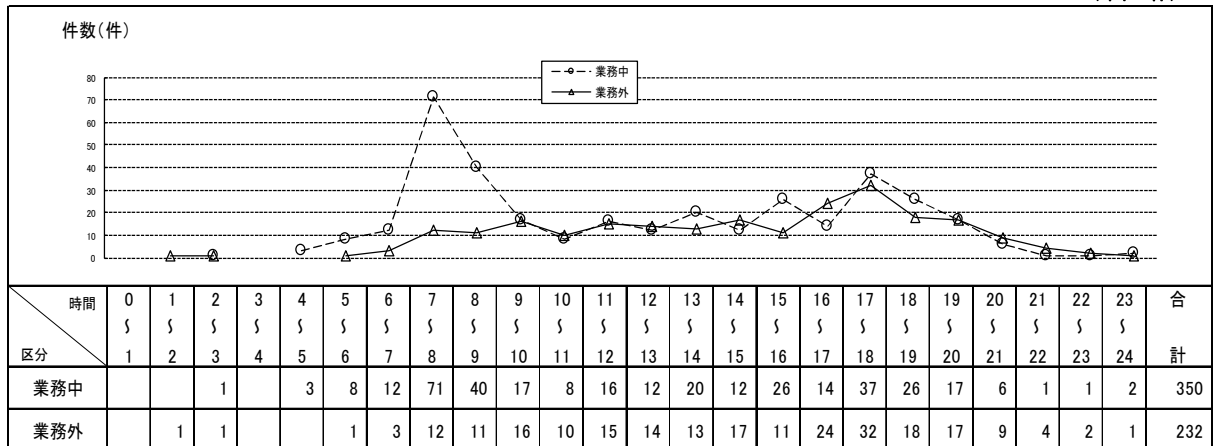
業務外の事故が安管事業所事故の76.8%を占めている。

(2) 安管の事故特徴

ア 時間別

特に、朝の業務中（通勤退勤含む）における事故が多い。

（単位：件）



イ 車種別・用途別

(ア) 車種別

業務中では、普通乗用車が177件で50.6%、次いで軽乗用車が85件で24.3%を占めている。

業務外では、普通乗用車が140件と最も多く60.3%を占めている。 (単位：件)

区分	車種	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車					合計		
		大型	中型	普通	軽	計	大型	中型	普通		軽	計	小型	軽	二種		原付	計
業務中		2	177	85	264	31	24	29	84	2					0	350		
	構成率(%)	0.6	50.6	24.3	75.4	8.9	6.9	8.3	24.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100		
業務外			140	86	226	1	2	2	5		1				1	232		
	構成率(%)	0.0	60.3	37.1	97.4	0.4	0.9	0.9	2.2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	100		

(イ) 用途別

業務中、業務外ともに自家用(その他)で最も多く、業務中事故では91.4%、業務外事故では98.3%を占めている。 (単位：件)

区分	車種	事業用	自家用					計	その他	合計
			レンタカー	スクールバス	代行運転		その他			
					代行	随伴				
業務中		21	5			2	320	327	2	350
	構成率(%)	6.0	1.4	0.0	0.0	0.6	91.4	93.4	0.6	100
業務外			4				228	232		232
	構成率(%)	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	98.3	100.0	0.0	100

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で40.3%、業務外で34.1%を占めている。 (単位：件)

区分	類型	人対車両		車両相互							車両単独			列車	合計		
		横断	その他	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱	その他				
																計	計
業務中		19	14	33	10	141	97	11	40	13	312	3		2	5	350	
	構成率(%)	5.4	4.0	9.4	2.9	40.3	27.7	3.1	11.4	3.7	89.1	0.9	0.0	0.6	1.4	0.0	100
業務外		21	9	30	9	79	67	12	24	10	201	1			1	232	
	構成率(%)	9.1	3.9	12.9	3.9	34.1	28.9	5.2	10.3	4.3	86.6	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	100

エ 違反別

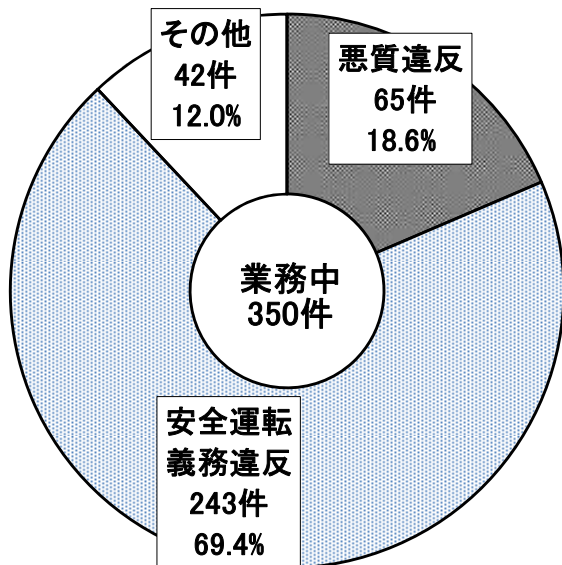
業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、どちらも約7割以上を占めている。

悪質違反では、業務中が一時不停止と信号無視の占める割合が高く、業務外では、一時不停止と歩行者妨害等の占める割合が高い。

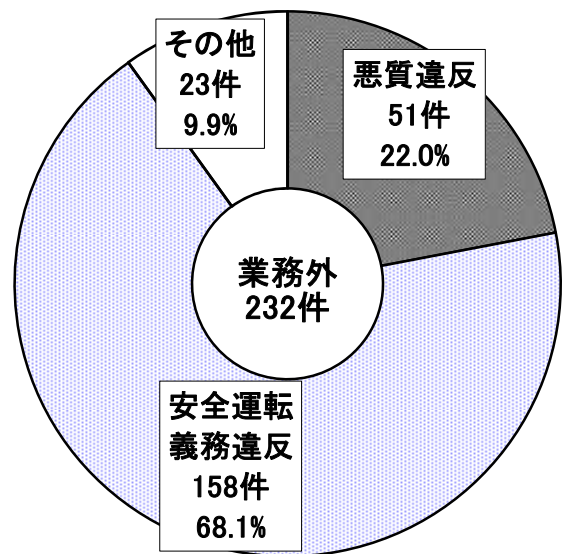
(単位：件)

違反	区分	業務中		業務外		違反	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)		構成率 (%)				構成率 (%)		構成率 (%)	
悪質違反	信号無視	18	5.1	13	5.6	徐行違反		5	1.4	1	0.4
	最高速度	1	0.3		0.0		過労運転			0.0	
	通区・追越	2	0.6	4	1.7	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	31	8.9	18	7.8
	歩行者妨害等	15	4.3	17	7.3		前方不注意	80	22.9	45	19.4
	一時不停止	29	8.3	17	7.3		動静不注意	60	17.1	39	16.8
	酒酔い運転		0.0		0.0		安全不確認	64	18.3	53	22.8
計		65	18.6	51	22.0	安全速度	7	2.0		0.0	
横断禁止等	1	0.3	1	0.4	予測不適		0.0		0.0		
車間距離不保持		0.0		0.0	その他	1	0.3	3	1.3		
進路変更禁止	1	0.3		0.0	計	243	69.4	158	68.1		
右・左折		0.0		0.4	安全不確認ドア開放		0.0		0.0		
優先通行妨害等	15	4.3	12	5.2	その他	1	0.3	1	0.4		
交差点安全進行	19	5.4	7	3.0	合計	350	100.0	232	100.0		

(単位：件)



(単位：件)



オ 原因別

業務中、業務外とも、発見の遅れが高い割合を占めている。

(単位：件)

原因	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)		構成率 (%)	
発見の遅れ		241	68.9	162	69.8
判断の誤り等		75	21.4	50	21.6
操作上の誤り		34	9.7	19	8.2
調査不能			0.0	1	0.4
合計		350	100	232	100

17 県外居住者の事故

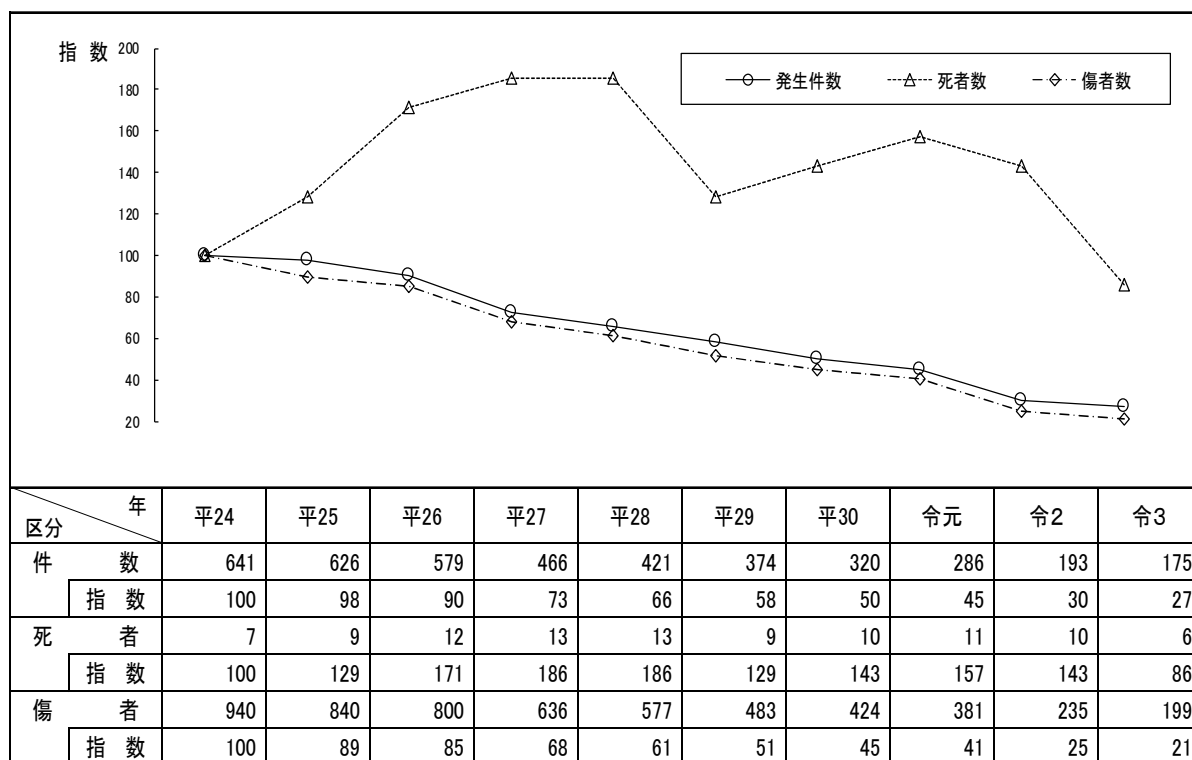
(1) 概況

県外居住者が第1当事者となった事故は、

発生件数	175件	(前年比)	-18件	9.3%減
死者数	6人	(前年比)	-4人	40.0%減
傷者数	199人	(前年比)	-36人	15.3%減

で、発生件数、死者数、傷者数全て減少した。

(単位：件・人)



(2) 月別

2月、6月が19件で最も多く、次いで7月、12月の17件となっている。

全事故に占める割合で見ると、6月が8.7%で最も高く、最も低い4月(3.1%)と比較すると5.6ポイントの差となっている。

(単位：件・人・%)

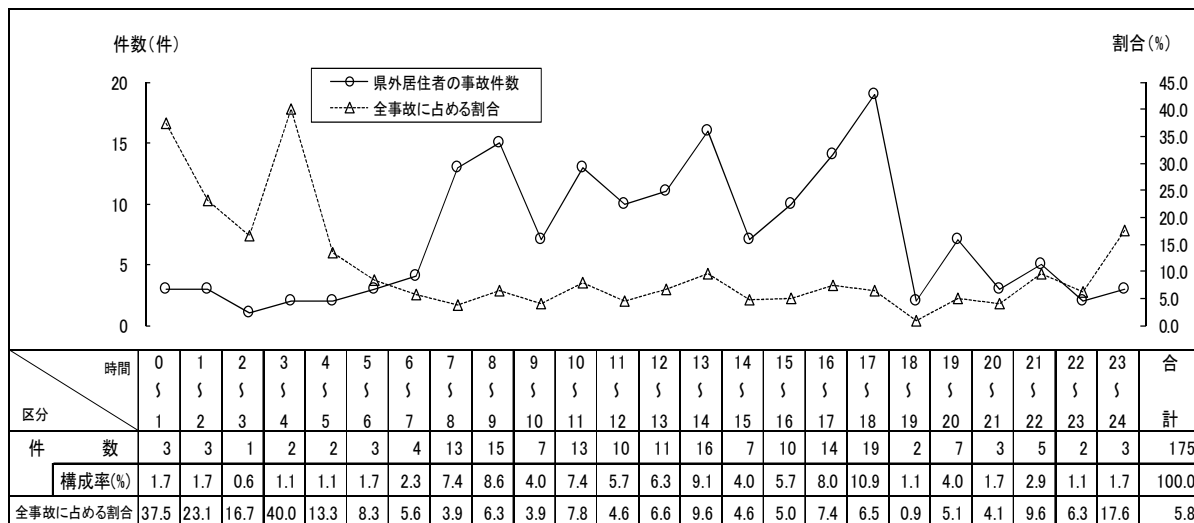
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
全事故		245	262	265	227	238	219	235	204	225	258	304	315	2,997
県外居住者	件数	12	19	14	7	14	19	17	12	12	16	16	17	175
	全事故に占める割合	4.9	7.3	5.3	3.1	5.9	8.7	7.2	5.9	5.3	6.2	5.3	5.4	5.8
	死者					3			2		1			6
	傷者	15	22	16	9	14	23	21	10	13	17	18	21	199

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、17～18時の19件、次いで13～14時の16件の順となっている。

また、全事故に占める割合でみると、3～4時の40.0%が最も高く、次いで0～1時の37.5%となっている。

(単位：件・%)



(4) 道路別

国道での発生が71件で、県外居住者事故の40.6%を占めている。

特に、国道4号は23件、国道6号は15件で、合計すると国道事故の53.5%を占めている。

全事故に占める割合では、高速道路が62.5%と最も高く、次いで国道6号の順となっている。

(単位：件・%)

区分	道路	国 道											計	県 道	市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
		幹 線 国 道					三 桁 国 道	計										
		4 号	6 号	13 号	49 号	計												
件 数		23	15	1	7	46	25	71	42	30	20	12	175					
構成率(%)		13.1	8.6	0.6	4.0	26.3	14.3	40.6	24.0	17.1	11.4	6.9	100.0					
全事故に占める割合		10.0	13.9	1.9	6.1	9.1	9.7	9.3	5.3	2.5	62.5	5.4	5.8					

(5) 当事者別

普通乗用車が84件で最も多く、県外居住者事故の48.0%を占めている。

全事故に占める割合でみると、大型貨物車が51.7%と高い割合となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗 用 車					計	貨 物 車					計	二 輪 車		計	特 殊 車	自 転 車	歩 行 者
		大 型	中 型	準 中 型	普 通	軽		大 型	中 型	準 中 型	普 通	軽		自 二	動 輪				
		原 付																	
件 数				84	20	104	30	10	4	18	7	69	2		2				
構成率(%)		0.0	0.0	48.0	11.4	59.4	17.1	5.7	2.3	10.3	4.0	39.4	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	
全事故に占める割合		0.0	0.0	5.6	2.1	4.3	51.7	27.0	8.0	13.8	3.1	13.7	22.2	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	

(6) 年齢別

高齢者が32件で最も多く、次いで50～54歳が21件となっている。

全事故に占める割合については、50～54歳の9.5%が最も高くなっている。 (単位:件・%)

区分	年齢													高齢者	合計
	子ども	高校生	その他 10歳代	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳			
件数			3	19	18	13	10	10	15	21	20	14	32	175	
構成率(%)	0.0	0.0	1.7	10.9	10.3	7.4	5.7	5.7	8.6	12.0	11.4	8.0	18.3	100.0	
全体に占める割合	0.0	0.0	3.9	6.4	7.3	6.3	5.0	4.4	6.2	9.5	8.7	6.5	4.0	5.9	

(7) 通行目的別

私用中が100件で県外居住者事故の57.1%を占めており、特に、観光が35件で最も多い。

業務中の事故は67件発生し、38.3%を占め死者数は2人となっている。

(8) 違反別

安全運転義務違反の占める割合が77.1%と高く、うち前方不注意が53件と最も多い。

また、悪質違反のうち一時不停止が12件と最も多い。

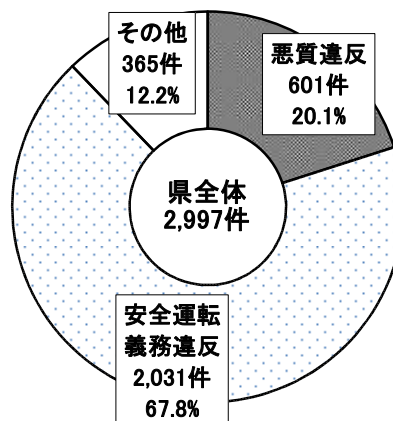
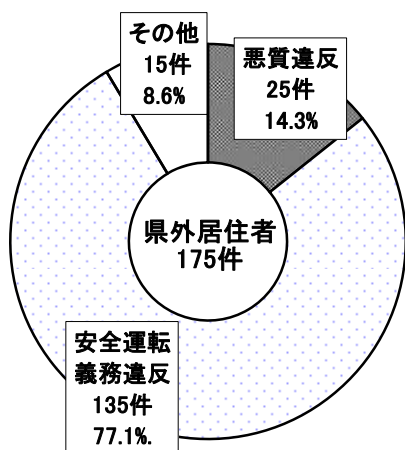
全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が、9.3ポイント高くなっている。

(単位:件・人・%)

区分	件数	構成率(%)	死者傷者		
			死	傷者	
業務	67	38.3	2	73	
通勤	8	4.6		9	
通学		0.0			
私用	観光	35	20.0	1	40
	ドライブ	1	0.6		1
	散歩		0.0		
	飲食	2	1.1		2
	買物	21	12.0		26
	訪問	15	8.6	2	16
	帰省	12	6.9	1	17
その他	14	8.0		15	
計	100	57.1	4	117	
不明		0.0			
合計	175	100.0	6	199	

(単位:件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件	構成率(%)			件	構成率(%)
悪質違反	信号無視	8	4.6	安全運転義務違反	交差点安全進行	5	2.9
	最高速度	2	1.1		徐行違反		0.0
	通区・追越		0.0		ハンドル・ブレーキ	14	8.0
	歩行者妨害等	3	1.7		前方不注意	53	30.3
	一時不停止	12	6.9		動静不注視	21	12.0
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	43	24.6
計		25	14.3	安全速度	3	1.7	
過労運転		2	1.1	その他	1	0.6	
横断禁止			0.0	計	135	77.1	
進路変更禁止			0.0	その他	1	0.6	
右・左折	2	1.1	歩行者の違反		0.0		
優先通行妨害等	5	2.9	合計	175	100.0		



(9) 市町村別

(単位:件・%)

順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合
1	いわき市	30	736	4.1
2	郡山市	21	613	3.4
3	福島市	21	523	4.0
4	会津若松市	11	166	6.6
5	白河市	9	66	13.6
6	相馬市	6	41	14.6
7	西郷村	5	22	22.7
8	須賀川市	4	112	3.6
9	南相馬市	4	97	4.1
10	喜多方市	3	52	5.8
11	会津坂下町	3	21	14.3
12	富岡町	3	13	23.1
13	猪苗代町	3	11	27.3
14	新地町	3	9	33.3
15	本宮市	2	70	2.9
16	田村市	2	50	4.0
17	伊達市	2	44	4.5
18	桑折町	2	19	10.5
19	棚倉町	2	18	11.1
20	矢吹町	2	15	13.3
21	大玉村	2	10	20.0
22	塙町	2	5	40.0
23	西会津町	2	3	66.7
24	二本松市	1	51	2.0
25	石川町	1	16	6.3
26	鏡石町	1	11	9.1
27	国見町	1	9	11.1
28	泉崎村	1	8	12.5
29	下郷町	1	6	16.7
29	南会津町	1	6	16.7

順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合
29	磐梯町	1	6	16.7
32	平田村	1	3	33.3
32	柳津町	1	3	33.3
34	矢祭町	1	2	50.0
35	三春町		22	0.0
36	川俣町		14	0.0
37	会津美里町		12	0.0
38	小野町		11	0.0
39	中島村		6	0.0
39	檜葉町		6	0.0
41	天栄村		4	0.0
42	玉川村		3	0.0
42	大熊町		3	0.0
44	金山町		2	0.0
44	古殿町		2	0.0
44	広野町		2	0.0
44	鮫川村		2	0.0
44	三島町		2	0.0
44	浪江町		2	0.0
50	葛尾村		1	0.0
50	川内村		1	0.0
50	浅川町		1	0.0
50	湯川村		1	0.0
50	飯館村		1	0.0
55	北塩原村			-
55	双葉町			-
55	只見町			-
55	昭和村			-
55	檜枝岐村			-

(注) 高速道路で発生した交通事故を除く。

(10) 居住県別

(単位:件・人)

区分	本年				前年			
	件数	構成率(%)	死者	傷者	件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道	2	1.1		3	1	0.5		1
青森	3	1.7		6	4	2.1		5
岩手	4	2.3		5	6	3.1	2	7
宮城	44	25.1		48	51	26.4	1	57
秋田	1	0.6	1		5	2.6		5
山形	12	6.9	1	11	15	7.8	1	17
東京都	14	8.0	2	14	11	5.7		18
茨城	33	18.9	1	35	41	21.2	2	47
栃木	15	8.6		19	21	10.9	4	22
群馬	4	2.3		4	4	2.1		8
埼玉	12	6.9		14	8	4.1		13
千葉	6	3.4		11	10	5.2		12
神奈川県	7	4.0		11	3	1.6		4
新潟	9	5.1		10	5	2.6		8
山梨	1	0.6		1		0.0		
長野	1	0.6		1	3	1.6		3
静岡	1	0.6		1		0.0		
富山		0.0			1	0.5		1
石川		0.0				0.0		
福井		0.0				0.0		
岐阜	1	0.6		1		0.0		
愛知	2	1.1	1	1		0.0		
滋賀		0.0				0.0		
三重	1	0.6		1		0.0		
京都		0.0				0.0		
大阪		0.0			2	1.0		4
兵庫	1	0.6		1	1	0.5		1
奈良		0.0				0.0		
和歌山		0.0				0.0		
鳥取	1	0.6		1		0.0		
島根		0.0				0.0		
岡山		0.0				0.0		
広島		0.0				0.0		
山口		0.0				0.0		
香川		0.0				0.0		
愛媛		0.0				0.0		
徳島		0.0				0.0		
高知		0.0				0.0		
福岡		0.0				0.0		
佐賀		0.0				0.0		
長崎		0.0				0.0		
熊本		0.0			1	0.5		2
大分		0.0				0.0		
宮崎		0.0				0.0		
鹿児島		0.0				0.0		
沖縄		0.0				0.0		
合計	175	100	6	199	193	100	10	235

18 道路環境等

(1) 道路形状別

交差点での事故（付近も含む）は、1,653件で全事故の55.2%を占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第1進入路「中」が759件で最も多く、交差点事故の60.5%を占め、第1進入路「小」が264件となっている。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

道路形状	区分	件数		死者	傷者
			構成率(%)		
交差点	大	232	7.7	3	253
	中	759	25.3	8	862
	小	264	8.8	3	283
	付近	398	13.3	1	469
	計	1,653	55.2	15	1,867
単路	トンネル	12	0.4		20
	橋	32	1.1		39
	カーブ・屈折	94	3.1	11	114
	その他	991	33.1	21	1,172
	計	1,129	37.7	32	1,345
踏切		1	0.0	1	0
一般交通の場所		214	7.1	1	234
合計		2,997	100	49	3,446

交差点第1進入路	区分	件数		死者	傷者
			構成率(%)		
大 (13m以上)	交差路 小	80	6.4	1	83
	交差路 中	149	11.9	1	162
	交差路 大	35	2.8	1	38
	計	264	21.0	3	283
中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	103	8.2	1	115
	交差路 中	568	45.3	5	655
	交差路 大	88	7.0	2	92
	計	759	60.5	8	862
小 (5.5m未満)	交差路 小	22	1.8	1	22
	交差路 中	141	11.2	2	155
	交差路 大	69	5.5	0	76
	計	232	18.5	3	253
合計		1,255	100	14	1,398

(2) 道路線形別

直線での事故は2,657件で全事故の88.7%を占めている。

一方、カーブ・屈折での事故は126件で全事故の4.2%となっている。

勾配で見ると、上り坂は86件（全事故の2.9%）、下り坂は139件（全事故の4.6%）、平坦は2,558件（全事故の85.4%）となっている。

(単位：件・人)

道路線形	区分	件数		死者	
			構成率(%)		
カーブ・屈折	右	上り	8	0.3	0
		下り	13	0.4	0
		平坦	37	1.2	3
	左	上り	9	0.3	1
		下り	18	0.6	1
		平坦	41	1.4	6
計		126	4.2	11	
直線	上り	69	2.3	2	
	下り	108	3.6	3	
	平坦	2,480	82.7	32	
	計	2,657	88.7	37	
一般交通の場所		214	7.1	1	
合計		2,997	100.0	49	

(3) 地形別

(単位：件・人)

市街地での事故が2,003件で、
全事故の66.8%を占めている。

死亡事故は非市街地での事故
が多い。

地形	区分	件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
市街地	人口集中地区	1,125	37.5	7	1,273
	その他	878	29.3	14	1,017
	計	2,003	66.8	21	2,290
非市街地		994	33.2	28	1,156
合計		2,997	100	49	3,446

(注) 市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

(4) 道路幅員別

交差点「中」の道路での事故が759件で最も多く、全事故の25.3%を占めている。

(単位：件・人)

区分	幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.5m以上	交 差 点			その他	合計
								小	中	大		
件数	件数	41	102	666	375	278	66	264	759	232	214	2,997
	構成率(%)	1.4	3.4	22.2	12.5	9.3	2.2	8.8	25.3	7.7	7.1	100
死者	死者	0	3	23	5	3	0	3	8	3	1	49
傷者	傷者	50	111	778	455	339	81	283	862	253	234	3,446

(5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が2,386件で最も多く、全事故の79.6%を占めている。(単位：件・人)

地形	路面状態	舗 装					計	非舗装	合計	
		乾	燥	湿	潤	凍				結
件数	件数	2,386		474		104	28	2,992	5	2,997
	構成率(%)	79.6		15.8		3.5	0.9	99.8	0.2	100.0
死者	死者	39		10				49		49
傷者	傷者	2,758		540		112	31	3,441	5	3,446

(6) 中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が1,413件で最も多く、全事故の47.1%を占めている。

(単位：件・人)

地形	施設	中	中 央 線				計	中	央	その他	合計			
			分	離	高	輝						度	示	チャ
件数	件数	417		4		39		23		1,413	1,479	887	214	2,997
	構成率(%)	13.9		0.1		1.3		0.8		47.1	49.3	29.6	7.1	100.0
死者	死者	8		0		0		0		27	27	13	1	49
傷者	傷者	494		5		45		27		1,643	1,720	998	234	3,446

19 その他

(1) 特殊事故

(単位：件・人)

特殊事故は545件で、全事故の18.2%を占め、約6件に1件の割合で発生している。

件数が多いのは次のとおりで

- ・多重衝突392件
全事故の 7.6件に1件
- ・スリップ75件
全事故の 40.0件に1件
- ・ひき逃げ56件
全事故の 53.5件に1件
- ・無申告17件
全事故の 176.3件に1件
- ・左折巻き込み4件
全事故の 749.3件に1件
- ・荷崩れ1件
全事故の 2,997件に1件の割合で発生している。

特殊事故	区分	件 数		死 者	傷 者	
			構成率(%)			
事 故 内 容	共同危険行為		0.0			
	暴走行為		0.0			
	ひき逃げ	56	1.9		64	
	無申告	17	0.6		18	
	多重衝突	392	13.1	10	563	
	左折巻き込み	4	0.1	0	4	
	荷崩れ	1	0.0	0	1	
	自然発車		0.0			
	ドア開閉		0.0			
	車両火災		0.0			
当 事 者 内 容	スリップ事故	75	2.5	0	83	
	薬物影響		0.0			
	発 作 ・ 急 病	てんかん		0.0		
		心臓マヒ		0.0		
		脳血管		0.0		
		その他		0.0		
	身障者		0.0			
緊急用務自動車		0.0				
合 計		545	18.2	10	733	

- (注) 1 表中の構成率は全事故に占める割合
2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

(2) 天候別

晴天時（雲量が80%未満）の事故が、1,710件で全事故の57.1%を占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80%以上）の事故が834件となっており、合わせると全事故の84.9%を占めている。

(単位：件・人)

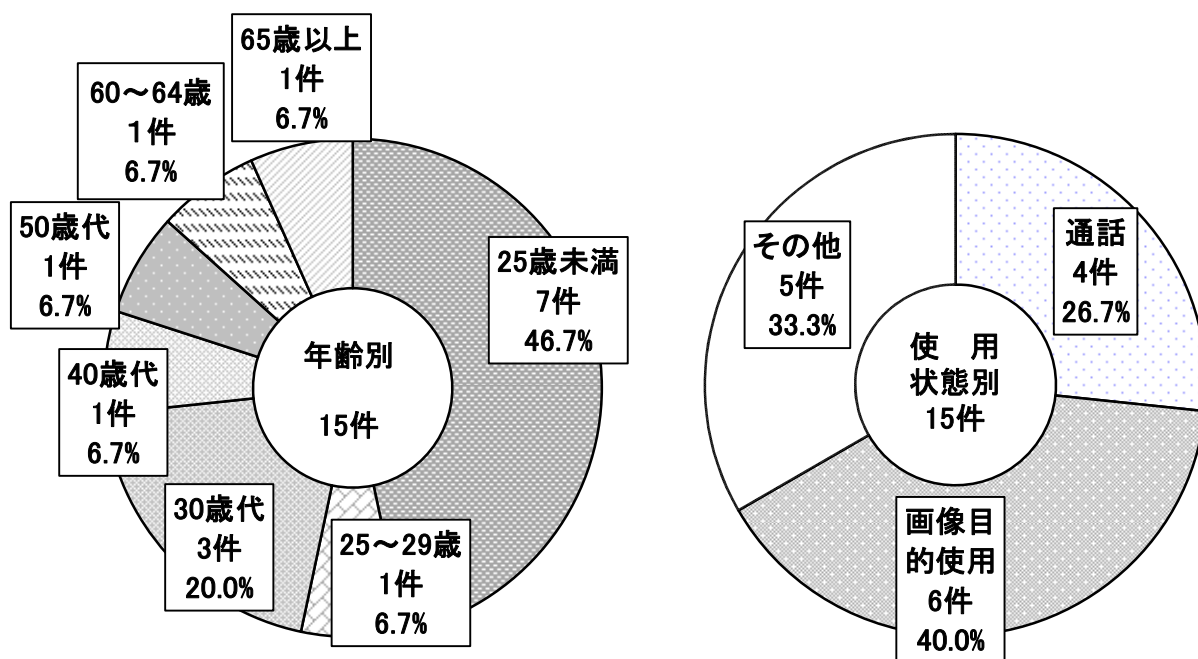
区分	天候						合 計
	晴	曇	雨	霧	雪		
件 数	1,710	834	345	4	104	2,997	
構成率(%)	57.1	27.8	11.5	0.1	3.5	100.0	
死 者	17	24	8			49	
傷 者	1,984	952	392	4	114	3,446	

(3) 携帯電話使用中の事故

携帯電話使用中の事故は15件発生し、死者は0人、傷者は18人となっている。

事故類型別にみると、追突が11件で最も多く、73.3%を占め、全事故に占める追突事故の割合の約2.1倍となっている。(単位：件)

区分		携帯電話使用中事故		全事故	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
人対車両		1	6.7	331	11.0
車両相互	追突	11	73.3	1,041	34.7
	出会い頭	1	6.7	838	28.0
	正面衝突		0.0	97	3.2
	その他	2	13.3	633	21.1
車両単独			0.0	56	1.9
列車			0.0	1	0.0
合計		15	100.0	2,997	100.0



年齢別にみると、25歳未満が7件で最も多く46.7%、次いで30歳代が3件となっている。

事故直前の使用状況は、画像目的使用6件、通話が4件となっている。